

但シ賃貸人ハ賃借人カ(七)前段ニ定ムル地所明渡義務ヲ任意ニ履行シタルトキニ限り當該年度ニ於ケル賃料ノ支拂ヲ免除スルモノトス

(九) 上記(六)ノ場合ニ依ル地所ノ返還ニ對シテハ賃貸人ハ賃借人ニ相當ノ離作料ヲ支給スヘキモノトシ其ノ離作料ハ本賃貸借契約成立ノ日ヨリ地所ノ返還ヲ爲スニ至ル迄ノ年數ニ應シ第一年ヲ最高トシ第十五年ニ至ル迄一定率ノ等差ニ依リ各一年毎ニ順次遞減シ第十六年以後ハ年數ノ如何ニ拘ラス一定金額ヲ支給スヘク之等ノ金額竝ニ等差率ハ本契約成立ノ條件タル調停條項第四條ノ賣買契約ノ解除カ其ノ效力ヲ發生シタル後直チニ双方ノ間ニ之ヲ協定シ若シ協定調ハサルトキハ其ノ點ニ付テノミ大阪地方裁判所小作調停部ニ調停ノ申出ヲ爲シ其ノ調停ヲ受クルニ際シテハ双方共調停裁判所若クハ調停委員會ニ其ノ裁定ヲ一任シ其ノ裁定ニ對シテハ双方絶對ニ服従スルモノトス

第四 住宅地賃貸借約款

- (一) 賃貸借ノ目的物ハ第三別表記載ノ各地所ニシテ同表中地上家屋所有者欄記載ノ者ニ於テ各其上欄ニ表示セル地所ヲ夫々借受ルモノトス
- (二) 賃料ハ一反步(三百坪)ニ付一ケ年金參拾圓トス
- (三) 賃料ハ毎年十二月二十五日限り賃貸人方若クハ其ノ指定セル場所ニ持參支拂フヘキモノトス
- (四) 賃借人ハ賃貸人ノ書面ニ依ル承諾ヲ得ルコトナクシテ恣ニ左記行爲ヲ爲シ得サルモノトス

- (イ) 他人ニ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借地ヲ轉貸スルコト
- (ロ) 賃借地ノ原狀ヲ變更スルコト

(五) 賃貸人ハ

- (甲) 賃借人カ右(三)ノ義務ノ履行ヲ怠リ又ハ(四)ノ定ムル所ニ違背シタルトキハ一ケ年ノ期間ヲ餘シテ其ノ履行若クハ復舊ヲ催告シ尙應セサルトキハ直チニ
- (乙) 賃貸人ニ於テ自己ノ營業上地所ノ必要ヲ生シタルトキハ一ケ月前ノ豫告ニ依リ本賃貸借契約ヲ解除スルコトヲ得

(六) 本賃貸借契約ノ解除アリタルトキハ賃借人ハ解除後六ヶ月以内ニ地上ノ建物其ノ他一切ノ存置物件ヲ收去シテ賃貸人ニ賃借地所ヲ明渡スベク若シ然ラサルトキハ右期間ノ滿了ト同時ニ任意明渡アリタルモノト看做シ地上ノ存置物件ハ賃貸人ニ於テ賃借人ニ代リ之ヲ收去シテ賃借人ニ引渡スコトヲ得ヘク若シ其ノ引渡ヲ受ルコトヲ拒ミタルトキハ之ヲ換價シテ其ノ賣得金ヲ供託スルモノトシ之カ爲ニ損害ヲ生スルコトアルモ賃貸人ハ一切其ノ賠償ノ責ニ任セサルモノトス但シ收去ノ費用ハ賃借人ニ請求スルコトヲ得

(七) 本賃貸借契約カ解除セラレタルトキハ其ノ解除カ

(甲) 賃借人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ原因スルモノナルトキハ前項ノ地所明渡ヲ任意ニ履行シタルト



キニ限リ明渡地所面積ニ應シ一坪當リ金四拾錢ノ割合ニ依ル立退料ヲ地所明渡ト同時ニ賃貸人ヨリ賃借人ニ交付スルモノトス

(乙) 賃貸人ノ都合上地所ヲ必要トスル爲ナリシトキハ前項ニ依ル地所明渡ニ對シ其ノ面積ニ應シ一坪當リ金壹圓八拾錢ノ割合ニ依ル立退料ノ外地上建物ノ移轉料トシテ建坪一坪ニ付金拾圓ノ割合ニ依ル金員ヲ地所ノ明渡ト同時ニ賃借人ニ交付スヘキモノトス (別表省略)

三〇 兵庫縣加古郡野口村大字水足 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年二月五日

調停申立 昭和四年十月二十一日

解 決 昭和四年十一月二十四日

關係人員 爭議 地主 十五人 小作人 八十五人

調停 地主 十三人 小作人 七十一人(小作人申立)

關係土地 爭議 田 五十二町步

調停 田 三十五町七反一畝二十七步

(一) 爭議ノ概況

小作人ハ大正十三年三月農民組合ニ加盟シ大正十二年以來年々小作料ノ減免要求ヲ爲シ來リタル所

昭和三年度稻作ハ出穂期ニ於テ天候不順ナリシ爲枯穂ヲ生ジ平年作ニ比シ收穫著シク減少ヲ來シタリトテ小作人等ハ組合長橘某ヲ交渉委員トシテ地主代表岡田某ニ對シ作柄ニ應ジ一割三分乃至五割ノ小作料減免要求ヲ爲シタリ、然ルニ地主ハ本年稻作ハ平年作以上ノ收穫アリ何等減免ノ認ムベキ事由ナシトテ斷然小作人ノ要求ヲ却ケ双方相對峙シテ讓ラザリシガ地主側ハ共同出資シ山本辯護士ニ依囑シテ土地返還並小作料請求訴訟ヲ提起スベク劃策シ小作人側ハ組合ヲ背景トシテ飽ク迄モ強硬ナル態度ヲ持シテ讓ラズ、其ノ間小作官同地ニ出張シ關係當事者ヲ同村教信寺ニ招致シ極力調停ヲ試ミタルニ地主側ハ

- 一 小作田地ノ内三町步ハ即時返還ノ上地主ニ於テ耕作スルコト
  - 二 入付米ニ對スル五割ヲ増シタル收穫アル場合ハ檢見ノ要ナク減免セズ
  - 三 小作料納期ヲ毎年十二月二十五日限リトスルコト
  - 四 小作契約書ヲ新ニ差入レルコト
  - 五 昭和三年度小作料ハ減免セズ
- 但シ小作人ニ於テ誠意アラバ減收田ニ限リ適當ノ減額ヲ爲ス等ノ諸條件ヲ主張スルニ對シ

小作人側ハ

- 一 平年作田地二十町步ニ對スル一割三分減ヲ一割減トシ以下之ニ準據シテ要求額ヲ多少讓歩ス



二 土地ノ返還ヲ爲サルコト

ヲ主張シ双方ノ主張強硬ニシテ調停成立ノ曙光更ニ見エズ、爾來爭議ハ自ラ持久戦ニ入リシガ地主ハ訴訟ノ準備行爲トシテ反當米二斗宛ヲ醸出シ六月末小作人中ノ最強硬派タル澁谷某外一名ノ耕作田六反歩ニ對シ土地立入禁止假處分ヲ爲スト共ニ他面動産ノ假差押ヲ執行シ次デ姫路裁判所ニ右差押物件中ノ換價處分ノ申請ヲ爲シ差押物件中ノ米麥ノ競賣ヲ爲シタルニ主トシテ小作人ニ於テ競落セリ然ルニ昭和四年度ハ稀有ノ旱魃ニ因リ作況不良ニシテ小作料請求ノ債權額ニ達セザルヲ以テ地主ハ不足債權保全ノ爲メ再ビ動産ノ假差押ヲ申請シ十月末小作人八名ノ所有動産及約八町歩ノ耕作地ニ對スル立毛ノ假差押ヲ執行セリ

此ノ間小作人ニ於テハ其戰法ノ一トシテ雜貨商ヲ經營スル地主三島某ニ對スル不買同盟ヲ敢行シ所謂村八分事件ノ勃發ヲ見、結束ヲ固メ相對抗シテ讓ラザリシガ地主ハ飽ク迄法律上ニテ爭ハントスルノ戰法ニ漸ク頽勢ノ微萌シ小作人側ハ十月二十八日神戸地方裁判所ニ小作調停ノ申立ヲ爲シタリ、然ルニ書類不備ノ爲符箋返戻トナリ他面小作人側ハ同村出身ノ現加古川町長小山某ニ懇願シテ調停ヲ依頼スル等稍々軟化シ來リタリ、然レ共地主ハ大正十二年度ニ於ケル調停ニ於テハ同町長ガ甚ダシク不誠意ナリシトテ之ヲ一蹴拒否シ地主ノ結束益々強硬ナルニ反シ小作人ノ態度漸次軟弱ニ傾キ小作人側ヨリ十月十一日神戸地方裁判所姫路支部ニ小作調停ノ申立ヲ爲スニ至レリ

(一) 調停ノ經過

調停ヲ受理シタル姫路支部ニ於テハ十一月五日第一回調停委員會ヲ同裁判所ニ開キ地主三名小作人七名ノ總代ヲ招致シテ之ガ調停ヲ試ミタルニ小作人側ハ昭和三年度ハ旱、虫害ニ依リ稀有ノ減收ヲ來シ意外ノ冗費ヲ要シタルヲ以テ、一割三分以上五割ノ減免ヲ求ムルト共ニ本村ノ平年作ニ於ケル小作料ガ現時ノ農業經濟ノ諸條件ニ適合セザルト不作時減免歩合ノ決定方法ガ確立シ居ラザルヲ以テ

- 一 平年作ニ於ケル小作料ヲ合理化スルコト
- 二 不作時ニ於ケル平年作ノ收穫高ヲ二石八斗トシ反當九斗以下ノ收穫量アルトキハ全免シ尙一斗ノ增收アル毎ニ七升ノ増拂ヲナス

ト主張シ地主側ハ本村ノ地主ハ何レモ小地主ニシテ、殊ニ婦女子多キ爲大正十二年以來小作人ヨリ年々過當ナル減免要求ヲ爲シ來リ其小作料ニ於テモ殆ド宛行扶持同様ノ状態ニシテ生計上ノ脅威ヲ受クルコト甚ダシク此ノ際徹底的ノ解決ヲ爲サレバ到底調停ニ應ズルノ意思ナク尙昨年度小作料ハ絶對ニ減免ノ餘地ナシト強調セリ

十一月十三日第二回調停委員會續開ニ先立チ縣小作官ニ於テハ同地ニ出張シ双方四名ノ代表ヲ招致シ三年度ニ於ケル小作料額、支拂方法、不作時ノ檢見ノ方法等ニ付極力勸讓ニ努メタル結果大體成案ヲ得タルヲ以テ第二回調停委員會ニ於テ右成案ヲ基調トシ折衝ヲ重ネタル結果左記ノ如キ條項ヲ以テ



茲ニ調停ノ成立ヲ見ルニ至レリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 申立人(小作人)等ハ相手方(地主)等ニ對シ別紙目錄記載(第一、二表共)ノ土地ニ對スル昭和三年度ノ小作料トシテ同目錄「一ヶ年ノ契約小作料額」欄記載ノ九割五分ヲ昭和四年度水足部落産兵庫縣穀物検査規則等級乙以上ノ玄米ヲ以テ支拂フコト  
但シ既ニ内拂ヲ爲シアル者ハ之ヲ控除シタル殘額ヲ支拂フヲ以テ足ル  
右小作料ハ昭和四年度小作料ノ支拂期日ニ之ヲ支拂フコト  
但シ橋某外四名ハ昭和四、五、六年ノ各小作料支拂期日ニ其年ノ水足部落生産兵庫縣穀物検査規則等級乙以上ノ玄米ヲ以テ其三分ノ一宛ヲ三回ニ年賦支拂フコト  
相手方等ハ昭和三年度小作料中其ノ餘ノ請求ヲ拋棄スルコト
- 二 申立人等ハ相手方等ニ對シ別紙第二目錄記載ノ土地ヲ昭和五年ノ裏作ヲ收穫シタル上同年六月末日限リ返還スルコト此ノ場合ニ於テハ申立人等ハ作離料其他名義ノ如何ヲ問ハス金品ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ
- 三 相手方等ハ申立人等ニ對シ從來ニ引續キ別紙第一目錄記載ノ土地ヲ同目錄「一ヶ年ノ契約小作料

額」欄記載ノ通りノ小作料ヲ以テ賃貸シ申立人等ハ之ヲ賃借スルコト

但シ此ノ際ニ限リ前項返還地補充ノ爲メニ各申立人間ニ於テ賃借地ヲ彼此融通シタルトキハ其事實ヲ詳細相手方ニ通知シ其者ト相手方トノ間ニ賃貸借ヲ成立セシムルモノトス

右小作料ハ毎年十二月二十五日限リ相手方宅へ持參支拂フコト

但シ己ムヲ得サル事由ニ由リ右期日迄ニ支拂ヲ爲スコト能ハサルトキハ相手方ノ承諾ヲ得テ翌年一月二十日迄支拂ヒノ延期ヲ爲スコトヲ得

右小作料ハ其年ノ水足部落生産兵庫縣穀物検査規則等級乙以上ノ玄米ヲ以テ支拂フモノトス若シ同等丙ノ玄米ヲ支拂フ場合ハ支拂當時同部落ニ於ケル丙等級ノ值合金ヲ併セ支拂フコト

此ノ場合ニ於テモ相手方等ハ申立人等ニ對シ一石ニ付三升ノ獎勵米ヲ給與スヘキモノトス

四 不可抗力ニ因リ賃借地ノ收穫減少ノ虞アル場合ハ賃借人ハ稻刈取十日前(十月二十五日ヲ過クルコトヲ得ズ)迄ニ夫々各賃借人ニ對シ書面ヲ以テ檢見ノ申込ヲ爲スコト

檢見ハ當該土地ノ賃借人及賃借人共同シテ之ヲ行ヒ支拂フベキ小作料額ヲ協議決定ス、協議調ハザル時ハ右双方共同シテ坪刈ヲ爲シタル上支拂フベキ小作料額ヲ協議決定シ尙協議調ハザルトキハ坪刈ノ成績ヲ具シ兵庫縣小作官ニ申出デ其ノ裁定ニ從ヒ之ニ對シ双方異議ナキコト  
但シ



(イ) 賃借人が検見ノ申出ヲ爲サズ又申出ヲ爲スモ検見ノ終了セザル以前ニ稻ヲ刈取リタル場合ハ理由ノ如何ヲ問ハズ小作料ノ減免ヲ求ムルコトヲ得ズ、又賃借人が賃借人ヨリ右申出書受領後十日内ニ検見ヲ爲サル時ハ理由ノ如何ヲ問ハズ賃借人ノ要求スル減免ヲ承諾スル義務アルモノトス

(ロ) 右検見ニ付所定關係者以外ノモノ當該土地ニ立入り若クハ其附近ニ集合シ威力ヲ示スガ如キ行動アリタル場合ハ賃借人ハ直ニ検見ヲ中止シ減免ヲ爲サルコトアルベシ

(ハ) 賃貸借地ノ收穫量ガ其土地ノ一ケ年ノ契約小作料額ノ二倍以上ノ場合ハ減免ヲ爲サルモノトス

(ニ) 賃借地ノ收穫減少ガ賃借人ノ不注意又ハ怠慢ニ因ルトキハ減免ヲ爲サズ

(ホ) 賃借人等ニ於テ粳米以外ノ作付ヲ爲スモ小作料ハ減免セズ

五 賃借人ハ賃借權ヲ他ニ讓渡シ又ハ賃借地ヲ轉貸シ若ハ家族雇人以外ノモノヲシテ耕作セシムルコトヲ得ス

六 賃借人が宅地トシテ使用スル必要上賃借地ノ返還ヲ求ムルトキハ賃借人ハ其ノ年ノ裏作ヲ收穫シタル上六月末日限り賃借地ヲ返還スルコト

七 賃借人ニ於テ本條項ニ違背シタルトキハ催告等何等ノ手續ヲ要セズ本契約ハ當然其效力ヲ失フモノトス、此ノ場合ニ於テハ賃借人ハ其ノ年ノ裏作ヲ收穫シタル上六月末日限り賃借地ヲ返還スルコト

八 賃借人カ團體的行動ニヨリ又ハ團體ヲ背景トシテ賃借人ニ對シ暴力又ハ強迫ニ類スル行爲ヲ爲シタル場合ハ賃借人ノ何人ノ行爲タルヲ問ハズ催告等何等ノ手續ヲ要セズ當然本件全部ノ土地ニ對スル賃貸借ハ其ノ效力ヲ失フモノトス、此ノ場合ニ於テハ賃借人ハ其ノ年ノ裏作ヲ收穫シタル上六月末日限り賃借地ヲ返還スルコト

九 賃借人が賃借地ヲ返還スル場合ハ其ノ原因ノ如何ヲ問ハズ作離料其ノ他名義ノ如何ニ拘ラス金品ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

一〇 賃借人が小作料ノ支拂又ハ土地ノ返還ヲ怠リタルトキハ賃借人ハ催告等何等ノ手續ヲ要セズ直ニ其ノ強制執行ヲ爲スコトヲ得

一一 前記各條項ハ昭和四年度小作料ニモ之ヲ適用ス

但シ第四項ノ検見申込期限ハ昭和四年十一月十七日迄トス

一二 賃借人等ガ本件ニ關シ賃借人等ニ對シ爲シタル假差押ハ本月二十日迄ニ之ヲ取下グルコト

一三 本件申立ニ要シタル費用並賃借人が本件ニ關シ賃借人等ニ對シ爲シタル假差押ニ關スル費用等ハ各自辨ノコト (目錄省略)



爭議發生 大正十年一月五日

調停申立 昭和四年三月十二日

解決 昭和四年五月二十二日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 三人  
調停 地主 一人 小作人 一人(地主申立)

關係土地 爭議 田 八反二畝十七步  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

神戸市以西及阪神沿線ニ頻出スル小作問題ハ何レモ地主ノ土地明渡ニ對スル作離料ノ問題ニ非ザルハナク其ノ作離料ノ高額ナルコト全國ニ冠タル事象ト稱スベシ、本事件モ亦其ノ事例ニ屬シ大正三年度ニ於テ本件土地ノ一部ガ神戸西部耕地整理組合ノ地域内ニ編入サレタル結果同組合ヨリ耕地整理工事實施上支障アルニヨリ地域内ノ耕作ヲ禁達シ來リタルヲ以テ本件地主ハ小作人ノ先代トノ交渉ニヨリ大正三年限リ賃貸借契約ヲ解除シ次デ一部土地モ亦耕地整理地ニ編入サレ大正九年末迄引續キ耕作セシムルコトニ契約調ヒタルニ拘ハラズ小作人等ハ解約後ノ大正十年以來本件土地ノ一部ニ樹木ヲ栽

植シ殘地ニ播種耕作ヲ爲シタルニ依リ地主ヨリ前契約ニ基キ再三明渡ヲ交渉シタルモ返還ニ應ズル意思ナキヲ以テ昭和四年三月十二日地主ヨリ神戸地方裁判所ニ土地明渡ノ調停ヲ申立ツルニ至リタリ

(二) 調停ノ經過

調停ヲ受理シタル裁判所ハ昭和四年四月十一日神戸地方裁判所ニ於テ第一回調停委員會ヲ開催シ當事者ノ意見ヲ聽取シタルニ地主ハ敍上ノ如キ理由ヲ以テ本件土地ハ既ニ大正九年限リ小作契約ノ解除ヲ爲シ居ルニ不拘、小作人等ハ不法ニモ本件土地ノ大部分ヲ野菜栽培ニ使用シ再三明渡方嚴談スルモ應ゼザリシガ本年二月小作人及其叔父ト交渉シタル結果六月末日限リ明渡シスベシトノ確答アリタルニ更ニ明渡ノ意思ナキヲ以テ即時明渡ヲ望ムト共ニ大正九年度以降ノ小作料未拂ニ付速ニ之ガ支拂ヲモ求ムト述ベ尙明渡ニ對スル賠償金ハ全然交付セズト主張ス、之ニ對シ小作人ノ主張ハ同人ハ昨年十一月婿養子ニ來リタルモノニシテ事件ノ内容ニ關シテハ諒知セザルモ、本件土地ニハ植木及野菜類ヲ栽培シ居ルヲ以テ即時ニ返還ニ應ズルコト能ハズ、然レ共附近事例ニ倣ヒ坪當リ八圓ノ賠償金ノ給付アレバ返地ニ應ズト述ベ爾來調停委員會ヲ開クコト三回ニ及ビ其ノ間縣小作官及調停委員ニ於テ實情調査ニ依リ其ノ真相ヲ究明シタルニ本件小作人ハ本件土地ノ内一反一畝十一歩ヲ耕作シ居ルニ過ギズ殘地ハ小作人中野某外一名ニ轉貸シ、同轉貸者ヨリ小作料ヲ徵收シ居ル事實明カトナリタルヲ以テ五月二十二日第四回調停委員會當日ニ於テ小作人ノ辯護士ヲモ加ヘ双方ニ對シ極力互讓ヲ勸メタル結果



大要左ノ如キ條項ヲ以テ調停ノ成立ヲ見タリ

(三) 結 末

調停條項

- 一 相手方(小作人)ハ別紙目錄第一號記載ノ土地ヲ昭和四年十二月末日迄無料ニテ使用シ自費ヲ以テ明渡スコト
- 二 相手方ガ右明渡ヲ爲シタル時ハ申立人(地主)ハ金七百圓ヲ支拂フコト
- 三 利害關係人多田某ハ別紙目錄第二號記載ノ土地ヲ昭和四年六月末日迄ニ明渡スコト  
但シ同地上ニ存スル植木ハ申立人ノ指定スル箇所ニ移植シ該土地ハ昭和五年四月末日限り明渡スコト
- 四 利害關係人多田某ハ別紙目錄第三號記載ノ土地ヲ昭和六年十月末日迄無料ニテ使用シ同日限り自費ヲ以テ明渡スコト
- 五 相手方及利害關係人ガ前記約定ノ期日ニ右關係土地ヲ明渡サバルトキハ申立人ニ於テ土地明渡シノ強制執行ヲ爲スモ異議ナク及右補償金ノ支拂ヒヲ爲サバルコトヲ得
- 六 相手方ハ本件申立土地ニ關シテ前記關係土地以外ニ何等ノ請求ヲ爲サバルコト

(目錄省略)

三二 兵庫縣宍粟郡染河内村大字上野田 (小作料改定)

爭議發生 昭和四年一月十日

調停申立 昭和四年五月四日

解 決 昭和四年五月二十六日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 三十七人

調停 右ニ同ジ(小作人申立)

關係土地 爭議 田 十二町二反八畝二十步 畑 一反十九步 宅地 五十八坪九合九勺

調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

爭議地ノ附近ハ一般ニ地味惡シク山間ノ僻地ニシテ耕作ニハ多大ノ勞力ヲ要スルノミナラズ常ニ收穫量之ニ伴ハズ現在ノ契約小作料ニテハ到底收支相償ハザル爲メ小作料減額ノ必要ヲ認メ全村小作人ハ大正十一年元日本農民組合ニ加盟シ、兵庫縣西播聯合會ノ中堅分子トシテ大正十四年來相當深刻ナル小作爭議ヲ惹起シ一時社會ノ耳目ヲ聳動セシメタル所ナルガ其ノ後調停ノ結果小作料ノ改訂ヲ爲シ契約小作料ノ約三割ヲ減額シテ漸ク解決ヲ見タル所ナリ

然ルニ本件關係地主ハ十數里隔リタル不在地主タリシ關係上其當時小作料ノ改訂ヲ爲サズ從ツテ小



作料ノ減額ヲ爲スコトナク荏苒今日ニ及ビタルモノナルガ其ノ後小作人ハ地主ニ對シ村一般ノ例ニ從ヒ速カニ小作料ノ改訂ヲ爲シ之ガ減額ヲ爲サレタキ旨屢々要求シタル爲メ漸ク地主モ之ヲ諒トシ昭和三年ニ至リ地主、小作人、中立(村長、村農會長)ノ三者ガ關係土地各筆ニ付各別ニ小作料改訂ニ關スル事實調査ヲ爲シタル結果、地主ハ現在契約小作料ヨリ平均六分八厘減額スル旨ヲ聲明シ小作人ノ承認ヲ求メタルニ對シ小作人ハ契約小作料ヨリ平均三割一分減額スルヲ以テ至當ナリト主張シ双方共自己ノ主張ヲ固持シテ譲ラズ從ツテ昭和三年度小作料モ約七割ヲ内拂ヒシテ其餘ノ小作料ノ支拂ヲ爲サズ事態愈々紛糾スルニ至リタルヲ以テ村長、村農會長等熱心ニ之ガ調停ニ努メタルモ其ノ效無ク全ク交渉行詰リノ状態トナリ遂ニ小作人ヨリ調停ノ申立ヲ爲シタルモノナリ

### (二) 調停ノ經過

調停ヲ受理シタル神戸地方裁判所姫路支部ハ五月十七日同所ニ於テ第一回調停委員會ヲ開催シ双方ノ主張ヲ聽取シタルニ申立人タル小作人ハ小作料總額ノ三割一分ヲ減額シ且ツ各田地ノ改訂小作料ノ決定ハ小作人ノ調査シタル實查成績ニ依ラレタシト主張シ相手方地主ハ調査ノ結果平均六分八厘減額スルヲ至當ト認ムルニ依リ之以上ノ減額ハ絶對ニ應ズルコト能ハズト主張シテ譲ラズ双方ニ對シ互讓ヲ勸メタル結果、小作人ハ當初ノ主張ヲ讓歩シ、平均二割五分減ヲ要求シ地主ハ一割八厘減迄讓歩シタルモ之以上双方共讓歩セザル爲メ考慮ヲ求ムル必要上調停委員會ハ一先ヅ延期シタリ

次回調停委員會ハ五月二十五日爭議地ニ出張シ徹宵調停ニ努メタレ共尙双方ノ意見一致セズ、仍テ不得止調停委員會ハ中立者ノ意見ヲ聽取シ小作料減額歩合ハ平均二割一分ヲ適當ト認メ右ノ範圍内ニ於テ各筆ニ對スル改訂小作料額ヲ決定シ尙將來ニ對スル小作料減免方法其ノ他小作契約ノ要綱ヲ定メ之ヲ委員會ノ參考案トシテ双方當事者ニ提示シテ承諾ヲ求メタル所翌二十六日午後八時ニ至リ双方共異議ナク之ヲ承認シ茲ニ調停成立ヲ見ルニ至レリ

### (三) 結 末

#### 調 停 條 項

(一) 相手方(地主)ハ本年六月二十日ヨリ從來ニ引續キ各申立人(小作人)等ニ對シ別紙目録記載ノ土地ヲ同目録「差引確定、小作料額」欄ニ記載セル小作料ヲ以テ賃貸シ各申立人等ハ之ヲ賃借スルコト

右小作料ハ毎年十二月三十日限り兵庫縣產米検査乙種玄米ヲ以テ相手方名代人植木某方ニ持參シテ支拂フコト

各賃借人等ハ本件賃借地ノ玄米實收額ガ右小作料ニ其ノ五割ヲ加算シタル數額以上ナルトキハ小作料ノ減額ヲ求ムルコトヲ得ズ

右實收額ガ右小作料ニ其ノ五割ヲ加算シタル數額ニ滿タザル時ハ各當事者双方協議ノ上其ノ年度ニ



支拂フベキ小作料額ヲ決定ス

(二) 前項ニ該ル可キ場合ト思料スル時ハ稻刈取十五日乃至十日前(十月十日迄)ニ賃借人ヨリ賃借人ニ對シ檢見ノ申出ヲ爲シ双方立會ノ上檢見ヲ爲シ支拂フベキ小作料額ヲ決定シ協議調ハザルトキハ双方立會ノ上坪刈ヲ爲シタル上之ヲ協議決定ス尙協議調ハザル時ハ坪刈ノ成績ヲ具シ兵庫縣小作官ニ對シ支拂フベキ小作料ノ裁定ヲ求メ當事者双方ハ其ノ裁定ニ從フモノトス

(三) 賃借人ガ前項ノ申立ヲ爲サズシテ稻ヲ刈取リタル時ハ理由ノ如何ヲ問ハズ小作料ノ減免ヲ求ムルコトヲ得ズ

又賃借人ガ賃借人ヨリ前項ノ申立アリタルニ不拘申出後十日内ニ檢見又ハ坪刈ニ應ゼザル時ハ理由ノ如何ヲ問ハズ賃借人ノ要求スル小作料減免ヲ承諾スル義務アルモノトス

前各項ノ小作料減免要求ニ付テハ賃借人ハ個人的ニ之ヲ爲スベク團體的ニ之ヲ要求スルコトヲ得ズ之ニ反スル減免要求ハ賃借人ニ於テ之ニ應ゼザルコトヲ得

(四) 獎勵米運搬賃ハ當事者間ニ於テ從來ノ例ニ依ルモノトス

(五) 賃借人ニ於テ本條項ニ違背シタルトキハ賃借人ハ何等ノ催告等ノ手續ヲ爲サズ本契約ハ當然其ノ效力ヲ失ヒタルモノト看做シ當該年度裏作(六月二十日)後直ニ小作地ノ返還ヲ請求スルコトヲ得可ク又賃借人ハ此ノ場合ニ於テハ六月二十日迄ニ裏作ヲ收穫シテ小作地ヲ返還スルヲ要ス

(六) 宅地ニ付キテハ第二項以下減免ノ適用ナキモノトス

(七) 本件申立ニ要シタル費用ハ各自辨タルコト

### 三三 奈良縣生駒郡伏見村 (小作料一時的減額、土地返還)

爭議發生 昭和三年三月十日

調停申立 第一回 昭和三年十月十六日 第二回 昭和四年七月八日、九日

解決 昭和五年一月十七日

關係人員 爭議 地主 十七人外ニ土地會社 小作人 百九十人

調停 右ニ同ジ(何レモ小作人申立)

關係土地 爭議 田 五十五町五反九畝歩餘 畑 六反六畝歩餘 其ノ他 約四反歩  
調停 右ニ同ジ

### (一) 爭議ノ概況

昭和二年度水稻插秧期ニ當リ灌溉水不足セルヲ以テ小作人等ハ豫メ地主トモ協議シ平年ニ比シ約十日間遅延シテ植付ヲ了シタルガ其ノ後成育期間中モ旱天勝ニテ著シク減收ナリシトテ各大字共小作料ノ五割乃至六割ノ減免要求ヲ申出タリ、然ルニ地主ハ之ヲ拒否スルト共ニ累年ノ小作爭議ノ煩ニ堪エズトテ根本的對策ヲ協議シタル結果昭和三年五月十九日伏見共榮農業合名會社ヲ設立シ之ニ對シテ永



小作權設定ノ登記ヲ爲シ直ニ辯護士名ヲ以テ各小作人ニ對シ小作料納入ノ督促ヲ爲シ若シ納入ナキトキハ契約ヲ解除スベキ旨ノ通知狀ヲ發送セリ茲ニ於テ警察署長、小作官、有志者等調停ニ入り双方ノ間ヲ介シテ種々旋斡ニ努メタルモ調停成ラズ仍テ小作人ハ小作官ノ意向ヲ聽キ昭和三年十月十六日第一回ノ小作調停ノ申立ヲ爲シタリ

### (二) 調停ノ經過

裁判所ニ於テハ直ニ調停委員會ヲ開催シ當事者双方ノ意見ヲ訊シタルニ小作人側ハ昭和二年度小作料ハ相當減額スルト共ニ土地ハ假令會社ノ管理ニ移サレタリト雖モ將來引續キ小作繼續方ヲ要求シタルニ對シ地主側タル會社代表ハ會社ハ從來ノ小作地ニ付キ永小作權ヲ取得シタルモノニ付土地ハ一應會社ニ明渡シ然ル上更メテ請負耕作又ハ勞務契約ニ依リ小作人ニ耕作ヲ爲サシメタク本問題ガ解決シタル上ニテ昭和二年ノ小作料減免問題ノ交渉ニ應ズベシトテ双方ノ主張ニ格段ノ相違アリ仍テ委員會ハ一先ヅ兩者ニ考慮ヲ求メテ期日ヲ次回ニ讓レリ

其ノ後數次ノ委員會ヲ開キタルモ會社ハ飽迄土地明渡ヲ求メテ一步モ讓步セズ却ツテ本調停ノ却下ヲ申請スルニ至リ小作人側亦日本民衆黨(地方無產黨)ノ應援ヲ求メテ伏見村農人會ナル小作人組合ヲ設立シテ對抗スルニ至リ此ノ間調停委員ノ辭任交替等アリテ事態ハ益々紛糾スルニ至レリ

委員會ノ開催前後八回ニ及ビタルモ何等ノ妥協點ヲ見ズ委員會ハ遂ニ調停不成立ヲ決意シ此ノ旨小

作人ニ告ゲタルニ小作人ハ昭和四年四月十五日一先ヅ本件調停ノ申立ヲ取下ゲタリ

調停事件不調ニ終ルヤ地主側ハ直ニ訟訴手續ニ移リ五月二日小作地五十數町歩ニ亘ル立入禁止假處分ヲ執行シ大部分ノ土地ハ會社ノ直接管理耕作ニ移シタリ茲ニ於テ小作人側モ種々對策ヲ講究シタル結果再度調停申立スルコトニ決シ昭和四年七月八日第二回ノ調停申立ヲ爲シタリ

斯クテ地主側ノ内ニモ多少軟化スルモノヲモ生ジ調停ノ機運ニ向ヒタルヲ以テ一應本件ヲ隣接村村長ノ勸解ニ附シタルモ成ラズ再ビ調停委員會ノ調停ニ附スル事トシ愈々昭和二、三兩年度ノ小作料減額問題ニ入り双方ニ讓步ヲ促シ前後五回ニ亘リ調停ニ努メタル結果漸次兩者ノ主張接近シ來リ昭和五年一月十七日ノ委員會ニ於テ左記條項ヲ作成双方ニ提示シタルニ漸ク之ガ承認ヲ得前後二十數月ニ亘リタル紛爭事件モ茲ニ調停成立ヲ見ルニ至レリ

### (三) 結 末

#### 調 停 條 項

- 一 申立人(小作人)ガ小作シ居リタル相手方(地主)所有ノ別紙第一目錄(事件關係地目錄)記載土地ニ對スル昭和二年度及ビ同三年度ノ小作料ハ二ヶ年分ヲ通シ定額小作料ヨリ六割ヲ減ジ殘額十割ヲ昭和四年度產奈良縣穀物生産検査規則ニ依ル格内玄米ヲ以テ昭和五年一月三十一日限り相手方タル地主ニ支拂フモノトス



- 申立人ヨリ相手方ニ對シ既ニ小作料トシテ納付シタル玄米額ハ右納付額ヨリ控除シ支拂フコト但シ内入納付額ニ付テハ申立人相手方連署ノ上第二目錄トシテ提出ノコト
- 二 申立人が相手方ニ對シ第一項所定ノ玄米ヲ以テ支拂ヲ爲サザルトキハ相手方ハ玄米一石ヲ金二十七圓ノ割合ニ換算シ金錢債權トシテ取立ヲ爲スコトヲ得
- 三 前記第一目錄記載ノ土地中申立人が假處分ヲ受ケ執達吏ニ金員ヲ交付シテ耕作シ居ル土地ヲ除キタル土地ニ付テハ現ニ相手方會社ガ假處分ノ執行ニ因リ占有シ居ル儘完全ニ引渡ヲ受ケ占有權ヲ取得シタルモノトス
- 申立人が執達吏ニ金員ヲ交付シテ耕作シ居タル土地ハ申立人ヨリ相手方會社ニ引渡ヲ爲スモノトス
- 四 相手方會社ガ申立人ニ對シ奈良地方裁判所昭和三年(ワ)第七八號乃至第八三號土地明渡請求事件トシテ提起シタル民事訴訟ハ適當ノ機會ニ於テ取下ヲ爲スベク此ノ場合ニ於ケル訴訟費用ハ各自辨トス
- 五 相手方會社ガ申立人ニ對シ假處分申請ヲ爲シタル際保證金トシテ供託シタル金員ノ還付ヲ受クルニ付テハ申立人ハ何等ノ異議ヲ唱ヘズ本調停ニ於テ同意ノ意思ヲ表示シ置クモノトス
- 右ニ付キ還付ノ裁判ヲ受ケタル上ハ双方ヨリ不服ノ申立ヲ爲サズ抗告權ヲ拋棄スルモノトス

(目錄省略)

三四 和歌山縣那賀郡中貴志村大字神戸 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和三年十一月三十日

調停申立 昭和四年一月十一日

解 決 昭和四年三月五日

關係人員

爭議	地主	三十二人	小作人	百二十人
調停	右ニ同ジ(地主申立)			

關係土地

爭議	田	三十五町五反二畝七步
調停	右ニ同ジ	

(一) 爭議ノ概況

小作人ハ昭和二年秋季ヨリ全國農民組合ニ加入シ神戸支部ヲ設立シアル關係上組合ノ決議ヲ以テ稻刈取後書面ヲ以テ各地主ニ小作料ノ減額要求ヲ爲シタリ、仍テ地主側ハ地主會ヲ開キ小作人ノ要求ニ對シ二割ノ減額ニ應ズベキ旨申合セ之ヲ小作側へ回答セリ、然ルニ小作側ハ一人トシテ地主ノ主張ニ應ズルモノナク爾來双方對抗的行動ニ出デ小作人側ハ縣聯合會ノ應援ニ依リ地主糾彈演說會ノ開催、小作米ノ不納同盟或ハ共同保管等ヲ斷行シ地主ヲ脅威シ地主側亦步調ヲ一ニシ小作人側ノ主腦者數十名ニ對シ動産假差押ヲ執行シ更ニ小作米ノ支拂命令ヲ發スル等法ノ權力ニ依リ抗爭ヲ持續セントスル



態度ニ出デ事件ハ益々複雑ニ進ミタリ此ノ情勢ニ鑑ミ地元村長ハ有志ト共ニ調停ニ立チ双方ニ折衝シタル結果多少ノ互譲ヲ見タルモ遂ニ不調ニ終リタルヲ以テ地主側ハ正式ニ調停申立ヲ爲シタリ

(二) 調停ノ經過

裁判所ハ申立受理ト共ニ調停委員ヲ指定シ一月三十日第一回調停委員會ヲ開催シ爾來數回會ヲ重ネ互譲妥協ヲ促シ又調停期日外ニ於テモ小作官及調停委員ハ再三當事者ニ折衝シ主張ノ緩和ニ努メタルモ双方其ノ態度強硬ニシテ一時ハ調停不成立ニ終ラントシ地主ハ直ニ本訴提起ノ氣配ヲ示シ小作人側亦之ニ應訴シ將ニ法廷戰ニ移ラントスル趨勢ニ至リシガ三月四日第六回ノ調停委員會ヲ係争地ニ於テ開催シ委員會及村長、區長等ハ徹宵最後ノ調停ニ努力シタル結果翌五日午前四時ニ至リ漸ク双方ノ妥協ニ依リ久シク紛糾シ而モ深刻ナル争議トシテ附近ノ注視セル事件モ左記調停條項ヲ以テ圓滿解決ヲ告ゲタリ

(三) 結 束

調 停 條 項

- 一 申立人(地主)ハ相手方(小作人)ニ對シ本件土地ニ對スル和昭三年度小作料ヲ從前ノ約定小作料一石ニ付二斗五升ノ割合ニテ減額スルコト
- 二 相手方ハ右減額ヲ受ケタル小作料ヲ昭和四年三月十日限申立人ニ支拂ヒ若シ玄米ニテ支拂フコト

能ハザルトキハ一石ニ付金廿七圓ニ換算シタル金額ヲ支拂フコト

- 三 申立人ハ相手方ニ對シ昭和四年度以降五ケ年間ハ從前ノ小作料一石ニ付一斗五升ヲ減額シ尙毎年十二月廿五日限り各其ノ小作料ヲ皆納シタルトキハ右以外ニ約定小作料一石ニ付二升ノ割合ヲ獎勵米ヲ交付スルコト

- 四 當事者双方ハ將來双方ノ融和ト福利増進ヲ圖ル爲速ニ適當ノ協調機關ヲ設クルコト、而シテ申立人ハ同機關ヲシテ農事改良獎勵費用ニ充テシムル爲從前ノ約定小作料一石ニ付三升ノ割合ヲ以テ一升金二十七錢ニ換價シタル金額ヲ昭和四年九月末日迄ニ同機關ニ提供スルコト

- 五 昭和四年度以後天災其他不可抗力ニ因リ著シク減收ノ虞アルトキハ立毛刈取前關係地主、小作人双方立會檢見ヲ爲シ其ノ減額率ヲ協定ス

若シ協定不調ノ場合ハ中貴志村當局及同村小作調停委員ノ立會ヲ求メ其裁量ニ一任スルコト

三五 鳥取縣西伯郡逢坂村 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年二月十二日

調停申立 昭和四年二月十二日 (米子支部第七號)

昭和四年三月二十三日 (米子支部第十一號)

解 決 昭和四年八月五日



關係人員 爭議 地主 四十人(河東土地會社) 小作人 二百人  
調停 地主 七人(河東土地會社) 小作人 十三人(第七號)(小作人申立)  
二十七人(河東土地會社) 五十一人(第十一號)

關係土地 爭議 田 五十五町三反  
調停 田 二町九反(第七號)  
田 十五町一反(第十一號)

(一) 爭議ノ概況

小作人ハ大部分全國農民組合ニ加入シ昭和三年分小作料ノ減額ヲ請求シ内七割ノ内入ヲナサントス  
ルモ河東土地株式會社ニ土地管理ヲ委托セル地主ハ之ニ應ゼズ小作料不拂ヲ理由トシテ契約解除ヲ通  
告シ約半分ノ土地ニ付河東土地會社ニ永小作權ヲ設定シタリ小作人ハ地主ガ本訴提出ヲ恐レ調停ヲ申  
立テタリ

(二) 調停ノ經過

昭和四年二月十五日、同月二十二日、五月十三日逢坂村役場ニ於テ裁判所ノ出張調停アリ小作官立  
會シ逢坂村農會長近藤某勸解人トナリ双方斡旋ニカメシモ地主ハ飽ク迄調停不應ノ態度ヲ固持シテ讓  
ラズ小作人側ハ最後ニ調停官ニ對シ無條件一任ノ態度ヲトル  
同年五月二十七日及六月三日小作官立會米子裁判所ニ於テ地主側ト折衝ヲ重ネシ結果地主側ハ土地  
會社支配人佐久保某ニ調停一任ヲナシ佐久保某ハ永小作權設定地ニ對シテハ請負耕作ノ契約ヲ締結ス

ベキヲ提言ス六月十一日及同十二日逢坂村役場ニ於テ再ビ出張調停開會ス小作官ハ佐久保支配人ト耕  
作契約書内容及昭和三年分小作料ニ付折衝シ耕作契約ニ付諒解成ル(調停條項記載ノ通)昭和三年小  
作料ニ就キテハ調停官左案ヲ以テ地主側ニ交渉ス

調停案要旨

一 昭和三年分小作料全額ヲ左ノ通り支拂フ事

(1) 二分ノ一 昭和四年六月卅日限(四等檢査合格米又ハ一石金二十五圓也)ノ割合ニヨル換算金額)

(2) 二分ノ一 昭和四年十月十日限(一石金廿五圓也)ノ割合ニヨル換算金額)

二 第一項支拂完了セル時ハ地主ハ小作人ニ對シ皆濟祝儀トシテ

(1) 大字高橋ノ土地 田賃貸料ノ十分ノ二

(2) 其他ノ大字ノ土地 同 十分ノ一

「尙玄米支拂ヲナセルモノハ四斗入一俵ニ付二十二錢ノ檢査料及俵裝料交付ノ事」ヲ交付スル事

三 昭和四年六月三十日限小作料全額ヲ支拂ヒタルモノニ對シテハ

(1) 大字高橋ノ土地 田賃貸料ノ十分ノ二・五

(2) 其他ノ大字ノ土地 同 十分ノ一・五

ノ皆濟祝儀ヲ交付スル事



是ニ對スル地主側ノ主張ハ左ノ如ク修正スベキヲ求ム

- 一 米價一石ヲ金二十六圓五十錢トスル事
  - 二 俵裝料損料ハ一俵二十錢トスル事
  - 三 支拂期ハ六月及八月各月末トスル事
  - 四 皆濟祝儀ヲ全般ニ十分ノ一トスル事
- 尙大字殿河内ハ土地返還ヲ求ムルヲ以テ調停外トスル事  
調停官ハ地主ニ再考ヲ求ムルモ應ゼズ續行ニ決ス

(三) 結 末

六月十四日米子裁判所ニ於テ更ニ調停開催シ小作官ハ佐久保支配人ト折衝シ左ノ條項ニ同意セシメ七月五日完全ニ調停成立ス但シ大字高橋ノ小作人中同意セザルモノアリテ一部取下シタルモノアリ

調 停 條 項

- (一) 申立人ハ相手方ニ對シ別紙目錄(略記)記載ノ通昭和三年賃貸料ヲ一石金貳拾五圓也ニ換算シ左ノ通支拂フモノトス
  - (1) 第一回 二分ノ一 昭和四年六月三十日限
  - (2) 第二回 二分ノ一 同 年九月三十日限

(二) 申立人ガ前項支拂完了シタル時ハ相手方ハ申立人ニ對シ左ノ區別ニヨリ皆濟祝儀ヲ交付スルモノトス

- (1) 大字高橋ノ土地 田賃貸料十分ノ二
- (2) 其他ノ大字土地 同 十分ノ一

附 款

本件中河東土地株式會社ニ於テ永小作權ヲ設定シタル土地ニ就キテ左ノ土地耕作契約書ヲ河東土地會社ニ對シ差シ入ル、事ヲ双方當事者同意シタリ

耕 作 契 約 書

河東土地株式會社ヲ甲トシ耕作者ヲ乙トシ左記條項ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲ガ永小作權ヲ有スル別表ノ土地ニ付乙ハ昭和四年 月 日ヨリ昭和六年十二月三十一日迄ノ間本契約ニ基キ耕作ヲナス

但シ期間中乙ニ不都合ノ行爲ナキ時ハ期限滿了後ト雖モ契約ノ更新ヲナスモノトス

第二條 乙ハ別表中特ニ栽培作物ノ記載ナキ田ニ就キテハ毎年稻作ヲナスモノトシ畑ニ就キテハ乙ニ於テ任意ノ作物ヲ栽培スルモノトス但シ田ノ夏作ニ稻以外ノ作物ヲ栽培シ又ハ畑地ニ永年生作物ヲ栽培セントスル時若クハ別表記載ノ作物ヲ變更セントスル時ハ豫メ甲ノ同意ヲ得ル事ヲ要ス



第三條 乙ハ耕作ニ要スル種苗、肥料、農具、諸材料及勞力ヲ負擔シ耕作ハ地方一般ノ方法ニ依リ善良ナル注意ヲ以テ之ヲナスモノトス

第四條 乙ハ豫メ甲ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ耕作ヲ他人ニ委託スル事ヲ得ズ

第五條 乙ハ稻作田ニ就キテハ毎年十二月二十日限其生産米中ヨリ別表記載ノ額ヲ甲ノ指定シタル場所（乙ノ住居スル大字以外ノ場所ヲ指定シタル時ハ甲ハ相當ノ運賃ヲ乙ニ交付ス）ニ於テ甲ニ引渡スモノトス

第六條 乙ハ畑及稻以外ノ作物ヲ栽培シタル田ノ生産物ノ代替トシテ別表記載ノ玄米ヲ毎年十二月二十日限甲ノ指定シタル場所（乙ノ住居スル大字以外ノ場所ヲ指定シタル時ハ甲ハ相當ノ運賃ヲ乙ニ交付ス）ニ於テ甲ニ引渡スモノトス

乙ハ前項ノ玄米ヲ毎年九月下旬ノ地方相場ニ基キ甲ノ決定シタル換算代金ヲ以テ十月十日限甲ニ支拂フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ甲ハ相當ノ賞與ヲ乙ニ交付スルモノトス

第七條 甲ハ第五條及第六條ノ引渡以外ノ其ノ土地ノ生産物ヲ耕作ノ報酬トシテ乙ニ交付スルモノトス

第八條 乙ハ田ニ任意ノ裏作ヲナシ其ノ生産物ノ全部ヲ收得スルコトヲ得契約期間滿了ノ時契約ヲ更新セザル場合ニ於テハ乙ハ契約滿期ノ日ヨリ五箇月以内ニ作物ヲ收去シ土地ヲ明渡スモノトス

第九條 天災其他不可抗力ニヨリ稻作減收ノ爲乙ノ報酬ガ著シク少額トナルモノト認メタルトキニ限リ乙ハ刈取十日前迄ニ其田地ノ所在反別及見積收量ヲ記載シタル書面ヲ甲ニ提出シ引渡米ノ減額ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ甲ハ刈取期迄ニ立稻ヲ審査シ第五條ノ引渡米ヲ相當減額スルモノトス乙ハ之ニ異議ヲ唱ヘザルモノトス

第十條 乙ガ第二條、第三條第二項、第五條、第六條ニ違背シタル時ハ契約期間内ト雖甲ハ契約ヲ解除スルコトヲ得

前項ニ依リ契約ヲ解除シタル際第五條又ハ第六條ノ引渡米ニ不足アルトキハ解約地ニ現存スル作物ハ甲ノ所有ニ歸スルモノトス

尙紳士契約トシテ昭和三年小作料全額ヲ昭和四年七月十五日迄ニ支拂ヒタルモノニハ貸貸料ノ五分ニ相當スル金額ヲ河東土地會社佐久保支配人ヨリ近藤村農會長ニ交付シ近藤ヨリ各支拂人ニ祝儀トシテ更ニ交付スルモノトス

三六 島根縣能義郡比田村大字東比田（小作人土地買受）

爭議發生 昭和四年二月二十八日

調停申立 昭和四年二月二十八日



爭議解決 昭和四年三月二十一日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 一人  
調停 右ニ同ジ(小作人申立)

關係土地 爭議 田 二反六畝十四步 宅地 百六十七坪 附屬山林 一反六畝十五步  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ元小作人先代ノ所有地ナリシモ家政整理ニ當リ賣却、明治四十三年以來宅地賃貸料六斗七升、田ノ小作料三石二斗九升四合計三石九斗六升四合ヲ以テ賃貸シ來リタルモノナル處偶々大正十五年ハ天候不順ニ依リ不作ニ付小作人ハ小作料ニ對シ三割減ノ要求ヲ爲シタルニ地主ハ檢見ノ結果約五分ニ相當スル減免ヲ申渡シタルモ減額高尠ナク支拂困難ナリトシ爾來數回之ガ減額方ヲ折衝セルモ纏ラズ依而昭和二年一月二十三日及三月二十九日ノ二回ニ右小作料引當トシテ地主ノ事務員迄二石八斗ヲ内納シ他ハ減額ヲ受ケタシト申入レ置キタル處地主ハ五月十二日付内容證明郵便ヲ以テ同月二十日迄ニ小作料ノ全額支拂ヲ通告シ又同月十八日小作料請求ノ訴訟ヲ提起シ且翌々二十日假處分申請ヲナシ直ニ田地ニ立入禁止處分ヲ爲シタルモノナリ爾來第一、二審共地主ノ勝訴トナリ小作人ヨリ大審院へ上告中ノ處小作人ハ是非共繼續耕作ヲ希望シ昭和四年二月二十八日調停ノ申立ヲナシタルモノナリ

(二) 調停ノ經過

前記ノ如ク小作人ハ調停申立ヲナシ繼續耕作ヲ希望スル處アリシモ地主ハ既ニ二ケ年ニ亘リ耕作シ訴訟ニ於テモ第一、二審共勝訴トナリ居ル以上今更元々通り耕作セシムルコトハ絶對ニ不可ナリトテ應ゼズ然ルニ小作人ハ本土地主ハ元々同人先代ノ所有地ナリシ爲今更全然其土地ト離ル、コトハ忍ビザルヲ以テ若シ繼續耕作不可ナリトセバ該土地ヲ五ケ年々賦ニ依リ相當價額ヲ以テ賣買セラレタシト申出タルモ地主ハ相當價額ヲ以テ賣却スルコトハ差支ヘナキモ年賦償還ハ絶對ニ不可ナリトテ應ゼズ價額ニ付テモ地主ハ一千九百九十三圓小作人ハ一千二百八十圓ニテ賣買シタシトノコトナリシモ前後三回ニ亘リ調停ニ努メタル結果總價額ヲ一千五百圓トシ昭和四年九月三十日迄ニ三回ニ分割支拂フコト、シ別記條項ニ依リ調停成立シタルモノナリ(因ニ本件ハ九月三十日迄ニ右金額及不足米ヲ完納完結シタリ)

(三) 結 末

調停條項

一 相手方(地主)ハ申立人(小作人)ニ對シ其所有ニ係ル末記不動産中(甲)能義郡比田村大字東比田字道城二百八十九番地宅地百六十七坪ヲ代金三百五十圓(乙)爾餘ノ不動産ヲ代金千五百圓合計一千五百圓ヲ以テ賣渡シ申立人ハ之ヲ買受クルコト



- 二 甲地ニ對スル代金三百五十圓及乙地ニ對スル代金ノ内百五十圓合計五百圓ハ昭和四年三月卅一日迄ニ支拂フコト
- 三 甲地ニ對スル賣買代金ノ完済ヲ爲シタルトキハ相手方ハ何時ニテモ申立人ノ請求ニヨリ申立人又ハ須藤某名義ニ所有權移轉登記手續ヲ爲スコト
- 四 乙地ニ對スル代金中右百五十圓ヲ控除シタル殘額千圓ハ之ヲ二分シ内四百圓ヲ昭和四年五月卅一日迄ニ内六百圓ヲ同年九月卅日迄ニ各支拂フコト
- 五 申立人ニ於テ第二項ノ義務ヲ履行シタルトキハ相手方ハ何時ニテモ申立人ニ乙地ノ引渡ヲ爲スコト
- 六 乙地ニ對スル代金ヲ申立人ニ於テ完済シタルトキハ相手方ハ申立人ノ選擇ニヨリ申立人又ハ須藤某名義ニ所有權移轉登記手續ヲ爲スコト
- 七 申立人ガ昭和四年三月卅一日迄ニ第二項ノ義務ヲ履行セザルトキハ本契約ヲ無効トス
- 八 申立人ガ昭和四年五月卅一日迄ニ支拂フベキ四百圓又ハ同年九月卅日迄ニ支拂フベキ六百圓ノ何レカノ支拂ヲ怠リタルトキハ甲地ノ賣買ヲ除クノ外本件契約ヲ無効トシ乙地ニ對スル第二項ノ内入金百五十圓ハ相手方ニ於テ之ヲ沒收スルコト
- 九 申立人ガ乙地ノ引渡ヲ受ケタル後本件契約ガ前記事由ニヨリ無効ニ歸シタルトキハ申立人ハ該土地ニ對シ勞費ヲ既ニ投ジタルト否トヲ問ハズ現状ノ儘無償ニテ相手方ニ返還スベキモノトス

此場合ニ於テ相手方ガ特ニ申立人ヨリ引渡ノ手續ヲ受クルコトナクシテ土地ノ占有ヲ始ムルモ申立人ハ異議ヲ述べザルモノトス

- 十 申立人ガ相手方ニ對シ既ニ支拂ヲ爲スベキ賃貸料ニシテ未ダ其履行ヲ終ラザル甲地ニ對スル大正十五年度竝昭和三年度分各玄米六斗六升五合三勺ヅ、及乙地ニ對スル大正十五年度分ノ殘額三斗一升四合三勺合計一石六斗四升四合九勺ハ之ヲ一石六斗ニ減額シ昭和四年三月卅一日迄ニ相手方ノ指定スル比田村大字東比田内ノ場所ニ持參支拂フコト

- 十一 申立人ハ乙地ニ關シ現ニ係争中ナル昭和二年（ハ）第六五八號事件ニ對スル上告ノ申立ヲ直チニ取下グルコト

但本件契約ガ無効ニ歸シタル場合ト雖ドモ右取下ニヨリ生ジタル訴訟上ノ效力ニ對シテハ相手方ハ何等ノ責ヲ負ハザルモノトス

- 十二 本件土地ニ關シ從來當事者間ニ起リタル訴訟事件ノ一切ノ費用ハ各自辨トス

(甲)

能義郡比田村大字東比田字道城二百八十九番

一 宅地百六十七坪



(乙)

同 所字道城藏屋敷前二百九十二番

一 田一反八畝十六步 外畦畔二畝二十四步

同 所字鄉藏後二百九十四番ノ内第一

一 田四畝二步 外畦畔一畝十八步

同 所字道城二百九十三番

一 宅地百十六坪 附屬草山

同 所字祖母谷二千七百六番

一 山林一反六畝十五步 (以上公簿ニ據ル)

三七 岡山縣邑久郡美和村大字 飯井 東須惠 (小作料一時的減額 小作條件改定)

爭議發生 大正十一年十二月三日

調停申立 昭和四年二月十二日 昭和四年五月一日

解 決 昭和四年五月九日

關係人員

爭議 地主 二十五人 小作人 五十二人  
調停 地主 十六人 小作人 二十九人(地主申立)

關係土地

爭議 田 十六町二反步  
調停 田 五町二畝二十九步 畑 五畝十二步

(一) 爭議ノ概況 (調停申立ニ至ル迄ノ經過)

小作人等ハ同村居住ノ森某ノ指導ノ下ニ大正十一年十月三日日本農民組合ニ加盟シ同月十七日飯井支部ヲ設立シ次イデ同年十二月三日日本農民組合邑久上道聯合會長山上某ノ名義ヲ以テ村内及村外地主(主トシテ邑久郡鶴山村)ニ對シ小作料高率收支不償ヲ理由トシ小作料永久三割減額ヲ要求シタルニ端ヲ發シ爾來抗爭ヲ續ケテ大正十三年度ニ至リシガ同年度ハ偶々旱害ノ爲凶作ナリシヲ以テ小作人等ハ前記要求ノ外ニ更ニ過大ノ減額ヲ要求セント協議中ノ處同年十一月十一日村内地主西脇某外六名ハ關係小作人十二名ノ土地田一町九反八畝十七步ノ立稻假差押ヲ執行シタル爲同年十二月一日支部長森某外三十名ハ地主宅ニ押寄セ無條件差押解除ヲ強訴シ十五名ノ犯罪者ヲ出スニ至レリ

越ヘテ大正十四年度モ亦小作人ハ約七割ノ充行拂ヲナシ其ノ儘經過シ大正十五年度ニ至レルガ同年稻作ハ一部旱害アリタルヲ以テ小作人ハ同年小作料ノ五割減ヲ要求シタリ茲ニ於テ村内地主五名ハ美和村長林某ニ調停ヲ依頼シタルニ同村長ハ之ヲ諒トシテ居中調停ヲ試ミ大正十四年度分ヨリ小作料ノ改訂(平均一割一分六厘減)ヲナシタル上從來ノ未納小作料ニ付キテハ大正十二年度全額免除大正十三年度五割減大正十四年度二割減大正十五年二割減トシ其ノ支拂方法ハ五ヶ年賦トシ且將來ハ檢見ノ



上小作料額ヲ協定スルトノ提案ヲナシタルニ小作人ハ之ニ應ジタルモ該條件ヲ履行スルニ至ラズ事實  
 上未解決ノ儘推移シタリ村外地主等モ村内地主關係爭議ノ餘波ヲ受ケ年々小作料ノ内納ヲ受ケ來リ未  
 納小作料多額トナリタルヲ以テ訴訟ニヨリ結末ヲ告ゲントシ邑久郡鶴山村上森某ノ意見ヲ徴シタルニ  
 同人ハ種々説得ノ上示談解決ヲ慫慂シタルヲ以テ地主モ之ヲ諒トシ同氏ニ協調方一任スルニ至レリ依  
 テ同氏ハ支部長森某ノ意嚮ヲモ參酌シ昭和三年三月二十日左ノ如キ調停案ヲ發表シタリ

一 地主ハ小作人ニ對シ左記ノ通り完納早納獎勵米ヲ交付スルモノトス

完納早納獎勵米 四斗入一俵ニ付キ參升

但シ翌年一月十五日迄ニ完納セザル小作人ニ對シテハ右ノ内一升ヲ減ズルモノトス又一月三十日迄  
 ニ完納セザル小作人ハ更ニ殘餘ノ二升ヲ受クル權利ヲ失フモノトス又其ノ年ノ十二月二十日以内ニ  
 完納シタル小作人ニ對シテハ一升ヲ増加スルモノトス

一 地主ハ小作米高ヨリ右ノ割合ニテ交付シタル殘實收米(即チ倉入米)一俵ニ付キ左記普通獎勵米  
 ヲ交付スルモノトス

生産合格米 一本筋 一俵ニ付キ三升

同 二本筋 同 二升

一 昭和元年以前ノ未納米ハ小作人ノ財産程度ニ依リ左記ノ四種ニ分類シ年賦支拂トス

(甲) 昭和三年度小作米支拂ト同時ニ半額ヲ支拂ヒ殘半額ハ翌年度小作料ト同時ニ支拂フモノトス

(乙) 昭和三年度、昭和四年度、昭和五年度ノ三回ニ其ノ三分ノ一宛ヲ其ノ年度ノ小作米ト同時ニ  
 支拂フモノトス

(丙) 昭和三年度、同四年度、同五年度、同六年度ノ四回ニ其ノ四分ノ一宛ヲ其ノ年度ノ小作米ト  
 同時ニ支拂フモノトス

(丁) 昭和三年度、同四年度、同五年度、同六年度、同七年度ノ五回ニ其ノ五分ノ一宛ヲ其ノ年ノ  
 小作米ト同時ニ支拂フモノトス

一 昭和二年度ノ不納米ハ本契約ニ基キ昭和三年三月三十一日迄ニ全部ノ支拂ヲナスモノトス

一 小作人ガ小作料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ地主ノ請求ニ應ジ何時ニテモ小作地ハ其ノ儘返還スベキ  
 コト此ノ場合小作人ハ何等ノ權利ヲ主張シ得ザルモノトス

一 地主ガ本契約有効期間中ニ土地ヲ賣却セントスル場合ハ先ヅ其ノ土地ノ小作人ニ通知シ十五日間  
 ヲ經過スルモ小作人ガ買取ノ意思ナキカ又ハ其ノ價格ノ協定成立セザル時ハ他ノ人ニ之ヲ賣却スル  
 モ此ノ時ニ當リ何等ノ權利ヲ主張シ得ザルモノトス

一 小作人ハ地主ノ承認ヲ得ルニ非ラザレバ小作地ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ザルモノトス

一 天災地變ニ因リ著シキ減收ヲ來シ小作米ノ減額ヲ要求セントスルトキハ地主ニ對シ檢見ヲ要求シ



其ノ年ノ小作米額ノ決定ヲ受クベキモノトス但シ檢見ヲ受ケズシテ刈取ヲナシタルトキハ如何ニ收穫豫想ニ反スルトモ小作米減額要求ヲナシ得ザルモノトス

一 本契約ハ昭和三年度ヨリ何年度ニ至ル向フ何箇年間有効期間トス

一 本契約期間満了ノ際ハ更新ヲ妨グズト雖地主又ハ小作人ノ一方ガ更新ヲ肯セザルトキハ其ノ土地ハ地主ノ任意ニ處分シ得ルモノトス

右調停案ニ對シ地主側一同及小作人中支部長タル森某ハ同意シタルヲ以テ昭和三年四月中旬上森ハ爭議地タル美和村大字東須惠ニ赴キ小作人一同ト會見シ前記調停條件ヲ示シ尙示談成立後調停法ニ依ル調停ヲ受クベキ旨ヲ諭シタルニ小作人ハ第六項「土地返還ニ關スル條項」ノ削除ヲ主張シ調停法ニ申立ツルコトヲ回避シ尙小作米ノ納入ニ對スル運賃ノ支給ヲ希望シタルヲ以テ上森モ一時調停ヲ打切リタリ茲ニ於テ昭和四年二月十二日鶴山村地主横山某ハ關係小作人一名ヲ相手方トシテ岡山地方裁判所ニ調停申立ヲナシ尋デ其ノ他ノ地主ハ昭和四年五月一日何レモ同裁判所ニ調停申立ヲナシタリ

(二) 調停ノ經過

調停ノ申立アルヤ直チニ調停主任判事ハ岡山地方裁判所ニ當事者双方ノ出頭ヲ求メ小作官ト共ニ爭議ノ經緯竝ニ小作事情ヲ聽取シ次イデ昭和四年三月十三日ヨリ三日間現地ニ出張シ關係土地一筆毎ニ小作地反別小作料額竝未納小作料ノ額及各年次ノ作況又ハ小作人ノ支拂能力ヲ調査シ尋デ昭和四年四

月十一日以降邑久郡鶴山村及同郡美和村ニ於テ調停委員會ヲ開催シ當事者双方ノ意見ヲ徴シ協調ニ努メタルニ小作人ハ(一)小作料永久ニ割減(二)未納小作料ハ全額免除(三)土地ハ永久小作セシムルコト等ヲ主張シテ讓ラザルニ對シ地主ハ小作地引上ヲ要求シ調停進捗セザリシガ調停委員會ハ極力調停ニ努メタル結果双方ノ主張モ漸ク緩和シ解決ノ曙光ヲ認メタルヲ以テ昭和四年五月九日小作人ニ對シ個別ニ未納小作料ノ支拂方法ヲ提示シタルニ何レモ之ヲ承認シタルヲ以テ直ニ左記調停條項ヲ地主小作人ニ讀ミ聽カセタルニ双方異議ナク之ニ應諾シ茲ニ調停成立シタリ

(三) 結 末

調 停 條 項 (村外地主對農民組合關係)

一 相手方ハ別表第一表記載ノ昭和三年度迄ノ未納小作米ヲ夫々申立人ニ對シ同表記載ノ時期ニ割拂支拂ヲ爲スモノトス

一 昭和四年度ヨリ昭和八年度ニ至ル五ヶ年間ノ別紙第二表記載ノ土地ニ對スル小作料支拂其ノ他ニ關シ左ノ如ク協定ス

(イ) 相手方ハ申立人ニ對シ別表記載ノ土地ニ對スル契約小作料ヲ毎年一月三十日限り申立人宅又ハ申立人ノ指定シタル場所ニ於テ支拂フモノトス但シ右支拂場所ガ美和村外ナルトキハ申立人ハ相手方ニ對シ相當ノ運賃ヲ支拂フモノトス



(ロ) 申立人ハ小作料ヲ前項ノ期日内ニ完納シタル相手方ニ對シ實納小作料一石ニ付キ七升五合ノ完納獎勵米ヲ交付スルモノトス但シ十二月三十日迄ニ完納シタル場合ハ右完納獎勵米ハ一石ニ付キ一斗トシ一月十五日迄ニ完納シタル場合ハ一石ニ付キ八升八合トス

(ハ) 相手方ガ生産検査合格米ヲ以テ小作料ヲ支拂ヒタル場合ハ申立人ハ實納小作料一俵(四斗入)ニ付キ左ノ産米改良獎勵米ヲ交付スルモノトス但シ一俵(四斗入)ニ充タザル端米ニ對シテハ之ヲ交付セズ

生産検査等級

獎勵米額

甲	三升五合
乙	二升五合
丙	一升五合

(ニ) 第二項(イ)ノ期日後ニ於ケル支拂小作米ニ對シテハ前項(ハ)ノ産米改良獎勵米ノ額ヲ各等級共一俵ニ付キ一升ヲ減ズルモノトス

(ホ) 相手方ハ天災地變其ノ他不可抗力ニ依リ減收ヲ來シタル場合ノ外小作料ノ減免請求ヲ爲スコトヲ得ズ

(ヘ) 相手方ハ前項ニ據リ小作料ノ減免ヲ請求セントスルトキハ稻刈取期前十五日ノ期間ヲ存シ申

立人ニ對シ檢見ノ申入ヲ爲スヲ要ス

(ト) 前項ニ依リ相手方ヨリ檢見ノ申入アリタルトキハ申立人ハ時期ヲ失セズ檢見ヲナシ當事者間ニ於テ收量ヲ協定スルモノトス

右協定調ハザルカ又ハ申立人ニ於テ相手方ノ檢見ノ申入ニ應ゼザル場合ハ當事者ハ合意又ハ單獨ニテ其ノ旨美和村長ニ申出デ同村長又ハ村長ノ指定スル公務員ノ調査ニ依リ收量ヲ決定シ之ニ對シ當事者ハ異議ヲ述フルコトヲ得ザルモノトス

(チ) 前項ニ依リ協定又ハ決定シタル收量ガ別紙第二表記載ノ小作料ノ十九割以下ノ場合ハ其ノ收量ト小作料ノ十九割ニ相當スル額トノ差額ノ七割ヲ同表記載ノ小作料ヨリ減ジタルモノヲ支拂額トス但シ相手方ノ收得ガ一反當リ六斗未滿トナルトキハ全收量ヨリ一反當六斗ノ割合ヲ以テ算出シタル額ヲ控除シタル殘額ヲ支拂額トス

(リ) 相手方ガ(ヘ)及(ト)ノ各項ニ定メタル檢見ヲ經ズシテ稻ノ刈取リヲ爲シタル場合ハ收穫ノ如何ニ拘ラズ小作料ノ減免ヲ爲サザルモノトス

(ヌ) 相手方ガ毎年一月三十日迄ニ小作料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ申立人ハ相手方ニ對シ換算金額ニテ其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

右換算金額ハ岡山縣穀物検査所西大寺支所ノ調書ニ係ル赤四等合格玄米ノ相場ニヨリ一月三十日



以前十日ノ平均價格ヲ算出シ之レヨリ一石ニ付一圓ヲ控除シタル金額ニ依リ計算スルモノトス  
(ル) 相手方ハ申立人ノ書面上ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ小作地ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ザルモノトス

(ヲ) 相手方ニ於テ小作料ノ支拂ヲ怠リタルニ依リ申立人ヨリ小作土地ノ明渡ノ請求アリタル場合ハ相手方ハ之ニ應ズルモノトス但シ土地明渡請求ヲ受ケタル當時當該土地ニ米麥作アルトキハ其ノ收穫後直ニ返還スルモノトス

(ワ) 本協約期間満了ノ際當事者双方異議ナキトキハ本協約ヲ更新スルモノトス  
調 停 條 項 (村内地主對農民組合關係)

一 相手方ハ別紙第一表記載ノ昭和三年度迄ノ未納小作米ヲ夫々申立人ニ對シ同表記載ノ時期ニ割賦支拂ヲ爲スモノトス

一 昭和四年度ヨリ昭和八年度ニ至ル五ケ年間ノ別紙第二表記載ノ土地ニ對スル小作料支拂其ノ他ニ關シ左ノ如ク協定ス

(イ) 相手方ハ申立人ニ對シ別表記載ノ土地ニ對スル契約小作料ヲ毎年一月三十日限り申立人宅又ハ申立人ノ指定シタル場所ニ於テ支拂フモノトス但シ右支拂場所ガ美和村外ナルトキハ申立人ハ相手方ニ對シ相當ノ運賃ヲ支拂フモノトス

(ロ) 相手方ガ生産検査合格米ヲ以テ小作料ヲ支拂ヒタル場合ハ申立人ハ實納小作米一俵(四斗入)ニ付キ左ノ産米改良獎勵米ヲ交付スルモノトス但シ一俵(四斗入)ニ充タザル端米ニ對シテハ之ヲ交付セズ

生産検査等級

獎勵米ノ額

- 甲 三升五合
- 乙 二升五合
- 丙 一升五合

(ハ) 第二項(イ)ノ期日後ニ於ケル支拂小作米ニ對シテハ前項(ロ)ノ産米改良獎勵米ノ額ヲ各等級共一俵ニ付キ一升ヲ減ズルモノトス

(ニ) 相手方ハ天災地變其ノ他不可抗力ニ依リ減收ヲ來シタル場合ノ外小作料ノ減免ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

(ホ) 相手方ハ前項ニ據リ小作料ノ減免ヲ請求セントスルトキハ稻刈取期前十五日ノ期間ヲ存シ申立人ニ對シ檢見ノ申入ヲ爲スヲ要ス

(ヘ) 前項ニ依リ相手方ヨリ檢見ノ申入アリタルトキハ申立人ハ時期ヲ失セズ檢見ヲナシ當事者間ニ於テ收量ヲ協定スルモノトス



(ト) 右協定調ハザルカ又ハ申立人ニ於テ相手方ノ檢見ノ申入ニ應ゼザル場合ハ當事者ハ合意又ハ單獨ニテ其ノ旨美和村長ニ申出デ同村長又ハ村長ノ指定スル公務員ノ調査ニ依リ收量ヲ決定シ之ニ對シ當事者ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ザルモノトス

(チ) 前項ニ依リ協定又ハ決定シタル收量ガ別紙第二表記載ノ小作料ノ十九割以下ノ場合ハ其ノ收量ト小作料ノ十九割ニ相當スル額トノ差額ノ七割ヲ同表記載ノ小作料ヨリ減シタルモノヲ支拂額トス但シ相手方ノ收得ガ一反當リ六斗未滿トナルトキハ全收量ヨリ一反當六斗ノ割合ヲ以テ算出シタル額ヲ控除シタル殘額ヲ支拂額トス

(リ) 相手方ガ(ホ)(ヘ)ノ各項ニ定メタル檢見ヲ經ズシテ稻ノ刈取ヲ爲シタル場合ハ收穫ノ如何ニ拘ラズ小作料ノ減免ヲ爲サザルモノトス

(ヌ) 相手方ガ毎年一月三十日迄ニ小作料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ申立人ハ相手方ニ對シ換算金額ニテ其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

右換算金額ハ岡山縣穀物検査所西大寺支所ノ調査ニ係ル赤四等合格玄米ノ相場ニヨリ一月三十日以前十日ノ平均價格ヲ算出シ之レヨリ一石ニ付キ一圓ヲ控除シタル金額ニ依リ計算スルモノトス  
(ル) 相手方ハ申立人ノ書面上ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ小作地ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ザルモノトス

(ヲ) 相手方ニ於テ小作料ノ支拂ヲ怠リタルニ依リ申立人ヨリ小作土地ノ明渡ノ請求アリタル場合ハ相手方ハ之ニ應ズルモノトス但シ土地明渡請求ヲ受ケタル當時當該土地ニ米麥作アルトキハ其ノ收穫後直ニ返還スルモノトス

(ワ) 本協定期間滿了ノ際當事者双方異議ナキトキハ本協約ヲ更新スルモノトス  
三八 岡山縣英田郡粟廣村大字馬形 (小作人土地買受  
未納小作料免除)

爭議發生 昭和三年十月二十五日  
調停申立 昭和四年三月十六日  
解 決 昭和四年十月二十六日

關係人員 爭議 地主 二人 小作人 十三人  
調停 右ニ同ジ(小作人申立)

關係土地 爭議 田 二町七反一畝二十八步  
調停 田 二町七反一畝二十八步(内畦畔八畝二十步) 宅地 二百十七坪

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ元同村ニ於ケル大地主豊福某ノ所有ニ係リ明治三十七八年頃耕地整理ヲナシタル結果該經費負擔ノ意味ヲ以テ九ヶ年間小作料ヲ増徴スルコトトナリ小作人等モ之ヲ承認シ來レルガ右年限ヲ



經過スルヤ小作人等ハ地主ニ對シ舊小作料ニ引直シ方交渉ヲナシタルニ地主ハ小作料ハ表面増徴ノ儘トシテ年々檢見引トシテ斟酌スベキ口約ヲナシ依然小作ヲ繼續シ來レリ然ルニ大正七年本件土地ヲ他ニ賣却シ更ニ大正十二年以來本件關係地主ノ所有ニ歸シタルガ地主ハ前地主タル豊福ト小作人トノ口約ヲ引繼ギ居ラザルヲ理由トシ増徴小作料ヲ契約小作料トシテ徴收スルヲ以テ小作人ハ之ヲ苦痛トシ地主ニ對シ凶年引ハ前地主豊福ノ徴收方法ニ準ゼラレタシト要求シタルガ地主ハ本件土地ハ小作料ヲ標準トシテ採算シ購入シタルモノナレバ絶對ニ小作料ヲ改訂セズト主張シ兩者間ニ扞格絶エザリシガ昭和二年迄ハ示談又ハ地方有志ノ仲介ニヨリ解決シ來レリ然ルニ偶々昭和三年度稻作ハ穂首稻熱病ノ被害ト降雨繁キ爲收穫減少シタルヲ以テ小作人等ハ當年限り小作料ノ二割五分減ヲ要求スベク申合セ昭和三年十月二十五日地主代理人有元某ヲ通ジテ地主ニ右要求ヲナシタルニ地主ハ要求過大ナリトシテ之ヲ拒絶シタリ其ノ後代理人ハ地主ト主協議ノ上一割減ヲ發表シタルモ小作人側ハ之ニ應ゼザリシ爲再ビ斡旋シタル結果地主ハ一割二分五分減迄讓歩シタルモ依然トシテ小作人等ハ妥協スルニ至ラズシテ收穫期ニ至レリ斯クテ小作人ハ十一月下旬未解決ノ儘稻ヲ刈取り更ニ地主ニ交渉シタルモ地主ハ土地ヲ返還セバ小作人ノ要求通り二割五分減ヲ容認スル旨回答シタルガ小作人ハ固ヨリ土地返還ハ苦痛トスル處ナルヲ以テ結局協調ナラズ昭和四年一月三十日小作料ノ約四割ノ内拂ヲナシ放置シタルガ地主ハ關係小作人十三名中新免某、新免某ノ兩名ヲ相手取り昭和四年二月七日小作米請求訴訟ヲ提起シ

テ法廷ニ於テ相争フト共ニ一面同年三月二日付ヲ以テ他ノ小作人十一名ニ對シ内容證明郵便ヲ以テ小作契約解除ノ通告ヲナシタリ之ニ對シ小作人等ハ昭和四年三月十六日岡山地方裁判所津山支部ニ調停法ニ依ル調停申立ヲナスニ至レリ

#### (一) 調停ノ經過

昭和四年三月二十二日小作官ハ爭議地ニ出張シ小作人新免某外三名ノ出席ヲ需メ爭議ノ實情ヲ調査スル所アリタリ次イデ同年四月十二日、十三日ノ兩日ニ亘リ第一回調停委員會ヲ爭議地タル英田郡粟廣村ニ於テ開催シ地主小作人總代ヲ招致シ其ノ主張並要求ヲ聽取シタルニ小作人ハ本件土地ヲ購入スル意嚮ヲ有シ居レルヲ以テ地主ニ土地賣却方ヲ慫慂シタルニ地主モ強ヒテ之ニ反對セザリシ故調停官ハ土地賣買價格ノ決定ハ調停委員會ノ評價ニ一任スベク勸說シタルニ結局考慮スベキ旨ヲ回答シタルヲ以テ一應保留シ期日ヲ次回ニ延期セリ昭和四年十月二十五日及二十六日ノ兩日第二回調停委員會ヲ勝田郡勝田村及英田郡粟廣村ニ於テ開催シ先ヅ調停主任判事、調停委員、小作官ハ調停方針ニ關シ評議ノ結果第一案トシテ「昭和四年度小作料ヲ免除シ反當價格六百圓ニテ小作人ヲシテ土地ヲ買取ラシメ且購入資金ハ之ヲ縣自作農創設資金ヨリ融通シ得ベキ途ヲ拓クコト」第二案トシテ「小作人ニ土地ヲ返還セシムル場合ハ作離料トシテ昭和二年度分未納小作料及昭和三年度分小作料全額ヲ免除セシムルコト」ノ二案ヲ定メ地主ノ内容ヲ探リタルニ地主ハ昭和四年度以前ノ未納小作料ハ免除スルモ土地



價格ヲ反當六百五十圓ニセラレ度主張シタルヲ以テ小作人總代新免某、新免某ノ二名ヲ招致シ地主ノ主張ヲ説明シ讓歩方種々勸說シタル處小作人側ハ(一)反當價格ヲ六百圓トシ昭和二年同年度未納小作料ハ免除シ昭和四年度小作料ハ半減セラレ度(二)土地賣却代金ヲ直チニ支拂ヒ得ザルヲ以テ低利資金ノ借入迄年六朱ノ利息ニセラレ度トノ回答ヲナシタルヲ以テ調停委員、小作官ハ引續キ斡旋ニ努メタル結果漸ク調停條項記載ノ條件ニテ調停成立シタリ

(三) 結 末

調 停 條 項

一 相手方ハ其ノ所有ニ係ル申立人耕作ノ別表不動産ヲ各其耕作セル小作人(申立人)ニ代金反當六百二十五圓(此内ニハ後ニ示セル昭和四年度ノ小作料及其以前ノ延滞小作料ニ當ル五十圓ヲ包含セラルヲ以テ實質ハ五百七十五圓也)ノ割合ニテ賣渡シ申立人ハ同斷之ヲ買受ケ其不動産ハ直ニ之ガ受渡ヲナスコト

右代金ノ内金トシテ反當五十圓(昭和四年度ノ小作料及其以前ノ延滞小作料ヲ金ニ見積リタルモノ)ノ割合ノ金ヲ昭和四年十二月三十一日限り其他ノ殘代金ハ申立人ニ於テ昭和五年度ノ自作農創設維持資金ノ融通ヲ受ケテ支拂ヲ爲スコト

右殘代金ニハ昭和四年十一月一日ヨリ支拂濟迄年八分ノ利息ヲ附スルコト

一 申立人ニ於テ滞納シ居レル右賣買不動産ニ對スル昭和三年度迄ノ小作料及昭和四年度ノ小作料ハ相手方ニ於テ其支拂ヲ全部免除スルコト

一 右賣買不動産ニ對スル公課金ニ付昭和四年十月三十一日迄ニ課セラレタルモノハ相手方ニ於テ同年十一月一日以降ニ課セラレタルモノ(水利費ヲ包含ス)ハ申立人ニ於テ各負擔支拂ヲ爲スコト

覺 書

一 本件申立以外ナル相手方所有ニシテ申立人新免某ノ借受居ル英田郡粟廣村大字馬形字豐恭十二番宅地二百七坪ハ相手方ニ於テ右申立人ニ對シ前三項ニ記載ト同一條件ニテ賣買スルコト

一 本件申立以外ナル前項ト同大字ニ所在ノ不動産ニシテ豐福某耕作ノモノハ粟廣村長谷口某ニ於テ前同様ノ條件ノ下ニ耕作者ガ買取ル様調停ノ勞ヲ執ラレ度シ

三九 廣島縣佐伯郡五日市町美濃里新開 (土地返還、作離料支給)

爭議發生 昭和四年四月二日

調停申立 昭和四年四月十一日

解 決 昭和四年七月六日

關係人員 爭議 地主 四人 小作人 三十八人

調停 右ニ同ジ(小作人申立)



關係土地 爭議田 七反二十一歩 畑 一町七反二畝三歩 雜種地 七反三畝十五歩  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

爭議關係地ハ明治三年佐伯郡玖島村故八田某ガ海面ヲ埋立テ築造シタル美濃里新開ノ一部ニシテ當  
初八田家ニ於テハ附近村落ヨリ小作人ヲ入小作セシメ其ノ住宅ナキモノニハ新ニ住宅ヲ建築シテ住居  
セシメ小作人ニ永久小作スルノ目的ニテ移住シ來レルモノ多シ其ノ後八田家破産スルヤ小作人ハ住宅  
ヲ買取り引續キ新地主ノ小作地ヲ小作シ來レルモノニシテ開墾當時ハ土地粗惡ナル荒蕪地タリシモ小  
作人ハ多年ニ亘リ勞費ヲ投シ辛苦ノ結果地味ヲ改良シ相當收穫ヲ見ルニ至レリ

同新開ノ地主中石田某、同弟ノ兄弟ガ附近ノ山林ヲ開墾シテ約六千坪ノ平地トナシ新ニ私立山陽女  
學校ヲ建築スルコトトナリ其ノ不用土砂ヲ運搬シテ先ヅ自家ノ小作地二町八反二畝餘歩ヲ一丈餘ノ高  
サニ埋立地上ゲヲ爲シ尙土砂過剩スルヲ以テ他ノ四名ノ地主所有地三町四反一畝餘歩ニ對シ同ジ高サ  
ニ埋立地上ゲスルコトニ交渉シ地主六名ハ關係小作人五十一名ニ對シ土地返還ヲ要求シタリ小作人ハ  
大ニ驚キ土地返還ハ生計ノ根據ヲ奪ハル、ノミナラズ新開地(約二十一町歩)ハ一般ニ土地低濕ナル  
ヲ以テ其ノ三分ノ一弱ノ土地ヲ埋立ツルトキハ出水ノ時ニ際シ他ノ小作地ニ甚シキ浸水ヲ受クルノ虞  
アルヲ以テ小作人一同結束シテ埋立ニ反對シタリ

小作人側ハ實行委員十名ヲ選舉シ地主側ニ交渉ヲ開始シタルガ其後地主竹内某外一名小作人增岡某  
外十五名(爭議反別三町七畝二歩)ハ地方有志ノ調停ニ依リ土地返還ヲ昭和五年秋作終了迄延期シ其  
間小作料ヲ全免シ浸水ノ場合ハ水揚ポンプニテ排水スルニ必要ナル設備ヲ爲ス等ニテ和解成立シタル  
モ地主石田某外三名、小作人吉田某外三十六名間ニ於テハ双方ノ主張強硬ニシテ妥協成立セザリシヲ  
以テ小作人側ハ四月十一日廣島地方裁判所ニ左記ノ通調停ヲ申立タリ

- 一 耕地ノ埋立ヲ中止スルコト
- 一 引續キ從來通小作ヲ繼續スルコト
- 一 萬一相手方ニ於テ強テ小作地ノ明渡ヲ求ムルニ於テハ小作人ノ生活ヲ保證スルガ爲相當ノ代償ヲ爲スコト

(二) 調停ノ經過

廣島地方裁判所ハ調停申立受理後五月四日、十七日ノ兩度ニ亘リ地主及小作人總代四名ヲ召集シ双  
方ノ主張ヲ聽取シタル上調停委員四名ヲ選定シ五月二十七日佐伯郡五日市町品正寺ニ於テ第一回調停  
委員會ヲ開キ小作官列席ノ上相互ノ讓歩ヲ勸メタルモ互ニ自說ヲ固辭シテ讓ラズ事件ハ停頓狀態ニ陷  
リタルガ其後地方有志五名ハ小作官ノ諒解ノ下ニ當事者ノ妥協ヲ勸誘シタル結果大體ノ妥協覺書成立  
シタルヲ以テ七月六日廣島地方裁判所ニ於テ第二回調定委員會ヲ開キ小作官列席シ覺書ノ妥協案ニ一



部修正ヲ加ヘ左記調停條項ニ双方同意シ解決ヲ告ゲタリ

附記 調停條項ニ依ルトキハ報償金ハ反當金十圓内外ニ過ギズシテ小作人側ノ應諾ヲ得ザルガ故ニ  
調停條項以外ニ於テ地主石田兄弟ノ經營スル私立山陽女學校ノ敷地工事請負人ヨリ別ニ反當金二  
十圓ノ割合ニテ總計金六百圓見舞金ヲ交付スルコトニ小作人側ト別途契約セルヲ以テ小作人ハ結  
局反當金約三十圓ノ報償金ヲ受クルコトナレリ

(三) 結 末

昭和四年七月六日廣島地方裁判所ニ於テ調停委員會ヲ開キタル處左記條件ニテ調停成立シ同月十日  
裁判所之ヲ認可シタリ

調 停 條 項

- 一 小作人宮本某外三十四名ノ小作セル石田某、石田某共有佐伯郡五日市町大字海老鹽濱字美濃里八  
百五十五番地田九畝二十八步外二十五筆合計二町八反二畝十六步ノ土地及小作人吉田某外二名ノ小  
作セル濱井某、濱井某共有同所八百八十二番地田一反十六步外二筆合計三反三畝二十三歩ノ土地ハ  
右小作人等ニ於テ本年秋作ヲ收穫シ昭和四年十一月三十日限り各地主ニ返還スルコト
- 二 右小作地引揚ニ對スル報酬トシテ前記地主四名ハ小作人一同ニ對シ本年分ノ小作料ヲ全免シ且報  
酬金三百圓ヲ支拂フモノトス

三 前項報酬金ノ内金百圓ハ當事者間ニ於テ既ニ授受ヲ了シタルヲ以テ殘金二百圓ハ前記小作地返還  
ト同時ニ支拂フモノトス

四 若シ地主ニ於テ右土地ノ埋立工事ヲ中止シ若クハ延期スル場合ニ於テハ地主ノ都合ニ依リ更ニ昭  
和五年十一月三十日迄本件小作人ニ對シ無料小作ヲ爲サシムルコトアルベシ  
但シ此ノ場合ニ於テハ小作人等ハ前記報酬金全部ノ請求權ヲ拋棄シ既ニ受取リタル報酬金ヲ直ニ地  
主ニ返還スルモノトス

五 地主ニ於テ前項ノ如ク昭和五年度モ尙小作ヲ繼續セシムル場合ニハ昭和四年十月三十一日迄ニ其  
旨小作人ニ對シ豫告ヲ爲スモノトス

四〇 山口縣吉敷郡大道村大字上田開作 (小作契約繼續、未納小作料支拂  
小作地先買權附與、土地一部返還)

爭議發生 昭和四年一月四日

調停申立 昭和四年四月三十日

解 決 昭和四年六月八日

關係人員	爭議 地主 六人	小作人 四十九人
	調停 地主 五人	小作人 二十人(地主申立)



關係土地 爭議 田 二十町步  
調停 田 十町七反二畝十二步

(一) 爭議ノ概况

本件ハ昭和三年秋末ニ於テ發生ノ徵アリシヲ以テ小作官ハ同地ニ急行シ兩當時者ト懇談シ覺書ヲ取替ハシ一應解決セルモノナルガ同四年一月四日ニ至リ突如小作人一同連署シテ小作料ノ五割減額ヲ地主ニ對シ要求セルニ端ヲ發シ管内稀有ノ大爭議ヲ勃發セリ

即チ地主側ハ小作人ノ要求ニ先チ各田區ニツキ檢見ヲナシ相當額ノ減額ヲナシテ納入方ヲ再三懇願セシモ小作人等ハ結束シ全農山口縣支部長守田某及大阪本部邑川辯護士ノ應援ヲ得特ニ開作地内ノ小作人ハ全部小作米ヲ大道農業倉庫ニ入庫シ五割減額要求ガ貫徹ヲ見ル迄ハ絶對ニ納入セズト稱シテ地主ノ交渉ニ應ゼズ依ツテ地主側ハ千々松辯護士ヲ訴訟代理人トシテ開作小作人中強硬ナル主張ニ出ヅルモノ二十名ニ對シ假差押ヲナシ同時ニ小作料ノ請求及土地返還要求ノ訴訟ヲ山口區裁判所ニ提起シ尙一部ノモノニ對シテハ土地立入禁止ノ本訴ヲモ起シタルヲ以テ小作人側ハ愈々激昂シ結束ヲ固メ指導者守田某ハ上田開作内ニ滞在シテ對策ヲ考究シ地主側ノ訴訟ニ對シテハ管轄違ヒ及前年度小作官ノ調停ノ際取替ハセル覺書不履行ニ依ル損害賠償ヲ以テ應訴シ此間關係小作人等ハ附近町村小作人ノ連判狀ヲ取り地主ノ横暴及小作人ノ窮狀ヲ知事、裁判所長、關係警察署及小作官ニ陳情シ一面宣傳ビラ

ノ配付批判演說會ヲ開催シテ一般ノ同情ヲ求メ口頭辯論四回ニ及ブモ本問題ニ入ラズ旁々稻移植期モ切迫シ之レガ解決ヲ急グ必要ヲ生ジタルモ小作人側ノ策戰巧妙ニシテ解決困難トナリタルヲ以テ終ニ地主側ヨリ之レガ調停方ヲ山口地方裁判所ニ申立ツルニ至リタルモノナリ

(二) 調停ノ經過

本件ハ縣下稀ニ見ル解決困難ナル小作事件ナルガ故ニ調停開始前小作官ハ詳細ナル實情調査ヲ遂ゲ關係町村長及調停委員ト審議ヲ重ネ第一回調停委員會ヲ大道村役場ニ於テ五月七日午前十時ヨリ夜ヲ徹シ翌朝四時迄、第二回委員會ヲ同月卅日同所ニテ午前十時ヨリ再ビ夜ヲ徹シ翌朝三時迄、第三回委員會ヲ六月六日山口地方裁判所ニ於テ午前九時ヨリ同夜十二時ニ至ル迄繼續開催シ誠意専心調停ニ努メタル結果終ニ左ノ通り解決スルニ至レリ

(三) 結 末

調停委員會ニ於テハ比較的解決容易ナルモノヨリ調停ニ着手シ漸次人員ヲ減シ難解事件ニ當ル方策ヲ取リテ當初頑固ニ主張セル小作人モ終ニ周圍ノモノガ皆解決スルニ及ビ漸次妥協シ解決スルニ至リ同八日全部圓滿解決スルニ至レリ

調 停 條 項

地主吉田某、吉田某、忠惠某、藤崎某ニ對スル分



- 一 申立人ハ相手方ニ對スル末尾記載ノ田地ヲ從前通り一ヶ年玄米（何石何斗）ノ小作料ニテ昭和四年五月八日ヨリ向フ十ヶ年貸貸スルコト右期間滿了後ハ更ニ双方協議ノ上右契約ヲ存續スルコト
- 二 小作料ハ毎年十二月末日迄ニ申立人ニ納入スルコト若シ右期間迄納入ナキ時ハ申立人ハ更ニ二週間ノ猶豫期間ヲ附シ相手方ニ對シ納入ノ催告ヲナスコト
- 三 昭和三年度ノ小作料ハ四割ヲ減ジ本日ヨリ一週間以内ニ申立人ニ納入スルコト若シ右期間内ニ納入スルコト能ハザルトキハ昭和四年十二月末日迄ニ納入スルコト
- 四 不作ノ年度ハ相手方ヨリ申立人ニ對シ刈取ノ二週間前ニ檢見シ得ル様申出デ申立人ハ之ニ應ズルコト但シ右期間ハ特別ノ場合ニハ此限リニアラズ
- 五 檢見委員會ハ大道村農會長及大道村上田開作地内ノ小作人中ヨリ二名同開作ニ關係ヲ有スル地主中ヨリ二名ヲ双方ヨリ各選任シ以上五名ニヨリ檢見ヲナシ之レニ因リ認定シタル不作ノ程度ニ從ヒ小作料ノ減免額ヲ定ムルコト双方ハ右檢見ニ依リ定メラレタル減免額ニ對シテハ異議ヲ述べザルコト
- 六 申立人ガ都合ニ依リ本貸貸田地ヲ他ニ賣却セントスルトキハ豫メ其旨ヲ相手方ニ通ジ若シ相手方ニ於テ其ノ買受ケケノ希望アル時ハ双方ニ於テ賣買價格ヲ協議シ相手方ニ先買權ヲ與ヘ若右協定調ハザルトキハ申立人ニ於テ他ニ賣却スルモ相手方ハ異議ヲ述べザルコト

七 相手方ニ於テ本貸貸借田地ヲ他ニ轉貸セントスル時ハ申立人ノ承諾ヲ得ルコト

八 相手方ガ右調停條項ニ違反シタル場合ハ申立人ニ於テ相手方ニ對シ特別ノ意思表示ヲ爲サズシテ本件貸貸借契約ハ直ニ解除セラレタルモノト看做ス

賃貸借土地ノ表示（略）

地主酒井某ニ對スル分

- 一 相手方ハ申立人ニ對シ從前小作シ居リタル末尾記載ノ田地ヲ昭和四年六月中ニ無條件ニテ返還スルコト
- 二 申立人ハ山口縣吉敷郡大道村大字新開作第七千三百番ノ四十三ノ東部八割半中ヲ相手方山本某ニ對シテハ一割ヲ同太田某ニ對シテハ一割半ヲ同中谷某ニ對シテハ一割ヲ同鹽見某及南野某ニ對シテハ各二割半ヲ昭和四年六月七日ヨリ向フ五ヶ年間貸貸スルコト  
但シ相手方ハ各小作スベキ當該田地ヲ相手方間ニ於テ協議ノ上決定シ其旨昭和四年六月二十日迄ニ申立人ニ對シ通知スルコト右小作料ハ山本某ニ對スル分ハ一割ニ付一ヶ年玄米八斗五升（東部ヨリ五割目ノ一割ノ田）其他ノ者ハ各一割ニ付一ヶ年玄米九斗ノ割合トス右賃貸期間滿了後ハ協議ノ上右契約ヲ存續スルコト
- 三 小作料ハ毎年十二月末日迄ニ申立人ニ納入スルコト若シ右期日迄ニ納入ナキトキハ申立人ハ更ニ



- 二週間ノ猶豫期間ヲ附シ相手方ニ對シ納入ノ催告ヲナスコト
- 四 昭和三年度ノ小作料トシテ相手方山本某ハ玄米四斗五升同太田某ハ玄米六斗七升五合同中谷某ハ玄米四斗五升ヲ各昭和四年六月七日ヨリ十日以内ニ納入スルコト
- 五 不作又ハ天災地變ノ年度ハ相手方ヨリ申立人ニ對シ刈取二週間前ニ檢見シ得ル様申出デ申立人ハ之レニ應ズルコト但シ右期間ハ特別ノ場合ハ此ノ限りニアラズ
- 六 檢見委員ハ大道村農會長及大道村上田開作地内ノ小作人中ヨリ二名同開作ニ關係アル地主中ヨリ二名ヲ双方ヨリ各選任シ以上五名ニ依リ檢見ヲナシ之ニ因リ認定シタル不作ノ程度ニ從ヒ小作料ノ減免額ヲ定ムルコト双方ハ右檢見ニ依リ定メラレタル減免額ニ對シテハ異議ヲ述ベザルコト
- 七 申立人ガ都合ニヨリ本貸貸田地ヲ他ニ賣却セントスル時ハ豫メ其旨ヲ相手方ニ通知シ若シ相手方ニ於テ其ノ買受ケノ希望アル時ハ双方ニ於テ賣買價格ヲ協定シ相手方ニ先買權ヲ與ヘ尙若シ右協定調ハザルトキハ申立人ニ於テ他ニ賣却スルモ相手方ハ異議ヲ述ベザルコト
- 八 相手方ニ於テ本貸貸借田地ヲ他ニ轉貸セントスル時ハ申立人ノ承諾ヲ得ルコト
- 九 相手方ガ右各調停條項ニ違反シタル場合ハ申立人ニ於テ相手方ニ特別ノ意思表示ヲナサズ本件貸借ノ契約ハ直ニ解除セラレタルモノト看做ス

返還スベキ土地ノ表示 (略)

備考 調停申立地以外ノモノハ右調停條項ニ準ジ小作官ノ調停ニテ圓滿解決セリ

四一 德島縣板野郡北島村大字新喜來 (耕地整理ニ因ル小作料改定)

爭議發生 昭和四年一月五日  
 調停申立 昭和四年二月二十六日  
 解 決 昭和四年七月八日

關係人員	爭議 地主 二十七人	小作人 九十二人
	調 停 地主 二十四人	小作人 六十八人(小作人申立)
關係土地	爭議 田 九町五反步	畑 三十七町步
	調 停 田 一町四反一畝步	畑 五町四反四畝十步

(一) 爭議ノ概況

係争地ハ砂質地ニシテ古來藍作ノ適地タリシガ藍作不況ニヨリ係争地ノ一部ハ電力モートルニヨリ揚水シテ水田ト成シ一部ハ桑園ニ改メ耕作シツ、アリシガ昭和三年五月板野郡中島耕地整理組合ノ成立ト共ニ地主ハ從來揚水費ニ苦ミツ、アリシ際トテ之ニ加入スルコトトナリシ爲メ畑地小作人ハ忽チ桑園ヲ失ヒ昭和四年度ノ養蠶計畫ヲ變更セザルベカラザルノミナラズ之ガ爲メ受クル經濟的打撃亦尠カラザルヨリ極力加入反對ヲ爲セシモ終ニ強制セラル、コト、ナリタリ、當時地主ハ小作人ニ對シ整







四二 德島縣那賀郡加茂谷村大字加茂 (小作人土地買受)

爭議發生 昭和四年四月五日  
調停申立 昭和四年五月二十一日  
解 決 昭和五年十二月五日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 三十人  
調停 地主 一人 小作人 十七人(小作人申立)

關係土地 爭議 田畑 六町三反歩  
調停 田 三町三反二十歩 畑 二反五歩

(一) 爭議ノ概況

地主ハ本縣ノ名刹タル大龍寺ニシテ同寺松本僧正ハ那賀郡加茂谷ニ存スル寺有地田畑六町三反歩ヲ賣却シ之ガ金利ヲ得ル方小作ニ附スルコトヨリモ有利ナルヲ考ヘ信徒總代並ニ末寺總代會ヲ開催シ協議シタル結果同總代會ハ關係小作人ニ物議ヲ生ゼシメザル様可成小作人中心ニ賣却處分方議決シ之ガ賣買價格ニ付テハ地價ノ約十三倍標準四萬三千圓トシ今後ノ進行ニ就テハ松本僧正專ラ之ニ當ル事ヲ決定セリ。茲ニ於テ加茂谷住民ニシテ同小作地ノ管理人タル長町某ハ右土地ノ賣却ヲ一手ニ引受ケ相當利益ヲ得ント企テ熱心ニ松本僧正ニ依頼シ四月十五日終ニ左記條件ニテ處分委任權ヲ取得セリ

契約ノ主ナル事項

- 一 大龍寺ハ長町ノ請求ニヨリ第三者ニ對シ土地賣買假契約ヲ締結ス
- 一 長町ハ昭和五年十二月末日迄ニ本件土地賣買處分ノ義務ヲ負フコト
- 一 本契約地ハ寺院持ナルガ故ニ管長及知事ノ認可ヲ要スベキモノニ付萬一其ノ採許ヲ得ル能ハザルニ至リタルトキハ寺ハ證據金ニ日歩(百圓ニ付二錢)ヲ附シ長町ニ返還シ本契約ハ消滅スルモノトス
- 一 寺ハ直接小作人ニ對シ土地賣買ニ關スル折衝ヲナサザルコト
- 一 寺ハ小作人ヨリ土地賣却ノ要求アルモ之ニ應ゼザルコト
- 一 長町ハ小作人ニ對シ物議ヲ生ゼシメザル様一切ノ責任ヲ負フコト
- 一 長町ハ賣買處分地ニ對シテハ各筆別地價ノ十倍以上ヲ寺ニ支拂ヒ寺ハ所有權ノ移轉登記ヲ爲スコト

一 本件土地賣買ニ關スル費用ハ一切長町ニ於テ負擔スルコト

(因ニ右契約保證金トシテ壹千圓也ヲ長町ヨリ松本ニ入金ス)

茲ニ於テ長町某ハ四月十九日付ヲ以テ小作人三十名ニ對シ左記ノ書面ヲ發送セリ

拜啓今般大龍寺所有地賣却處分致ス事ト相成候ニ付貴殿小作分ニ付買取ノ御希望有之候ハバ來月



十五日迄ニ手許迄御申出相成度若シ其ノ儀無之候ハ、御希望無之モノト認メ處理致スベク候尤モ他人ニ賣却ノ場合第三者ガ貴下ノ小作ヲ承諾セザル場合モ有之ベク此ノ儀豫メ御承知置相成度候也

右ノ通知ヲ受ケタル關係小作人ハ開祖桃盤僧正京都ヨリ大龍寺ニ遷セラレタル當時ヨリ小作セル準永小作地ナリトノ主張ノ下ニ（西加茂小作人ノ大半ハ桃盤僧正京都ヨリ來リシ當時ノ寺侍關係上八百年來小作シツ、アリ）今回ノ舉ハ小作人ヲ無視セルノミナラズ長町某ニ土地一切ノ處分ヲ委任シ長町某ハ之ヲ分割賣却シテ不當利益ヲ獲得セントスルハ僧正竝ニ末寺總代信徒總代ノ無理解甚シトノ下ニ或ハ僧正ニ或ハ寺總代ニ賣買契約破毀、繼續小作方陳情スルト共ニ長町管理人ノ不當ナル管理事實ヲ摘發スル等物議騒然タリ小作側ハ其ノ陳情ノ僧正及信徒總代ニ容レラレザルヲ見ルヤ代表者出縣小作官縣社寺兵事課長、學務部長ニ陳情シ土地賣却阻止方依頼セリ

五月十五日小作官事實調査ノ爲ニ同村ニ出張同村長立會ノ下ニ先ヅ信徒總代二名ヲ役場ニ呼ビ賣却處分ニ至ル迄ノ總代會經過ヲ聞キ次デ長町某ノ意見ヲモ聞キタルニ長町ノ意見トシテハ可成小作人ヲ中心トシテ賣却スル方針ナルモ價格ノ點又ハ購入資金關係上賣買成立セザルモノニ對シテハ第三者ニ賣却スルコト、シタシ但シ可成小作付トシ將來紛議ノ發生ヲ避ケル方針ニアリ但シ西加茂ノ係争地中田一町歩内外ハ既ニ第三者ニ賣買契約濟ニ付除外セラレタシト開陳セリ、右ニヨリ小作官ハ同夜小作

人側ヲ招集セシ所西加茂小作人十五名出席シ他ハ出席セズ當夜小作人ハ飽迄繼續小作方主張シ飽ク迄小作地ヲ離レザル旨聲明態度頗ル強硬ナリキ

五月十八日小作官ハ松本僧正ト會見シタル結果僧正ハ斯ク物議ヲ起シタル以上ハ貴官ニ於テ長町ヲシテ解約ニ同意セシメラルレバ寺トシテハ本件土地ノ賣却ヲ中止スル旨ヲ答フ仍テ再ビ長町ヲ説示セシモ一旦契約セシノミナラズ既ニ一町歩内外ハ賣却契約セシコトナレバ應ジ難シトノ事ナルヨリ然ラバ小作人ヲシテ購入セシムル様斡旋スベキモ價格ニ付テハ他日寺ト貴下トノ了解ヲ得タク、尙本件ガ一層紛糾セバ社會上ノ問題トナリ知事ニ於テモ或ハ土地處分ヲ許可セザルベシト信ズ從テ双方共ニ目的ヲ達成セザルニ至ルベキヲ以テ充分慎重ニ考慮セララルベシト注意シ置キタリ、翌十九日小作官ハ小作人側ヲ集メ係争地ハ小作人ニ於テ縣ノ自作農資金借入ニヨリ正當價額ニテ一括買取方勸説シタルノ結果代金二萬圓ナレバ買受クル旨協議成立セリ、仍テ長町ニ交渉シタル所同人ガ既ニ清棲外一名ニ契約セル田八反餘歩ト同人ニ對シ寺ガ管理手當トシテ小作料ヲ免除セル田四反三畝歩（右ハ長町自作セズ係争小作人中ノ二人ニ轉貸中ノモノ）ハ絶對ニ除外方申出デタリ、然ルニ小作人ハ飽マデ一括買取ニアラザレバ應ゼザルヨリ小作官ノ調停成立セズ茲ニ於テ小作人側ハ五月二十一日德島地方裁判所ニ對シ係争地ヲ金二萬圓ニテ一括買取方調停申立ヲ爲シタリ

(二) 調停ノ經過



裁判所ハ本件調停委員トシテ加茂谷現村長、同村郵便局長及同村前村長ノ三氏ヲ指定シ七月十二日  
第一回委員會ヲ開キ調停主任判事、小作官、調停委員打合ノ結果調停方針ヲ左ノ通り定ム

- 一 係争地ハ一括小作人ニ賣却セシムルコト
- 一 係争地ノ賣買價額ハ相手方申立人竝ニ利害關係人ニ對シ委員會ニ無條件一任セシムルコト
- 一 利害關係人長町某トノ間ニ本件申立地ノ一部分ノ賣買契約成立セシモノニ對シテハ委員會ニ於テ小作人ニ讓渡セシムル様説示スルコト
- 一 加茂谷村長ハ小作人ノ購入資金トシテ縣ニ對シ自作農創設低利資金ノ借入手續上ニ付盡力スルコト

一 相手方大龍寺ヲシテ利害關係人長町某ニ相當程度ノ小作地管理解除手當金ヲ交付セシムルコト  
七月二十四日第二回委員會ニ於テ前ノ方針ニヨリ申立人及相手方ニ折衝ノ結果相手方大龍寺ハ信徒  
總代末寺總代會ニ諮リ回答スルニヨリ暫時猶豫方申出デ小作人側ハ二萬圓以上高價ニ買受出來ズ尙本  
日限り長町某ノ小作地管理ヲ解除シ寺直接ノ管理ニ移サレ度旨申出ヅ其ノ後相手方大龍寺ハ總代會ノ  
決議ニヨリ賣買價額ニ付無條件一任ハ爲シ難キモ可成委員會ノ意見ニ副フニヨリ委員會價額ヲ内示セ  
ラレ度旨申出デタリ

第三回委員會ニ於テハ主トシテ利害關係人長町某外一名間ノ調停ニ努ム利害關係人長町ハ第三者清

棲其ノ他ニ賣買契約セル土地ニ付テハ既ニ二千餘圓ノ契約金ヲ徴シ居ルニヨリ寺ニ於テ右契約金倍返  
シヲ認メラル、ニアラザレバ委員會ニハ一任シ難キ旨強硬ニ主張ス尙十一月六日申立人中吉川某外六  
名ハ調停取下書ヲ提出ス（右ハ長町某竝ニ信徒總代ノ一人及大龍寺院代ノ策動ニヨリ小作側ノ買收セ  
ラレタルニヨルト稱セラル）

十一月廿六日信徒總代ノ一人（小作側ニ同情ヲ有スルモノ）岩佐某來リ調停委員加茂谷村長ニ對シ  
本件ハ紛糾益々甚シク默視スルニ忍ビザルニヨリ自分個人トシテ双方ニ對シ熱心折衝ノ結果左案ニヨ  
レバ大體成立スベク認メラル、ニヨリ參照セラレタシト申出ヅ

岩 佐 案

- 一 大龍寺ハ係争地賣却ヲ一時中止スルコト
- 一 將來大龍寺ニ於テ本件土地ヲ賣却スル場合ニハ小作人ニ先賣權ヲ附與スルコト
- 一 賣買中止期間ニ就テハ再ビ斯ル問題ヲ惹起セシメザルヲ條件トナスコト
- 一 賣買中止期間中ハ長町某ノ管理ヲ一時休止シ小作地ニ關スル事項ハ一切寺ニ於テ直接取扱フコト

十二月六日第四回委員會ニ於テ以上岩佐某ヲ以テ寺ト小作人間ヲ折衝セシ所双方承諾ス於茲利害關  
係人長町、清棲ヲ召致シ折衝ノ結果清棲ハ自己ノ賣買契約セル土地ノ二分ノ一ヲ契約價額ニテ轉賣ス



ルコトヲ認め残地ハ自作ノ主張ヲ爲シ一方小作人ハ全部買取方ヲ主張シタル爲メ成立セズ  
 昭和五年一月廿六日第五回委員會ニ於テハ相手方大龍寺ヲシテ長町某ガ今日迄契約金トシテ寺ニ納  
 入又ハ入金セル金三千六百餘圓ニ對シ契約金倍返シノ下ニ契約解除ヲ爲サシメントノ意見モ出デシガ  
 昭和四年秋以來政府ノ緊縮政策ト經濟的不況ニ伴フ農産物價格ノ下落ニ因リ農耕地價格低落ノ狀勢ヨ  
 リ見テ長町トシテモ當初ノ價額ニ賣却困難ナルベク小作人トシテモ目下ノ小作地ノ購入ハ好時期ナラ  
 ザルト大龍寺ハ富裕ニシテ急ニ土地ヲ處分セザルベカラザル理由存セザル等ノ點ヨリ今日迄ノ委員會  
 經過ヲ小作官ヨリ高野山宗務所竝ニ知事ニ報告スレバ高野山ハ本件土地ノ賣却處分申請ニ對シ一時中  
 止方指令スベク、サスレバ寺ト長町トノ假契約ガ自然消滅ノ態トナリ解決容易ナラントノ腹案決セシ  
 ニヨリ小作官ハ二月四日付ヲ以テ詳細ナル委員會經過書ヲ高野山宗務所宛發送セリ其ノ結果昭和五年  
 五月二十一日付ヲ以テ高野山權大僧正ヨリ大龍寺ニ對シ左ノ書面到來ス

證 明 書

德島縣那賀郡加茂谷村 大 龍 寺

住職 松 本 某

右寺昭和四年五月十日付出願ニ係ル寺有地賣却ノ件寺院所有地賣却ニ關スル内規ニ基キテ書類ヲ  
 整備シ再出願ノ上ハ賣却添書ヲ下附スベシ

但シ第三者ニ委任賣却ヲナス方針ハ認め難シ

右

昭和五年五月二十一日

古義真言宗執行長 權大僧正 淺 川 某<sup>印</sup>

右ニ依リ本件土地ハ第三者ニ委休處分ヲ認めザルニ至リタル爲メ寺ト長町トノ間ニ契約セシ事項ハ  
 全部無效トナリ寺ハ長町ニ對シ保證金三千五百圓ニ日歩二錢ヲ付シ返還シテ前ノ契約ヲ解除スルト共  
 ニ長町ニ對スル寺有地管理ヲ解除シ昭和五年十二月五日ノ第六回調停委員會ニ於テ左記調停條項ニ依  
 リ調停成立セリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 申立人(小作人)ハ申立人ガ相手方(大龍寺)ヨリ賃借小作セル別紙目錄記載ノ土地ノ買取要求  
 ヲ此ノ際撤回スルコト
- 一 相手方ニ於テ將來別紙目錄記載ノ土地ヲ賣却セントスル場合ニハ先ヅ申立人ニ買取案内ヲ爲スコ  
 ト
- 一 相手方ハ別紙目錄記載ノ土地ニ對スル管理人長町某ノ管理委任ヲ解クコト (別紙目錄省略)



四三 香川縣高松市上ノ町

(小作條件改定、未納小作料整理支拂)

爭議發生 昭和二年五月七日  
調停申立 昭和四年三月廿五日  
解 決 昭和四年八月九日

關係人員 爭議 地主 三人 小作人 十八人  
調停 地主 四人 小作人 十八人(小作人申立)

關係土地 爭議 田 五町一反一畝十八步 宅地 百二十二坪  
調停 田 四町八反三畝十二步

(一) 爭議ノ概況

高松市上ノ町方面ハ從來ノ小作料反當二石乃至一石五斗ナリシヲ大正十二年一月反當二斗乃至一斗五升減額ニテ解決シタリ、翌十三年二月再ビ小作人側ヨリ減額要求ヲ爲シ昭和二年十二月地方有志ノ斡旋ニ依リ最高反當一石二斗最低八斗ニ減額決定シタリ、然ルニ本件小作人ハ同年五月第三回目ノ要求トシテ隣村(太田村)ハ反當一石二斗ガ九斗ニナリ居レルヲ以テ同額ニ輕減方要求シタルガ當時地主ハ再三ノ減額ナルニモ拘ラズ反當一石二斗ヲ一石迄ニ容認シタリ、小作人側ハ九斗ニ輕減方ヲ強固ニ主張シテ大正十二年以來ノ小作料ノ不納同盟ヲ爲シ殊ニ日本農民組合ノ大幹部平野某モ小作人ノ一

人ナリシヲ以テ其ノ指揮巧妙ニシテ一系紊レザルノ舉ニ出デ地主側モ之ニ對抗スベク高松地方裁判所ニ小作料支拂及土地返還請求ノ訴訟ヲ提起シ又昭和二年度ノ稻立毛ノ假差押ヲ爲ス等種々紛糾ヲ重ネタリ、小作人側ハ昭和三年四月小作調停ニ申立解決セントシタルモ地主側ハ反對ニ硬化シ大正十二年及昭和二年度ノ小作料減額ヲ認メズ大正十二年以前ノ從來ノ小作料反當一石六斗以上ヲ一石四斗ニ其他ヲ一石三斗ニ減額シ土地返還スルモノニ對シテハ一ヶ年ノ小作料ヲ免除スベキ様極メテ強固ナル主張ヲ爲シ固ヨリ小作人側ハ之ヲ認メズ調停ヲ開クコト二回ニ及ビタルモ成立ノ見込ナク遂ニ同年十月十六日申立ヲ取下ゲタリ、地主側ハ此ノ期ニ乘ジ昭和三年度ノ稻立毛ノ假差押ヲ爲シタリ、其競賣ガ十一月十一日トナリ時恰モ御大典奉祝日ニ相當シタルヲ以テ小作官ハ裁判所長ト協議シ之ガ延期ヲ爲シ立毛處分ノ調停ヲ爲サントシテ翌十一月十二日ハ地主宅ニ出張シタルモ不在ノ爲翌十三日縣廳ニ双方ヲ呼出シ該立毛ヲ小作人側ニ反當金六十圓ニテ夫々買取ラシメ地主ハ代金支拂ヲ受ケタルトキハ差押解除ノ手續ヲ爲サシメタリ、越ヘテ昭和四年トナリ小作人側ハ小作料其他一切ノ解決ヲ有志市會議員鎌田、今澤兩氏ニ一任シ兩氏ハ所轄高松警察署長ニ調停ノ應援ヲ依頼シ警察署ニ於テ再三地主ト折衝シタルニ二月十八日小作料及條件ノ大體ヲ警察署長ニ一任シタルニ依リ二月廿五日小作人側ヨリ再ビ調停ノ申立ヲ爲シタリ

(二) 調停ノ經過



裁判所ニ於テハ高松警察署長立會ノ上第一回ノ調停委員會ヲ四月二日ニ開キタルニ地主側ハ警察署長ニ爲シタル一任ヲ取消シタリ其理由ハ警察署長一任後既ニ二ヶ月ヲ經過シ條項ニモ多少ノ不滿アルヲ以テ訂正ヲ希望シ殊ニ小作料ノ全部一任ハ到底出來難キニ付明示ノ上決定方ヲ希望スル爲ナリト主張セリ、仍テ裁判所ハ今後警察署長ノ手ヲ離レ主トシテ裁判所及小作官ニ於テ調停スル事トナシタリ小作人側ハ前述ノ如ク大幹部ノ引卒スル處ニシテ改定小作料ヲ最高反當一石二斗ニ減額方ヲ要求シテ容易ニ讓步セズ地主側ハ爭議久シキニ亘リタルヲ以テ感情ニ捉ハレ依然トシテ一石四斗ヲ主張シ難調停ニ屬スルニ至レリ、縣下ノ爭議狀態ハ既ニ平靜トナレル今日稀ニ見ル事件ニシテ小作官ハ双方ニ折衝シ斡旋ニ努メタル結果強固ニ主張シ居リシ小作人側モ訴訟ノ進行等ノ爲一先調停ヲ希望スルニ至リ最高反當一石三斗五升ヲ認メタリ、地主側ニ對シテモ親戚ニ當ル綾歌郡土器村長タリシ森崎氏ヲ介シ第一感情ノ融和ヲ計リ地位面目維持上訴訟費用金百圓ヲ小作人側ヨリ(單ニ形式ニ止ムルコト)支拂ハシムルコト、爲シタルニ依リ初メテ理解スル處アリ、八月九日委員會ヲ重ヌルコト六回ニシテ遂ニ圓滿解決シタリ

(三) 結 末

小作料ハ反當一石三斗五升乃至一二石斗五升ニ改定シ左記調停條項ニ依リ解決ス

調 停 條 項

- 一 本件ハ土地賃貸借契約ニシテ其ノ期間ハ昭和四年六月廿一日ヨリ昭和七年六月廿日ニ至ル間トス
- 二 一ヶ年度ノ賃料ハ別紙目錄記載ノ通りトス
- 三 賃料算定ノ年度ハ毎年六月廿一日ヨリ翌年六月廿日迄ヲ一ヶ年度トス
- 四 小作人ハ地主ニ對シ昭和四年度以降ノ賃料ヲ毎年度其年一月廿日限香川縣生產合格玄米ヲ以テ高松市内ニ於ケル地主ノ指定場所ニ持參支拂フコト
- 五 小作人ニ於テ昭和四年度以降ノ賃料ヲ前記期限内ニ支拂ハザルトキハ地主ハ小作人ニ對シ換算金ニテ支拂ヲ請求スルコトヲ得其換算金ハ每年十二月中ノ高松市所在香川縣穀物輸出検査所ニ於テ調査シタル三等合格玄米ノ賣買平均價格ニヨリ計算スルコト
- 六 右賣買平均價格ハ右検査所又ハ官公署ノ證明書ニ依リ證明スルコト
- 七 小作人ハ天災其他不可抗力ニ因ル凶作ノ場合ニ在ラザレバ賃料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ズ凶作ノ場合減額ヲ請求セントスルトキハ立毛刈取十五日前迄ニ小作人ヨリ地主ニ申出デ双方立會ノ上檢見又ハ坪刈ヲ爲シ減額歩合ヲ協定スルコト
- 八 右協定調ハザルトキハ双方又ハ一方ヨリノ申立ニ依ル香川縣小作官ノ裁定ニ一任シ該裁定ニハ双方絶對ニ服從スルコト
- 九 小作人ハ地主ノ書面ニ依ル承諾ヲ得ルニ在ラザレバ左記行爲ヲ爲スコトヲ得ズ



- (イ) 賃借地ノ原狀及使用方法ヲ變更スルコト
- (ロ) 賃借地ヲ轉貸スルコト
- (ハ) 賃借權ヲ讓渡スルコト

八 小作人ハ地主ニ對シ別紙第二目錄記載ノ大正十二年度以降昭和三年度迄ノ未納賃料ヲ

- 大正十二年度分ハ一石三十三圓替
- 大正十三年度分ハ一石三十九圓替
- 大正十四年度分ハ一石三十八圓替
- 昭和元年度分ハ一石三十五圓替
- 昭和二年度分ハ一石三十圓替
- 昭和三年度分ハ合格玄米又ハ一石ヲ二十九圓替

ヲ以テ其半額ヲ昭和四年九月末日限り殘半額ヲ昭和四年十一月末日限り地主宅ニ持參支拂フコト  
但シ本件土地ニ關シ小作人ニ於テ供託中ノ金額ハ右分割辨濟ノ方法ニ依ラズシテ之ヲ以テ昭和四年  
九月末日迄ニ前記換算金額ニ依リ各年度分ノ支拂ニ充當スルコト  
右未納賃料額ハ大正十二年度分及大正十三年度分ハ各年度分共本件調停ノ反當賃料額ヨリ反當二斗  
ヲ減額シ大正十四年度以降昭和三年度迄ノ分ハ本件調停ノ反當賃料額ニヨリ計算シタルモノナリ

尙第二目錄中朱書ハ其年度ニ於ケル過納分ニシテ地主ハ小作人ニ對シ之ヲ前記其年度ノ換算金ニテ  
昭和四年九月末日限り清算返戻スルコト

九 小作人ニ於テ本件契約ニ違背シタルトキハ地主ハ何等ノ手續ヲ要セズシテ本件契約ヲ解除スルコ  
トヲ得

一〇 契約期間滿了ノ際ハ勿論前項ニ依リ賃貸借契約ヲ解除シタルトキハ小作人ハ地主ノ請求次第異  
議ナク地上物件ヲ收去シ土地ヲ原狀ニ復シテ地主ニ返還スルコト此場合小作人ハ名義ノ如何ヲ問ハ  
ズ金錢又ハ物品ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ズ

一一 小作人ニ於テ地主ノ承諾ヲ得テ本件土地ニ加工又ハ改良シタルモノト雖土地返還ノ際之ヲ原形  
ニ復セズ又ハ之ヲ爲スコト能ハザル場合ハ當然地主ノ所有ニ歸シ何等補償ノ請求ヲ爲シ得ザルモノ  
トス

一二 地主ニ於テ本件土地ノ全部又ハ一部ヲ公益ノ爲國家又ハ公共團體ニ讓渡シタルトキハ其土地ニ  
對スル本件契約ハ當然解除セラレタルモノトス

一三 契約期間滿了ノ時ト雖地主ハ小作人ニ於テ不都合ノ所爲ナキ限繼續耕作セシムルコトヲ得

一四 當事者ハ合意ノ上當裁判所昭和二年(ワ)第一五二號乃至第一五五號土地明渡賃料請求民事訴  
訟事件ヲ直ニ取下グルコト



一五 右訴訟事件ノ訴訟費用中金百圓ハ小作人ノ連帶負擔トシ昭和四年九月末日限り小作人ヨリ地主ニ支拂フコト

一六 前記訴訟事件ノ其ノ餘ノ訴訟費用竝本件調停ノ費用ハ双方自辨トスルコト  
右調書ハ前同所ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之ヲ承諾シタリ (目錄省略)

四四 香川縣仲多度郡十郷村大字佐文 (甘土料(小作權)創設、小作料一時的並永久的減額)

爭議發生 昭和二年二月廿日

調停申立 昭和四年七月一日及同年八月二日

解決 昭和四年十月八日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 一人  
調停 右ニ同ジ(双方申立)

關係土地 爭議 田 二反四畝一步  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

仲多度郡十郷村大字十郷ハ大正十四年二月上旬爭議解決ニ當リ大正十二年、同十三年ノ兩年度ニ限り一ケ年ノ小作料ニ對シ二割五分ノ減額トナリタリ同村大字佐文ハ當時小作人ヨリ小作料減額ノ要求

アリタルニ對シ地主側モ之ヲ諒トシ双方代表者ヲ出シ戸主會ノ協議ノ結果爭議トナラズ大正十五年三月上旬最高反當リ一石三斗(元一石五斗以上)トシ以下夫々之ニ準ジテ解決シ居リタリ

然ルニ本件土地ハ此ノ解決以外トナリ反當一石五斗ニテ耕作シ居リタルニ小作人ハ部落一般通り一石三斗ニ減額要求シタルニ對シ地主ハ之ヲ認メズ小作人ハ右解決當時協定濟ナリト主張シ大正十五年度ハ部分未納シ昭和二年同三年ノ二ケ年度ノ年貢米ヲ完納セズ互ニ抗爭シ居リタリ

(二) 調停ノ經過

昭和四年七月一日地主ヨリ小作料支拂請求ノ調停申立(昭和四年小調第一三〇號)アリタルニ依リ同月十日小作官同地ニ出張シ當時協定斡旋者タル有志等ニ付事實調査シタルニ戸主會ニ於テ協定シタル際ハ本件ハ未解決ナリシコト及同地方ニ甘土料ノ慣習ナキコトヲ確メタリ其後小作人側ヨリ小作料減額請求ノ調停申立(昭和四年小調第一四三號)アリ、仍テ地理ノ關係上丸龜區裁判所ニ於テ二件併合シ調停ヲ開始シタリ

地主ハ當時現住所ヨリ同村ニ轉住シ居リシモ大正十四年ニ至リ自作地ヲ現小作人ニ貸與シテ現住地ヘ歸村シタルモノナリ地主ノ現住地タル三豐郡常磐村ハ甘土料ノ慣習アリテ地主トシテ甘土料ノ支拂ヲ受け居ラザルニ付一石五斗ハ決シテ高率ニアラズト主張シタリ、小作人ハ戸主會ノ協定ニ依リ一般通り反當一石三斗ニ減額要求シタリ



九月十九日第一回調停ニ於テハ双方強固ニ主張シ互ニ譲ラザルヲ以テ延期トナリ、第二回ノ調停ニ及ビ列席ノ小作官ハ一方地主ニ讓歩ヲ迫ルト共ニ他方小作人ニ對シテハ土地返還ノ際返濟スルコトヲ條件トシテ相當ノ甘土料ヲ地主ニ支拂ヘバ一般通リノ小作料トスルモ可ナル旨諭シ甘土料額ハ小作官ニ一任セシメタリ、地主亦之ヲ適當ナル案ト認メタルニ依リ小作官ハ裁判所及調停委員ト協議ノ結果甘土料額ヲ一ヶ年分ノ小作料額トシ一石三十圓ニ見積九十三圓ト定メ別紙調停條項ニ依リ調停成立シタリ

備考 本縣ニ於テ地主ガ自作地ヲ小作セシムル場合小作人ヨリ甘土料ヲ支拂ハシムルカ或ハ甘土料ノ利子トシテ反當二斗乃至四斗(代卸)ヲ毎年小作料ト共ニ支拂ハシムル實例アリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 地主ハ小作人ニ對シ別紙目錄ノ土地ヲ昭和四年度ヨリ昭和八年六月十五日迄一ヶ年賃料一反歩ニ付一石三斗ノ定メニテ耕作使用セシムルコト小作人ハ右期間滿了後直ニ土地ヲ原狀ニ復シテ地主ニ返還スルコト
- 一 小作人ハ昭和四年十一月末日迄ニ金九拾參圓ヲ地主ニ支拂フコト地主ハ期間滿了後土地ノ返還ヲ受クルト同時ニ小作人ニ對シ前記ノ九拾參圓ヲ返還スルコト
- 一 小作人ハ未納賃料トシテ金拾壹圓ヲ昭和四年十一月末日限り地主ニ支拂フコト

一 小作人ハ毎年度ノ賃料ヲ香川縣產合格玄米ヲ以テ其ノ年度中ノ一月末日限り地主宅ニ持來支拂フコト

一 小作人ニ於テ前記支拂期限内ニ賃料ヲ支拂ハザルトキハ左記金額ニヨリ請求スルコトヲ得  
仲多度郡琴平町所在香川縣穀物輸出検査所ニ於ケル右納期前十日間ノ三等合格玄米ノ賣買平均價格ヨリ一石ニ付十錢ヲ控除シタル金額ニテ算定シタルモノ  
右賣買平均價格ハ右検査所又ハ官公署ノ證明書ニ依リ證明スルコト

一 小作人ハ天災其他不可抗力ニ因ル平年作ヨリ二割以上減收ノ時ニアラザレバ小作料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ズ

右減額ノ請求ヲ爲ス場合ハ刈取ヨリ十五日前迄ニ小作人ヨリ地主ニ申出デ双方檢見ノ上減額率ヲ協定スルコト

右協定調ハザルトキハ香川縣小作官ノ裁定ニ一任シ此裁定ニハ双方絶對ニ服従スルコト

一 小作人ハ地主ノ書面上ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ本件土地ノ轉貸、讓渡、地形、地目若クハ使用方法ノ變更ヲ爲スコトヲ得ズ

一 小作人ニ於テ本件契約ニ違背シタル時ハ地主ハ何等ノ手續ヲ要セズシテ本件契約ヲ解除シ土地ノ返還ヲ求ムルコトヲ得小作人ハ右地主ノ請求アリタル時ハ異議ナク地上物件ヲ收去シ土地ヲ原狀ニ



復シ直ニ返還スルコト

一 期間滿了後双方ニ異議ナキ時ハ本契約ヲ繼續スルモノトス

(目錄省略)

四五 香川縣木田郡氷上村大字上高岡

(小作條件改定  
作離料支給豫約)

爭議發生 大正十五年五月十七日

調停申立 昭和四年三月廿七日

昭和四年四月廿二日

解 決 昭和四年五月十六日

關係人員

爭議 地主 八人 小作人 二百四十一人  
調停 地主 一人 小作人 二人(双方申立)

關係土地

爭議 田 九十八町三反歩  
調停 田 二反七畝二十七歩

(一) 爭議ノ概況

氷上村ハ昭和三年六月二日村長及所轄平井警察署長ノ斡旋ニ依リ反當一石四斗ハ一石二斗ニ、一石三斗ハ一石一斗ニ、一石二斗ハ一石ニ夫々減額解決ヲ見タリ、然ルニ本件ハ大正十四年ノ調停ニ當リ反當一石二斗ヲ一石一斗ニ減額シ大正十四年二月十六日調停成立シ居リタリ、故ニ村内ノ調停率ヨリ

一斗ノ差額ヲ生ズルニ至リ小作人二名(内一名調停成立後小作人ヨリ轉貸ヲ受ケタルモノ)ハ常ニ之ガ減額方ヲ主張シ居リタリ、之ニ對シ地主ハ右調停成立ノ際ノ事情ヨリ考フルトキハ大正十四年以降四ヶ年間ノ期間附キノ調停ナリト主張シタリ

(二) 調停ノ經過

地主ハ前記ノ理由ノ下ニ前回成立シ居レル小作人一名ニ對シテ同年三月廿七日昭和四年六月二十日限土地返還方請求ノ調停申立ヲ爲シ前小作人ヨリ轉貸ヲ受ケタル現小作人ニ對シテハ内容證明ヲ以テ昭和四年六月二十日限土地返還スベキ様請求セリ、仍テ現小作人ヨリ同年四月廿二日耕作繼續請求ノ調停申立ヲ爲シタリ

裁判所及小作官ハ先ヅ地主ニ對シ調書ニハ期間附トナリ居ラザル旨ヲ説明シ小作人ノ事情ニ依リ相等期間引續キ耕作セシムル様勸告シ又小作人ニ對シテハ地主ノ事情ヲ考慮シ本年ヨリ向フ五ヶ年耕作スルコト、シ昭和九年六月廿日限り土地返還ヲ承諾セバ地主ヨリ相當ノ作離料ヲ支拂ハシムベキガ故ニ調停ニ應ズベキ様勸告シタリ

調停委員會二回ニ及ビ漸ク双方五ヶ年後土地返還ノ條件ヲ承諾シ且ツ作離料額ニ付テハ小作官ニ一任スルコト、ナリ仍テ小作官ハ裁判所及調停委員ト協議ノ結果反當百八十圓ノ割合ノ作離料ヲ返還ト同時ニ地主ヨリ小作人ニ贈與スルコト、シテ別紙ノ調停條項ニ依リ調停成立シタリ



(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 相手方(小作人)ハ申立人(地主)ニ對シ別紙目錄記載ノ小作土地ニ付其小作料トシテ昭和四年度以降同目錄記載ノ通り支拂フコト
- 二 小作料ハ毎年度其翌年一月二十日限り香川縣生產合格玄米ヲ以テ地主宅ニ持來支拂フコト
- 三 小作料ヲ一、二等合格玄米ニテ支拂ヒタルトキハ地主ハ小作人ニ對シ一石ニ付一等ニ付テハ二升五合、二等ニ付テハ一升五合ノ割合ノ獎勵米ヲ小作料支拂ノ際交付スルコト
- 四 小作人ガ小作料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ地主ハ小作人ニ對シ換算金ニテ支拂ヲ請求スルコトヲ得其換算金ハ小作料支拂期前一ヶ月間ニ於ケル高松市所在香川縣穀物輸出検査所ノ調査シタル三等合格玄米ノ賣買平均價格ヨリ一石ニ付金五十錢ヲ減ジタル金額ニ換算スルコト
- 五 右賣買平均價格ハ右検査所又ハ官公署ノ證明書ニ依リ證明スルコト
- 五 小作人ハ天災其他不可抗力ニ因ル凶作ノトキニアラザレバ小作料ノ減額ヲ請求スル事ヲ得ズ凶作ノ際減額ヲ請求セントスルトキハ立毛刈取十五日前小作人ヨリ地主ニ申出デ双方立會ノ上檢見又ハ坪刈ヲ爲シ其減額歩合ヲ協定スルコト
- 右協定調ハザルトキハ双方又ハ一方ヨリノ申立ニ依ル香川縣小作官ノ裁定ニ一任シ該裁定ニハ双方

絶對ニ服從スルコト

- 六 小作人ハ地主ノ書面上ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ左記行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
  - (イ) 賃借地ノ原狀及使用方法ヲ變更スルコト
  - (ロ) 賃借地ヲ轉貸又ハ他人ヲシテ使用セシムルコト
  - (ハ) 賃借權ヲ讓渡スルコト
- 七 本件契約ハ土地賃借契約ニシテ其期間ハ昭和九年六月二十日ニ至ル間トス
- 八 小作人ニ於テ本件契約ニ違背シタルトキハ地主ハ何等ノ手續ヲ要セズシテ本件契約ヲ解除シ賃借地ノ返還ヲ請求スルコトヲ得
- 九 期間滿了ノトキハ勿論前項ニヨリ賃借地ノ返還ヲ請求セラレタルトキハ小作人ハ遲滯ナク土地ヲ原狀ニ復シテ地主ニ返還スルコト
- 一〇 期間滿了ニヨリ土地ノ返還ヲ受ケタルトキ又ハ地主ガ本件土地ヲ他ニ賣却シタルトキハ地主ハ直ニ反當百八十圓ノ割合ニ依ル作離料ヲ小作人ニ贈與スルコト
- 一一 水利費用ノ負擔ハ從來ノ慣行ニ從フコト
- 一二 本件調停費用ハ双方各自辨トスルコト

(目錄省略)



四六 愛媛縣北宇和郡明治村大字目黒

(小作契約繼續、小作料完納獎勵  
米支給、小作料減免方法協定)

爭議發生 昭和二年十二月二十八日

調停申立 昭和三年九月十四日

解 決 昭和四年七月二日

關係人員	爭議	地主	二十三人	小作人	七十八人
	調停	地主	二十三人	小作人	六十人(小作人申立)

關係土地	爭議	田	四十三町步	畑	五町步	其他	九町步
	調停	田	二十七町步				

(一) 爭議ノ概況

昭和二年度稻作減收ヲ機會ニ小作料高率ヲ理由トシテ小作料永久三割五分減ヲ要求セシニ地主ハ大正十四年ニ於テ將來ノ爭議防止ノ目的ニテ約三割ニ近キ減額ヲナシ居ル實情ナレバ現今ニ於テハ減額ノ餘地ナキノミナラズ今更減額ノ要求ヲナスハ小作人ノ誠意ヲ疑ハザルヲ得ズトシテ小作人ノ要求ニ應ゼズ小作人ハ大正十四年有志ノ事實上ノ調停ニ依リ平均二割餘ノ減額ヲ得タルモ目黒部落ノ現狀トシテ之レニ満足スル能ハザルノミナラズ大正十四年ノ爭議ニ參加シ居ラザル小作人ハ不利益ナル條件ニテ隱忍シ居ル實情ナレバ此際相當ノ減額ヲ受クルニアラザレバ小作人ハ生活ノ不安ヲ去ル能ハズト

シ小作料ノ不納同盟ヲナシ抗爭中地主ハ遂ニ小作料請求竝ニ土地返還ノ訴訟ヲ提起シ小作人ハ永小作權ヲ主張シテ之ニ對抗セシガ斯ノ如キ問題ヲ法廷ニ爭フコトハ双方ノ不利益ナルノミナラズ農村ノ平和ヲ期スル所以ニアラズトシ遂ニ小作人側ヨリ永小作權ノ確認竝ニ小作料永久三割五分減額ノ調停ヲ松山地方裁判所宇和島支部ニ申立ツルニ至ル

(二) 調停ノ經過

松山地方裁判所宇和島支部ニ於テハ昭和三年九月、十月ノ二回ニ亘リ(二件ニ受理)受理ト同時ニ小作調停委員三名ヲ指定シ昭和三年中ニ二回(十月、十二月)委員會ヲ開催調停ヲ試ミタルモ小作人ハ永小作權ノ確認ト小作料ノ永久三割五分減ヲ要求シテ譲ラズ地主ハ大正十四年多大ノ減額ヲナスト同時ニ係争以外ノ小作人ニ對シテモ右調停ニ準ジ減額シ居ル旨ヲ主張シテ小作料減額ニ應ゼザルノミナラズ永小作權ト認ムル理由ナク寧ロ此際賃貸借契約ナルコトノ確認ヲ得度要望スルニ至リシモ勸告ノ結果漸ク小作人(申立人)トシテハ永小作權確認ノ要求ヲ撤回シ小作料ヲ相當ニ減額セラレ度申出地主(相手方)トシテハ小作料ノ減額ニハ應ズルヲ得ザルモ獎勵ノ意味ニ於テ相當ノ犠牲ヲ拂フコトハ此際不得已旨申出更ニ小作人トシテハ實地ヲ詳細ニ踏査研究ノ上調停ヲ進行セラレ度申出地主ヨリモ大正十四年ノ爭議以來疲弊セル地主ノ實情ヲ實地ニ詳細調査ノ上適當ノ調停ヲ進メラレ度申出タリ仍テ昭和四年六月一日ヨリ四日間ニ亘リ實地踏査ノ上調停ヲ進メ更ニ七月二日、三日ニ亘リ勸解ノ結



果遂ニ双方無條件ニテ委員會ニ一任スルニ至ル

(三) 結 末

双方ヨリ調停委員會ニ無條件ニテ裁定ヲ一任スルニ至リ委員會ハ慎重考究ノ結果左記調停條項ヲ發表シ双方ノ同意ヲ得テ圓滿ニ調停成立セリ

調 停 條 項

第一 相手方(地主)ハ申立人(小作人)ニ對シ別紙記載ノ不動産ヲ其ノ記載ノ宛口米ニテ引續キ小作セシムルモノトス

第二 昭和四年度以降凶作其ノ他不可抗力ニ依ル減收ヲ原因トシ申立人ニ於テ宛口米ノ減額ヲ請求セントスルトキハ立毛刈取前相手方ニ申出實地檢見ノ上減額ノ要否竝ニ其ノ數額ノ協定ヲ爲スコト若シ當事者間ニ於テ協定成ラザル時ハ當事者双方ヨリ各二名ノ委員ヲ選出シ該委員會ニ於テ協定スルコト此ノ協定ニ對シテハ双方異議ヲ申述ブルヲ得ザルモノトス

委員會ノ協議ハ多數決ニ依リ決定スルコト若シ可同數其他多數決ニ依リ難キ時ハ川添某、赤松某川添某ノ三名ノ參加ヲ請求シ其ノ參加ヲ得タル委員會ノ多數決ニ依リ決定スルコト此ノ決定ニ對シ双方異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

前項川添某、赤松某、川添某ノ參加權ハ小作調停委員ノ資格ヲ喪失スルニヨリ之レヲ喪失ス此場合

其缺員ハ係爭當事者ヨリ裁判所ニ申出デ選任ヲ受クルコト

第三 昭和四年度以降ノ宛口米ハ毎年十二月二十日限り納付スルコト

申立人ガ右期間内ニ宛口米ヲ完納セシトキハ相手方ハ宛口米ノ一割ヲ申立人ニ給與スルモノトス

四七 高知縣高岡郡高岡町 (田畑ニ附隨シタル山林買受)

爭議發生 昭和四年五月十日

調停申立 昭和四年十二月二十八日

解 決 昭和五年二月八日

爭議 地主 一人 小作人 百七人

關係人員 調停 右ニ同ジ(小作人申立)

爭議 山林 十一町一反二畝十九步

關係土地 調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

本係爭地ノ小作人ハ田畑ト同時ニ山林ヲ宛受ケ其ノ一部ハ開墾シテ熟畑ト爲シタルヲ以テ昭和二年ノ調停ノ際解決セントシテ第五回委員會迄繫屬調停ヲ續行シタルモ本件山林ハ大阪市内某銀行支店ニ擔保トナレル關係上山林ハ急速ニ交渉シ難キヲ以テ分離シ田畑ノミハ昭和三年十二月廿一日第六回調



停委員會ニ於テ田一反步三百六十二圓五十錢、畑一反步二百十五圓五十錢ノ割合ヲ以テ賣買ノ調停成立セリ其際山林ハ小作官ニ於テ地主及大阪市關係銀行ト交渉シ賣買價格ノ協定ヲ爲スコト、シタリ爾來小作官ニ於テ數回地主ニ交渉シ調停ヲ試ミタルモ地主ハ價格ヲ表示セズシテ交渉進捗セザルヲ以テ遂ニ正式ニ調停ノ申立ヲ爲シタルモノナリ

(一) 調停ノ經過

第一回調停委員會ハ委員三名ヲ以テ昭和五年一月十一日高知地方裁判所ニ於テ開催シタルニ小作人側ハ昭和二年調停ノ田畑購入ノ際山林中ノ實際畑地ニ開墾セル部分ヲ見込ミ高價ニ買受ケタルノミナラズ現ニ存在セル山林ノ面積モ臺帳面積ヨリ減少セルヲ以テ反當拾五圓ニ買受タキコトヲ主張シ地主ハ山林ノ内開墾セル畑ハ曩ニ調停セル畑地ノ價格二百十五圓五十錢位ヲ至當ナリト唱ヘ反當十五圓位ニテハ到底賣却シ難キコトヲ主張スルモ山林全部ノ賣却價格ヲ明示セザル爲メ成立ニ至ラズ、第二回調停委員會ヲ同月廿三日前回同様裁判所ニ於テ開催シ地主ノ賣却價格ヲ確メタルモ地主ハ相變ラズ價格ノ表示ヲ爲サズ容易ニ解決ノ曙光認メザリシヲ以テ委員會ハ協議ノ結果賣買價格反當二十五圓トシテ提案シ地主小作人双方ヘ交渉シタルニ小作人側ハ同意シタルニ地主ハ關係銀行ト交渉ノ必要アリト主張シ次回ヲ約シ散會セリ、一方小作官ヨリ大阪市ノ關係銀行ニ對シ爭議ノ實情調停ノ經過委員案トシテ賣買價格反當二十五圓ト定メタル事情等ヲ具シ諒解ヲ求メタルニ銀行ヨリハ反當二十五圓ヲ下ラ

ザル範圍ナレバ賣却シテ差支ナキ回答ヲ得第二回委員會ヲ二月八日裁判所ニ於テ開催シ地主ニ對シ極力交渉シタルモ地主ハ二十五圓ニテハ賣却シ難キコトヲ力説スルヲ以テ既ニ關係銀行ノ承認ヲ得タル旨發表スルモ尙地主ハ應諾セズ仍テ地主ニ對シ小作人ヨリ多年低額ノ小作料ニテ耕作ヲナシ得タル謝恩ノ爲メ相當ノ出金ヲナスコト、シ其金額ニ付キ小作人側ハ百圓ヲ主張シ地主ハ相當多額ヲ希望セルモ言明セザルヲ以テ委員ヨリ三百圓ヲ提案シ遂ニ双方ノ同意ヲ得テ調停成立セリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 相手方(地主)ハ本件係爭土地タル高岡郡高岡町字大奈路丁二千三百十八番ノ山林一反步外六筆合計反別十一町一反二畝十九步ヲ代金二千七百八十一圓五十八錢(一反步金二十五圓ノ割合)ヲ以テ賣却スルコト
- 二 申立人ハ相手方ニ對シ昭和五年二月二十五日限り右買受代金全部ヲ支拂フコト
- 三 相手方ハ右賣却代金ヲ受領スルト同時ニ同地上ニ設定シアル抵當權ノ抹消登記手續ヲ爲スコト
- 四 申立人ハ相手方ニ對シ積年ノ恩惠ヲ謝スル爲メ金三百圓ヲ贈呈スルコト
- 五 本條項以外ノ點ニ付テハ當事者間ニ於テ協定スルコト
- 六 調停費用ハ各自辦ノコト



四八 高知縣香美郡岩村 (永小作權存續)

爭議發生 昭和四年三月七日  
調停申立 昭和四年六月十九日  
解 決 昭和四年七月十三日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 一人  
調停 右ニ同ジ(小作人申立)

關係土地 爭議 田 一反二十步  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

小作人ハ明治四十二年頃隣村立田村岩田某ノ所有セル田一反二十四步ニ對シ金三百五十圓ヲ支拂ヒ永小作權ヲ設定シ耕作シ來リタル處昭和二年一月ニ至リ同村近森某ヨリ立田村北村某所有明治十六年十一月永小作權設定セル本件係争地ト交換ノ申込アリタルヲ以テ之ヲ承認シ同月十九日所有者北村某ト一ケ年加治子米五斗八升六合七勺支拂期日ハ毎年十一月限り存續期間永代地租諸稅一切費用ハ永小作人ノ負擔、加治子米諸稅ヲ延滞セバ土地引上ヲナス等ノ條件ヲ以テ永小作權ヲ設定シ登記ヲナシ耕作シ來レルモ小作人ハ大工ヲ業トナシ常ニ他業シ不在勝ニテ農作ハ家族ニ一任シ置キタル處昭和二年

十二月二十二日付端書ヲ以テ加治米五斗八升六合七勺代石二十六圓換ヲ以テ十五圓二十五錢ヲ十二月廿五日迄ニ立田村信用組合ヘ支拂フベキ旨ノ通知ヲ受ケタルモ當時小作人ハ土佐郡本川村長澤營林署ノ請負工事ノタメ出稼ニ赴キ不在ナリシヲ以テ家族ニ米ヲ賣却シ支拂ヲナスベキ旨命ジ置キタルモ米價安ク地主ノ要求價格ニ達セザルヲ以テ支拂ヲ爲サズ且加治子米ハ前地主岩田某ノ時代ヨリ數ケ年ヲ一纏ニ支拂ヲナシタル慣習モアリタルヲ以テ其儘經過シ來リシニ昭和四年三月七日付内容證明郵便ヲ以テ二ケ年間加治子米不拂ニ付永小作權消滅ノ手續ヲ爲セル旨通知ニ接シ小作人ハ驚キテ仲持西川某及前耕作者近森某ニ依頼シ加治子米ヲ支拂フニ付永小作權ヲ存續セラレタキ旨交渉シタルモ地主ハ之ニ應ゼズ訴訟ヲ提起シ小作人モ某辯護士ヲ代理人トシテ應訴シ繫争中ニテ既ニ數回公判ヲナシタルモ未ダ解決ニ到ラズ且ツ訴訟ニ依ラバ小作人ノ不利ナルヲ以テ調停法ニヨリ調停ノ申立ヲ爲セルモノナリ

(二) 調停ノ經過

第一回調停委員會ハ委員二名ヲ以テ七月十三日係争地岩村公會堂ニ於テ開催シ小作人ハ從來ノ事情ヲ述べ不注意ノタメ延滞シ決シテ故意ニアラズ三百五十圓ヲ支出シテ獲得シタル永小作權ヲ消滅セラレ土地ヲ引上ゲラル、ハ非常ナル苦痛ニ付キ永小作料ニ延滞利子ヲ附シテモ宜敷ヲ以テ永小作權ノ存續ヲ主張シ、地主ハ昭和二年ニ於テ毎年十一月限り永小作料ノ支拂期日トシテ永小作權ヲ設定シタル



ニ十二月ニ入りテモ支拂ナキヲ以テ數回督促ヲ爲スモ支拂ハズ何カ感情ヲ害シ故意ニ怠納スルモノト信ジ昭和四年三月内容證明郵便ニテ永小作權消滅ノ通知ヲ發シタルモ何等異議ノ申立ヲ爲サズ契約ニ基キ永小作權消滅竝ニ登記抹消及土地引渡請求ノ訴訟ヲ提起セルモノナレバ永小作權存續ヲ承認シ難キコトヲ主張シ容易ニ解決セザルモ實情調査ノ結果地主ガ余リ督促ヲ爲サズシテ二ヶ年滯納ノ時期ヲ待チ之ヲ口實ニ故意ニ永小作權ノ消滅ヲ圖ラントスルガ如キ形跡アリシヲ以テ調停者ヨリ極力地主ノ諒解ヲ求メタル結果遂ニ調停ノ成立ヲ見タリ

(三) 結 末

調 停 條 項

一 申立人(永小作人)ハ永小作權ヲ有スル本件土地ニ對スル昭和二年度及同三年度ノ延滞永小作料米合計一石一斗七升三合四勺ヲ一石二十六圓相場ニ換算シタル金三十圓五十錢及本件ニ關シ相手方ヨリ提起サレタル訴訟費用トシテ金十五圓合計四十五圓五十錢ヲ本月十八日限り相手方宅ニ持參シ支拂フコト

二 申立人ハ昭和四年度以降ノ本件土地ニ對スル永小作料米一ヶ年五斗八升六合七勺ハ上等玄米ヲ以テ毎年十一月末日限り相手方宅ニ持參シ支拂フコト

若シ一回ニテモ右永小作料ノ支拂ヲ延滞シタル時ハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ナク永小作權ハ即

時消滅スル事ヲ約諾ス

三 相手方(地主)ヨリ提起サレタル永小作權消滅等ノ訴ハ本月末日限り取下ヲ爲スコト

四 調停費用ハ各自辨ノコト

四九 福岡縣筑紫郡那珂村大字板付

(小作料一時的減額  
小作條件改定)

爭議發生 昭和三年十一月三十日

調停申立 昭和四年一月十七日

解 決 昭和四年三月一日

關係人員 爭議 地主 十五人 小作人 八十七人  
調 停 地主 二人 小作人 八人(地主申立)

關係土地 爭議 田 六十町  
調 停 田 五町四反六畝

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ大正十二年一般の農民運動ニヨリ約二割減ノ永久減ヲ爲シタルガ地主ハ機會アル毎ニ復舊ヲ希望シ居リ偶々昭和三年度ハ穂首イモチノ害ヲ受ケ一般ニ不作ナリシヲ以テ小作人ハ地方慣習ニ從ヒ區長及區協議員ニ不作田ノ立毛調査ノ依頼ヲナシタリ、茲ニ於テ區長及區協議員ハ昭和三年十一



月三十日其ノ結果ヲ上、中、下田ニ分類シ地主ニ交附シタルガ地主ハ中田二割下田三割ノ減額ヲ認メタルモ一般田ノ減額ヲ認メズ、小作人ハ一般田二割、不作田四割ヲ主張シ全日本農民組合後援ノ下ニ目的達成迄小作料不納ヲ申合セシカバ地主ハ訴訟手段ニ出ヅル前ニ一應調停ニヨリテ解決セントシ代表者二名ヲ以テ調停ヲ申立テタリ

(二) 調停ノ經過

第一回調停ハ二月十八日那珂村役場ニテ開催セリ、調停關係人ハ地主二人、小作人八人ナルモ其ノ影響スル所ハ那珂村全體ニ及ブノミナラズ附近町村ノ先例トナル故双方容易ニ譲ラズ依テ意嚮ヲ聽取スル程度ニ止メタリ

第二回調停ハ三月一日同役場ニテ開催小作官ノ事實調査ニヨリ區長案ヲ適當ナリト認メ極力調停ニ努ムルト共ニ將來ノ紛争ヲ避ケン爲ノ調停條項案ヲ双方ニ示シ承諾ヲ求メシガ小作人側ニ尙難色アリシモ別ニ某大地主ヲ説キテ手打式費用トシテ金百五十圓ヲ出サシムルコト、シ即日解決、別席ニテ調停主任、小作官列席ノ上和氣霽々裡ニ手打式ヲ行ヒタリ

(三) 結 末

本調停ハ附近村區ニ影響スルコト大ナルモノアルヲ以テ最モ慎重且ツ熱心ニ行ハレシガ當事者モ之ヲ諒トシ特ニ協調心ヲ發揮シテ左記條項ノ如ク圓滿ナル解決ヲ告ゲタリ

調 停 條 項

- 一 申立人ハ相手方ニ對シ昭和三年度ノ小作料ニ限り特別ノ被害ヲ受ケタル田地ノ内、中田二割下田四割ノ各減額ヲ認ム
- 二 相手方ハ昭和三年度ノ一般田ニ對スル小作料及右減額小作料ハ昭和四年三月十五日迄ニ地主宅へ持參支拂フコト
- 但シ一般田ノ小作料ニ付テハ右期間迄ニ完納シタルトキハ完納獎勵トシテ一割ヲ地主ハ小作人ニ贈與スルコト
- 三 昭和四年度以降ノ小作料率ハ大正十二年度ノ改定小作料ノ率ニ從フコト
- 四 小作料ノ納入期ハ毎年翌二月末日迄トス
- 五 小作人ニ於テ正當ノ理由ナク右期日迄ニ小作料ノ納入ヲ怠リ地主ニ於テ相當ノ期間ヲ定メ催告スルモ納入セザルトキハ土地ヲ引上ゲラル、モ異議ナキコト
- 六 天災、地變其他不可抗力ニ依リ小作料ノ減免ヲ要求セントスルトキハ鎌入前小作人ハ地主ニ立會ヲ求メ減額ノ協定ヲ爲スベク鎌入後ハ小作人ハ減額ノ要求ヲ爲スヲ得ズ
- 但シ地主ニ於テ正當ノ理由ナク右立會ニ應ゼザルトキハ此ノ限ニ非ズ
- 七 前項ノ小作料減免ノ場合ニ地主小作人間ニ協議調ハザルトキハ地主又ハ小作人ヨリ縣小作官ニ申



立テ此指導ニ從ヒ地主、小作人兩者間ヨリ同數ノ委員ヲ選ビ之ニ區長及適當ナ第三者立會ヲ加ヘ其ノ決定ニ一任スルコト

八 板付區地主、小作人關係ハ本調停條項ニ準ジテ解決スルコト

五〇 福岡縣宗像郡東郷町大字田熊 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和三年十二月二十日

調停申立 昭和四年七月六日

解 決 昭和四年十月三十日

關係人員 爭議 地主 三十人 小作人 四十人  
調停 地主 二十八人 小作人 二十九人(地主申立)

關係土地 爭議 田 三十五町  
調停 田十八町八反八畝五步

(一) 爭議ノ概況

爭議ノ直接原因ハ昭和三年度ノ小作料減額率ニ付テ兩當事者ノ主張一致セザルニヨルモノナルガ又一ニハ本部落ハ從來ヨリ地主、小作ノ關係圓滿ヲ缺キ相互ノ惡感情嵩シタルニモヨルモノナリ爭議ノ經過ニ就テ見ルニ昭和三年末小作人ハ一團トナツテ小作料二割減額ヲ地主ニ要求セシガ地主

ニ於テハ被害ノ甚ダシキモノニ付テハ既ニ立毛ノ際檢見ノ上減額シアリ、又他部落ニ於ケル減額ノ事例ニ照準スルモ小作人ノ要求過大ナリトシテ之ニ應ゼズ斯クシテ兩者相對峙シ抗爭ヲ續ケシガ昭和四年五月ニ至リ區内ノ有力者及町當局者奔走ノ結果地主、小作兩者ヨリ調停ヲ一任サルコト、ナリタルヲ以テ仲裁條項トシテ

(1) 昭和三年度ノ年貢米中一割ハ之ヲ減額シ五分ハ無利息ニテ昭和四年度小作米納入時期迄延納ヲ認ム

(2) 昨秋立毛見立ノ分ハ加算スルコト

(3) 爾後小作證書(仲裁人ニ於テ作製シタルモノ)ヲ入ル、コト

ヲ骨子トスルモノヲ發表シタリ、然ルニ之ニ對シ小作人側ニ於テハ仲裁人ニ仲裁ヲ一任スル際仲裁ノ範圍ヲ單ニ昭和三年度ノ小作料減額問題ノミニ限リタルモノナルニ將來ニ亘ル問題ニシテ且ツ小作人側ニ取ツテ重大ナル利害關係ヲ有スル小作證書ニ關スル事項迄ヲモ加ヘタルハ不當ナリトシ之ニ承服セザリシ爲メ調停ハ茲ニ決裂ヲ來シ再ビ行惱ミノ状態トナリ斯クテ遂ニ地主側ヨリ調停ヲ申立ヅルニ至リタルモノナリ、尙今回ノ爭議ニヨリ從來區内ニ存在セシ協調組合ハ解散セラレ小作人側ノ大部分タル四十名位ノ者ハ全日本農民組合九州同盟會ニ入會シタリ

(二) 調停ノ經過



本件ハ兩當事者共協調心ニ乏シキト前ニ一度仲裁人ニ一任シナガラ結果ニ於テ決裂シタル事情ノ存スルトノ爲メ稀有ノ調停困難ヲ來シ常ニ決裂線上ヲ彷徨シツ、九月三十日ヲ初回トシ四回ニ亘リ調停委員會ヲ開催最後ノ回ニ於テハ二夜徹宵調停ノ結果遂ニ成立ヲ見タリ

(三) 結 末

本件ハ一度仲裁人ニ一任サレ仲裁條項ノ發表アリタル事件ナルヲ以テ調停ニ當リテハ右仲裁條項ヲ尊重シテ調停ニ當リタルモ其ノ結果ハ左記調停條項ノ通りニテ比較的小作人ニ有利ニ解決シタル觀アリ

調 停 條 項

- 一 申立人地主ハ相手方小作人ニ對スル本件宗像郡東郷町大字田熊區ノ昭和三年度ノ小作料ハ從來ノ付口ヨリ一割二分五厘減額ヲ承諾スルコト
- 一 相手方小作人ハ右昭和三年度ノ小作料ノ支拂方法トシテ小作米ノ殘納米ヲ三分シ其ノ一ヲ昭和四年十一月十五日迄ニ殘リ三分ノ二ハ昭和五、六年ノ毎年度ニ各三分ノ一宛其ノ翌年一月二十日迄ニ分割支拂ヲ爲スコト
- 一 申立人地主ハ相手方小作人ノ内右殘納小作米ヲ昭和四年十一月十五日迄ニ完納シタル者ニ對シテハ獎勵米トシテ減額ノ外尙二分五厘ヲ小作人ニ贈與スルコト

一 右小作料ハ移出検査米ノ三等、四等米ヲ各半々宛ノ割合ヲ以テ納入スルヲ原則トシ若シ玄米ヲ以テ納入スルコト能ハザル場合ニ於テハ其ノ支拂時期ノ玄米時價ノ換算金ヲ以テ之ヲ支拂フコト

一 昭和三年度ノ立毛特別見立ノ分ハ五分毎ニ一分ヲ減少シテ之ヲ加算スルモノトス

五一 佐賀縣三養基郡基山村大字園部(第二區) (返還土地再小作契約締結)

爭議發生 大正十三年十月九日

調停申立 昭和四年四月十二日及十八日

解 決 昭和四年四月廿五日

關係人員	爭議 地主二十人	小作人 八十三人
調 停	地主 十三人	小作人 二十一人
關係土地	爭議 田 四十七町步	
調 停	田 三町八反二畝十八步	

(一) 爭議ノ概況

大正十三年八月日本農民組合ニ加盟シ小作料永久三割減ヲ要求シ地主亦組合ヲ組織シテ對抗シ激烈ナル爭議ヲ惹起シ地主側ハ立入禁止、動産假差押、立毛假差押、小作人ハ學童ノ盟休、共同田植、糺彈演說會等ノ手段ヲ以テ闘ヒシガ大正十四年十月十八日放火、騷擾ノ二刑事事件發生シ十年ノ懲役一名



八年ノ懲役二名、一年ノ懲役數名等多數ノ犠牲者ヲ出シタル爲メ十月末小作調停ニ依リテ小作料率ノ改訂(從來ノ小作料ニ比シ約一割二分減)滯納小作料ノ分割納入額、假差押立毛ノ處分、立入禁止處分田ノ引揚條件ノ四項ヲ決定シ暫定的解決ヲ遂ゲタルモ小作人側ニ於テハ小作料改定率ニ不滿アリ立入禁止處分田ハ全部地主ニ引揚セラレタル爲メ地主ニ對スル感情ハ毫モ融和セズ區内ハ判然ト地主側小作人側ニ分レテ對抗シ十五年以來清防組青年團ハ小作人側ニ於テ獨占シ冠婚葬祭等ノ交際ハ依然行ハレズ區長(地主側)ノ言ヲ小作人ハ絶對ニ用ヒズ徵稅令書スラ郵送スルノ外ナク共同害虫驅除モ全然實行サレザル如キ状態ナリキ

十五年調停委員久保山某ハ小學教員ノ職ヲ辭シテ僧侶トナリ部落小作問題ノ根本的解決ニ身ヲ委ネシガ不景氣ノ深刻化ト共ニ小作人ハ耕地ノ不足ニ惱ミ地主側ニ於テハ在住者ト不在地主トノ間ニ利害ノ衝突ヲ來シ不在地主ハ引揚田ヲ再ビ元小作人ニ小作セシメンコトヲ希望スルニ至リ幾分融和ノ機運ニ向ヘリ

カクテ久保山調停委員ノ調停ニ依リ昭和三年六月引揚田ノ中二町七反ヲ小作側ニ再小作セシムルコトヲ内容トスル小作調停ニ依リ小作人ハ全國農民組合ヲ脱退スルコトヲ約スルニ至リシガ尙ホ再小作田不足ノ爲村長手許ニ届書ヲ保留スル外ナカリキ

(二) 調停ノ經過

其ノ後前記久保山調停委員ハ調停ヲ續ケ昭和三年七月ニハ解決ノ一手段トシテ區長ニ就任シ兩者ノ融和ニ努メ一方小作人ヨリ三百圓、村内全般ヨリ千三百圓ノ寄附金ヲ集メ昭和四年三月放火ノ災厄ヲ受ケタル地主ニ贈リ判決ニヨリ確定シタル一萬八千圓ノ損害賠償並慰藉料ノ請求權ヲ放棄セシメ尙ホ再小作田ノ調達ニ奔走シタル結果再小作田三町八反二畝ヲ得タルヲ以テ之ヲ調停ニ依リ小作契約ヲ締結シ小作人ハ正式ニ組合ヲ脱退シテ根本的解決完成スルコト、ナリ昭和四年四月十二日及十八日一部ハ地主一部ハ小作人ヨリ調停ノ申請ヲナシタリ

仍テ四月廿五日基山村役場ニ委員會ヲ開キ大正十四年改定率ニ依リ小作料ヲ定メ(等級別小作料ハ調停條項末尾參照)細末ニ亘ル小作條件ヲ委員會ニ於テ決定シ即日調停成立セリ尙ホ久保山調停委員ハ昭和五年四月司法大臣ヨリ調停功勞者トシテ表彰セラレタリ

(三) 結 末

調停條項ハ二件同様ニシテ左ノ如シ

調 停 條 項

- 一 各申立人(地主)ハ各相手方(小作人)ニ對シ昭和四年度以降別表(略)ノ如ク夫々土地(小作地)ヲ賃貸スルコト
- 二 相手方ハ申立人ニ對シ別表(略但シ算定基礎ハ附記ノ如シ)ノ如ク夫々賃料(小作米)ヲ毎年度



其翌年一月十五日迄ニ支拂フコト

三 相手方ハ天災其他不可抗力ニ因リ凶作ノ見込アルトキハ刈取着手前申立人ニ申出デ双方立會ノ上坪刈ヲ爲シ其收穫額ヲ定ムルコト

但右申立後十日以内ニ申立人ガ立會ヲ爲サバルトキハ相手方ノ申出タル減額ヲ承認シタルモノト見做シ相手方ガ右申出ヲ爲サズシテ刈取ヲ爲シタルトキハ減額請求ヲ爲スコトヲ得ザルコト

尤モ當事者双方ノ合意ニ依リ坪刈ヲ略シ其收穫高ヲ決定スルコトヲ得ルコト

四 申立人ニ於テ自作ノ必要アル場合ハ豫告後一ケ年ノ期間ヲ經テ相手方ハ右小作地ノ返戻ヲナスコト

五 申立人ハ家政整理ノ必要上小作地賣却ノ場合ハ當該耕作年度ノ終リニ於テ相手方ハ右土地ノ返戻ヲナスコト

但申立人ハ右賣却ニ當リ先ヅ相手方ニ對シ土地買求メ交渉ヲナスコト

六 相手方ハ申立人ノ承諾アルニアラザレバ右小作地ヲ他ニ轉貸シ又ハ本契約上ノ權利ヲ讓渡スルコトヲ得ザルコト

七 相手方ハ小作米不納同盟ニ加入シ又ハ之ト同視スベキ行爲ヲ爲サバルトキハ

八 前各項以外ノ事項ハ從來認め來リタル慣例ニ依ルコト

九 相手方ハ前各項ノ義務ニ違背シタルトキハ直チニ右小作地ノ返還請求ヲ受クルモ異議ナキコト

五二 長崎縣北高來郡湯江村 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和三年十月廿九日

調停申立 昭和四年十月廿九日

解 決 昭和四年十一月二日

關係人員 爭議 地主 九十人 小作人 三百九十人

調停 地主 二十五人 小作人 二百六十九人(地主申立)

關係土地 爭議 田 百二十町步

調停 田 六十二町二反二十九步

(一) 爭議ノ概況

同地小作料ハ一般ニ比シ高率ニシテ小作人ノ取得極メテ僅少ナレバ生活ノ脅威ヲ受クルトノ理由ニテ御大典奉祝餘興打合ヲ機トシ各部落代表者會合シタル席上小作料永久ニ割減ヲ要求スベク申合セ之ガ交渉方ヲ同村農會長ニ依頼セリ仍テ同農會長ハ關係地主ノ總會ヲ開催シ小作側ノ意嚮ヲ傳達シタルニ地主側ハ如斯要求ハ絶對反對ナリトテ之ヲ拒絶セリ、小作側ハ直チニ交渉委員山口某外二十名ノ委員ヲ擧ゲ目的達成ニ當ラシムルコト、シ同村農會長(村長兼任)ニ依頼シタル處同人ハ自己ノカノミ



ニテハ到底解決困難ナリトテ辭退セリ小作側ハ止ムナク直接地主側ニ交渉スルコト、シ地主會長ニ面會シタルモ何等得ル所ナク爲メニ小作側ハ地主側ノ無誠意ヲ憤リ日雇、魚類ノ販賣下男下女ノ奉公等一切斷ルコトニ決議シ事態愈々紛糾スルニ至リ解決ノ曙光スラ全クナキニ至レリ、同村長ハ村會議員選舉切迫ノ折柄此儘放任スルハ村治上由々敷問題ナリトシ村會議員竝ニ村有志ノ集會ヲ求メ意見ヲ開陳セルニ本問題ノ解決ハ地主側ガ無條件一任ノ意志アリヤ否ヤヲ決シタル上調停方法ヲ採ルヲ良策ナリトシ地主側ニ無條件一任方ヲ慫慂シタルニ當初ノ主張ハ一步モ讓ラズ斷然之ヲ拒絕シ更ニ納米ノ取立ヲ辯護士ニ依頼スル等強硬ノ態度ニ出デタルヲ以テ小作側ハ各部落毎ニ團體ヲ組織シ其ノ運動方法ヲ日本大衆黨長崎支部ニ依頼セリ、同黨ハ黨勢擴張ニ絶好ノ機會ナリトシ飽迄小作側ヲ援助シ鬭争スルコト、セリ地主側ハ小作料取立ニ付法的解決ヲ決意シ滯納米取立ノ爲假差押ノ申請ヲナシ小作人荒木某外三十一名ノ有體財産ノ差押ヲナシタルガ被差押小作人ハ當初ヨリ覺悟セル爲何等不穩ノ舉ニ出ヅル者ナカリキ

小峯名及善住寺名ヲ除キタル各部落ニ於テハ立入禁止標札ヲ意ニ介スルコトナク共同耕作ニヨリ全部植付ヲ了セルモ地主側ハ之ヲ黙過セリ然ルニ小峯小作人約四十名ハ土地ヲ返還シ稻苗ハ一切地主ニ賣渡サズ之ヲ放棄スルコト、地主ノ共同耕作地ヘハ絶對ニ通水セザルコトヲ決議シ之ヲ實行セリ地主側ニ於テハ小峯及善住寺ノ返還土地ヲ共同耕作スルコト、シ他村ヨリ人夫ヲ雇入レ假小屋ヲ建テ警戒

セリ然ルニ小作人側ハ熊本縣人某ノ所有セル耕地整理地區約三十町歩ヲ耕作シ双方對峙シ圖ラズモ地主ノ共同耕作地ト小作人ノ共同耕作地トノ間ニ用水問題起リ地主側ノ土地ニ流入スル水ヲ堰止メタル爲メ地主側ハ小作官ニ問題ノ解決ヲ依頼セルヲ以テ直チニ現場ニ出張シ小作側ニ極力反省ヲ促シタル處漸ク了解シ一部通水スルコト、セリ地主松角某ハ小作側ヨリ誤解セラレ居ル點ヲ釋明ス可ク同村市場ニ小作人ノ集合ヲ求メタルニ約百名ノ小作人集合シタル席上小作人代表者竝ニ日本大衆黨員等ニ暴行ヲ加ヘラレ加害者ハ直チニ檢束セラレタリ

地主側ハ最早ヤ此儘放任スルハ不利ナル爲同年五月十三日長崎地方裁判所ニ調停ノ申立ヲナシタル爲調停主任判事竝ニ小作官等ハ同地ニ出張調停ニ努メタルモ双方ノ感情極度ニ惡化セル時ナリシヲ以テ調停不調ニ終レリ其ノ後警察署長、村長、小作官等極力和解勸告ニ努メタル處双方共右調停者ニ一任セル結果急速ニ解決ヲ遂ゲタリ仍テ正式ニ再度調停ヲ申立テ左ノ條項ニテ圓滿ナル解決ヲ見タリ

(三) 結 末

調 停 條 項

一 昭和三年度賃借料ノ五分ヲ減額ス

(イ) 未納ノ者ハ賃借料ノ五分ヲ差引キ殘餘ハ昭和四年十二月二十五日迄ニ賃貸人若クハ世話人宅ニ持參完納スルコト



- (ロ) 賃借料完納者ニ對シテハ昭和四年度ノ五分ヲ割戻スコト
- 二 田地ノ等級及其ノ賃借料ハ從前通りトス
- 三 賃借料ノ支拂期限ハ其ノ年十二月二十五日迄トシ賃貸人宅又ハ世話人宅ニ持參シ完納スルコト但シ一俵四斗入トシ産米検査合格品タルコト
- 四 前項規定ノ期限内ニ賃借料完納シタルモノニ對シテハ賃貸人ヨリ一俵ニ付五十錢ヲ給與スルコト
- 五 前項ノ給與金ハ昭和四年度ヨリ始メ昭和六年度迄向フ三ケ年トス但シ土地返還シタルモノハ昭和五年ヨリ向フ三ケ年トス
- 六 土地賃借證書ハ相互改メテ取交スコト

五三 宮崎縣西諸縣郡飯野村大字今西 (土地返還、代地交付)

爭議發生 昭和四年四月十日  
 調停申立 昭和四年五月十八日  
 解 決 昭和四年六月二十五日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 一人  
 調停 右ニ同ジ(小作人申立)

關係土地 爭議 田 三反  
 調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況

本村ニ於ケル興農會ハ地主ノ勢力ヲ維持シ以テ小作爭議ノ絶滅ヲ期シ地主ノ意ニ從フ小作人ヲ會員ト爲シ會ノ擴張ニ努力シ來リタルモ同會ノ幹部ノ態度等ニ不滿ヲ抱ク者増加シ振興會ノ勢力次第ニ衰フルノ状態ナルヲ以テ之レガ挽回策ヲ講ズルノ要アリト爲シ小作人ノ引入策トシテ小作人ニシテ地主ニ反抗的態度ヲ抱ク者ニ對シテハ土地引上ヲ敢行シ以テ之レヲ懲戒セント爲シ小作爭議ヲ惹起シ地主側小作人側ハ益々相反目ノ状態ニアリシガ本件爭議モ同性質ノモノニシテ振興會員タル地主ハ小作地ヲ買受ケ自作ノ要アリト稱シ直チニ土地返還ノ請求ニ及ビタリ小作人ハ此ノ土地ノ引上ヲ受クルニ於テハ生活ニ窮スルトノ理由ヲ以テ小作繼續ヲ主張シ交渉ヲ重ネタルモ地主ハ斷然之レヲ拒絶シタリ

小作人ハ地主ノ態度ヲ非難スル小作側ノ後援ニヨリ小作繼續ヲ主張シ土地返還ニ應ゼズ地主ハ此ノ際土地ノ返還ヲ斷行スルハ振興會ノ將來ニ及ボス影響大ナリト爲シ態度頗ル強硬ナリ茲ニ於テ小作人ハ小作官ニ調停方依頼シ來リタルヲ以テ出張事情調査旁々調停ヲ試ミタルモ地主ノ態度ハ動かサベカラザルモノアルヲ以テ小作人ハ遂ニ調停ノ申立ヲ爲シタリ

(二) 調停ノ經過



茲ニ於テ五月末第一回調停委員會ヲ開キ調停ヲ試ミタル所地主ハ調停ニ應ズルノ意思ナク不調ニ終  
ランコトヲ希望シ土地返還ハ絶對讓歩スルコトヲ得ズト爲シ態度強硬ナルヲ以テ調停委員會ニ於テハ  
利害ヲ説キ考慮ヲ促シタルモ動カズ、第二回第三回ノ調停ヲ開キ眞劍ナル努力ニモ拘ラズ讓歩ヲ爲サ  
ズ小作側ニ於テモ土地返還ヲ爲スニ於テハ直ニ生活困窮ニ陥ルヲ以テ小作繼續ヲ主張シテ讓ラズ地主  
ガ一步モ讓歩的態度ニ出デザルハ振興會幹部ノ意見ニ左右セラル、ニアリシヲ以テ振興會幹部ニ付キ  
理ヲ盡シ勸説シタルモ了解スルニ至ラズ解決困難ニ陥レリ

茲ニ於テ調停委員會ハ調停延期ヲ爲シタリ而シテ第四回調停委員會ヲ開キ警察官ニ依頼シ當事者ヲ  
使喚スルガ如キ行爲ヲ取締ラシメ調停ニ努力シタル所地主側モ遂ニ讓歩シ解決ヲ見タリ

(三) 結 末

地主ハ返還要求ヲ爲シタル土地ノ返還ヲ受ケ代リ地ヲ小作人ニ提供スルコト、爲シ左ノ調停條項ニ  
ヨリ調停ノ成立ヲ見タリ

調 停 條 項

- 一 申立人(小作人)ハ相手方(地主)ニ本件爭議ノ目的土地タル
- 西諸縣郡飯野村大字今西口ノ坪二百四十一番 一、田 一反四畝歩
- 同所二百四十二番 一、田 一反五畝二十九歩

ヲ本日返還シ相手方地主ハ正ニ領得シタリ  
而シテ右ノ土地ノ代リトシテ相手方(地主)ハ申立人(小作人)ニ

- 西諸縣郡飯野村大字今西字宮下三百三十番 一、田 一段十六歩
- 西諸縣郡飯野村大字今西字口ノ坪二百五十二番ノ二 一、田 七畝十八歩
- 同所同番ノ三 一、田 五畝十歩

ノ三筆ノ土地ヲ小作料一ヶ年五俵半トシ昭和四年度ヨリ向フ三ヶ年間小作セシムル事ヲ承諾ス  
但期間滿了前當事者協定ノ上右期間ヲ更新スルコトヲ得

- 一 前記土地ノ小作料納入期ハ其翌年一月三十一日限り一俵四斗入生産検査丙米以上ヲ以テ小作人ハ  
地主宅ニ持參納入スルコト

但前段小作米(丙米以上)ヲ以テ納入スルコト能ハザルトキハ丁米ヲ以テ之ニ代フルヲ得

- 一 前項ノ期間中ト雖モ地主ニ於テ特別ノ事情アル場合ハ當事者協定ノ上小作人ハ地主ニ土地ヲ返還  
スベク此場合ハ地主ハ右土地ニ相當スル換地ヲ提供スルコト

五四 鹿兒島縣始良郡東襲山村 (土地返還、未納小作料免除)

爭議發生 昭和三年七月二十五日

調停申立 昭和三年十二月十五日

昭和四年一月二十六日取下



再調停申立 昭和四年四月二十日  
解 決 昭和四年五月十七日

關係人員 爭議 地主 一人 小作人 一人  
調停 地主 一人 小作人 一人(初回ノ申立ハ地主、再申立ハ合意)

關係土地 爭議 畑 一反九步  
調停 右ニ同ジ

(一) 爭議ノ概況 (調停申立ニ至ル迄ノ經過)

昭和三年二月自作ノ目的ヲ以テ前記畑地ヲ購入シ土地明渡ヲ請求セルニ小作人ハ十數年前ヨリ引續キ耕作シツ、アリテ該土地返地スレバ直ニ生活ニ窮スルヲ以テ返地方ヲ拒絕シタリ然ルニ地主ハ同年七月小作人ノ大豆植付アル株間ニ粟ヲ植付ケタルニ小作人ハ全國農民組合員ナル關係上此ノ旨組合幹部ト協議シ地主植付ノ粟ヲ引拔キタリ茲ニ於テ小作官ハ地主小作人ノ事情ヲ調査シ前後三回ニ亘ル法外ノ調停ノ結果地主ノ購入セル價格ニテ小作人買取ルコトニ調停成立セルモ其ノ後小作人ハ高價ナル理由ニテ前調停ニ對シ不服ヲ申出デ其ノ後小作官調停成立ニ努メタルモ遂ニ不調ニ終レリ

(二) 調停ノ經過

昭和三年十二月十五日地主ハ小作調停法ニ依リ調停申立ヲナシタリ、依ツテ小作調停委員會ヲ開催スルコト二回ニ及ビタルモ飽迄小作權アリト稱シ讓ラズ遂ニ委員會ハ調停成立困難ト認メ地主ニ調停申立ノ取下ヲ勸告シ昭和四年一月二十六日取下タリ

其後地主ハ土地返還ノ訴訟ヲ加治木區裁判所ニ提起シ第一回口頭辯論後ニ小作官ハ地主及農民組合ノ幹部及小作人代理辯護士等ニ對シ調停ノ斡旋ヲナシタルニ遂ニ昭和四年四月二十日調停ノ合意申立ヲナシ調停委員會ニ一任スルコト、ナレリ

(三) 結 末

合意申立ナルニ依リ委員會ニ於テ左記條件ノ通り本件ハ昭和四年五月十七日解決セリ

調停條項

- 一 小作人ガ小作セル地主所有ノ畑一反九步ノ土地ハ昭和四年七月十五日迄ニ地主ニ返還ノコト
- 二 地主ハ小作人ニ對シ本件土地ニ對スル不法占有ノ損害ノ請求權ヲ拋棄スルコト
- 三 地主ニ對スル未納小作料八斗ハ全免ノコト
- 四 訴訟費用ハ各自負擔トス



### 第三 小作官ノ法外調停事例

#### 一 北海道夕張郡長沼村

(小作料永久的減額  
小作料減免方法協定)

爭議發生 昭和四年一月二十二日

調停着手 昭和四年五月十二日

解決 昭和四年九月十三日

關係人員 地主 一人 小作人 十五人

關係土地 田 五十八町九反七畝步 宅地 一町八反三畝步

#### (一) 爭議ノ概況

大正七年以來現在ノ地主及小作人間ニ於テ小作契約ヲ締結シ來リタル處地主ハ大正十五年ニ至リ水田小作料反當玄米五斗ヲ五斗三升ニ値上シタリ、然ルニ同年以降凶作若ハ旱魃等毎年作況不良ノ状態ヲ續ケタル爲兎角小作料ノ滯納多カリシガ特ニ昭和三年ノ天候ハ旱魃烈シク米作著シク不良ナリシヲ以テ小作人等ハ小作料納入期限ニ至ルモ小作料ヲ完納スルコトナク小作料減額ヲ要求シ本爭議ヲ起スニ至レリ



即チ小作人ハ昭和三年ノ旱魃ヲ理由トシ最初小作料一時的一割減額ヲ他村居住ノ地主及其ノ管理人ニ對シ嘆願シタルガ地主側ヨリハ何等ノ回答ナキニヨリ小作人側ハ小作料一割ノ納入ヲ考慮シナガラ越年セリ地主ハ昭和四年一月二十二日ニ至リ其ノ使用人ヲ代理人トシテ現地ニ遣シ小作人各戸ニ付キ未納小作料ノ納入方ヲ請求シ減額要求ニ應ズルコト能ハザルヲ主張セリ

然ルニ小作人中ノ數名ハ全農組合長沼南支部ノ幹部ニシテ本爭議ニ依リ組合ノ擴張化ヲ計劃シ居リタルヲ以テ地主代理人ノ小作料請求ニ出張方ノ通知ヲ受クルヤ幹部等ハ急遽減額要求書ニ各小作人ノ調印ヲ纏ムルコトヲ始メントシ爾後ノ各種ノ對抗策ニ付キ謀議スル處アリタルヲ聞キ地主代理人ハ憤慨退村シ地主ト打合ノ上強硬ナル態度ニ出デントシ事態漸ク急ナラントスルヤ偶々四月十六日共產黨事件ニ際シ小作人幹部ノ檢束ニ遇ヒ小作人側ノ氣勢著シク殺ガレタリ

(一) 調停ノ經過

五月十二日以來小作官ハ三回ノ調停ヲ試ミ一度妥協成立ヲ見ルニ至レルガ爾後小作人中ニハ妥協ヲ見タル調停小作料(從來五斗三升ナリシヲ五斗トシタルヲ)ハ尙高率ナルヲ以テ更ニ反當五升ノ減額ヲ要求スベシト主張シ契約書ニ調印セザル者アルガ如キ狀況ナリシヲ以テ小作官ハ更ニ九月十一日爭議地ニ至リ實地踏査ノ上十三日當事者ヲ招致シ調停ノ結果次項ノ如キ結末ヲ見ルニ至レリ

(二) 結 末

調 停 條 項

- 一 小作料契約期間ハ昭和四年ヨリ向フ三年
- 二 小作料反當玄米五斗但シ宅地ハ反當玄米一斗五升
- 三 小作料ノ納期及支拂場所 毎年十一月三十日 長沼村市街地某宅
- 四 小作料ノ品質 小作地生産ノ上等玄米トス
- 五 昭和二年及三年度未納小作料ノ半額ハ地主ニ於テ之ヲ免除シ殘額ヲ昭和四年十一月三十日迄ニ支拂フコト
- 尙前記兩年度共完納シタル者ニ對シテハ右ト同一ノ割合ヲ以テ割戻米ヲ地主ヨリ交付スルコト
- 六 昭和二年及三年ノ宅地未納小作料トシテ反當玄米二斗五升ノ割合ヲ以テ昭和四年十一月三十日迄地主ニ支拂フコト
- 七 地主ハ其ノ費用ヲ以テ昭和四年中ニ小作人立會ノ上小作地ヲ實測シ之ヲ昭和五年ヨリ小作料ノ計算ニ應用スルコト
- 八 地主小作人間ニ取交スベキ小作契約書ハ道廳小作官ノ作成ニヨルコト(別記ノ通り)
- 九 本調停ニ效力ヲ附スル爲メ地主小作人合意ノ上札幌地方裁判所ニ對シ小作調停ノ申立ヲナスコト

某農場小作契約證書



地主某ヲ甲トシ小作某ヲ乙トシ當事者間ニ於テ左記條項ニ依リ本契約ヲ締結ス

一 甲ハ末尾記載ノ土地ヲ昭和四年四月一日ヨリ昭和七年三月三十一日迄滿三年間小作地トシテ乙ニ賃貸ス 但シ當事者合意ノ上其ノ期間ヲ更新スルコトヲ得

二 小作米ハ小作地生産ノ上等米ヲ以テ毎年十一月三十日限り長沼村市街某宅ニ於テ納入スルモノトス但シ甲ノ便宜ノ爲メ納入場所ヲ變更シ従前ノ場所ヨリ遠隔トナリ又ハ運搬困難トナリタル場合ハ甲ハ乙ニ對シ之ニ相當スル運搬費ヲ支拂フモノトス

三 契約期間中甲又ハ乙ノ一方ヨリ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ求メムトスル場合ハ其ノ土地ニ作付スベキ時期ノ少クモ六月前ニ其ノ旨相手方ニ通知スルコトヲ要ス

四 甲ハ乙ノ同意ヲ得ズシテ契約期間内ニ本契約ヲ解除スルコトヲ得ズ 但シ

(第一) 乙ノ行爲ガ左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ甲ハ直ニ本契約ヲ解除シ小作地ノ返還ヲ求ムルコトヲ得

(一) 信義ニ反シ故意ニ小作料ヲ滯納シ又ハ滯納セムトスルトキ

(二) 當該年度ノ小作料ヲ六ヶ月以上滯納シタルトキ

(三) 引續キ二年ニ亘リ各年ノ滯納小作料ノ總額ガ一年分ノ小作料ノ半額ニ達シタルトキ

(四) 耕種肥培及ビ土地ノ管理ニ於テ其ノ當ヲ欠キタルトキ又ハ土地ヲ目的以外ニ利用シタルトキ

(五) 甲ノ同意ヲ得ズシテ小作權ヲ讓渡シ又ハ小作地ヲ他人ニ轉貸シタルトキ

(第二) 甲ハ小作料一年分ニ相當スル金額ヲ補償金トシテ乙ニ對シ支拂フ場合ハ自己ノ都合ニヨリ本契約ヲ解除シテ小作地ノ返還ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ補償金ハ土地返還ノ日ニ於ケル小作米ノ時價ニ依リ換算ス

五 乙ガ天災其ノ他不可抗力ニ依リ小作料ノ減免ヲ求メムトスル場合ハ立毛刈取ノ少クモ二週間前ニ甲ニ申出ヲ爲スコト

前項ノ申出アリタル場合ハ當事者立會ノ上誠實ニ檢見シ小作料ノ協定ヲ爲スベク若シ協定成立セザル場合ハ坪刈ヲ行ヒ其ノ作柄ガ普通平年作以下ナル場合ニ限り其ノ實收量ト平年收量トノ差額ノ二分ノ一ヲ減免スルモノトス其ノ平年作柄ニ付争アル場合ハ北海道廳小作官又ハ北海道廳小作官ノ指定スル者ノ認定ヲ受クベシ其ノ認定ニ對シテハ當事者ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ザルモノトス

六 乙ガ前項ノ手續ヲ履行セズ任意ニ立毛刈取リタル場合ハ如何ナル理由アルモ小作料ノ減免ヲナサルモノトス

甲ガ乙ヨリ申出アルニ拘ラズ正當ノ理由ナクシテ其ノ檢見ニ立會ハズ又ハ坪刈ノ方法ニ付協定成立



セザル場合ハ乙ハ北海道廳小作官ニ其ノ旨申出デ檢見ヲ受ケ小作料ノ決定ヲ求ムルコトヲ得其ノ決定ニ對シテハ甲ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ザルモノトス

七 甲ガ小作地ヲ賣却セムトスル場合ハ乙ニ豫告スルコトヲ要ス乙ニ於テ其ノ土地ヲ購買スルノ希望アルトキハ先買權ヲ與フルモノトス

右契約ヲ確守スル爲メ本書ニ通ヲ作成シ記名調印ノ上各自一通ヲ所持スルモノ也

昭和四年九月 日

郡

町

地主

番地

印

夕張郡長沼村

番地

小作者

印

土地及小作料表示

町村大字番地	地目	反別	反當小作料	契約小作料額
水田	地	反	玄米五斗(某種ニ限リ四斗七升)	
宅地	地	反	玄米一斗五升	

二 青森縣上北郡横濱村大字泊川 (國有地拂下)

爭議發生 昭和四年十一月十日

調停着手 昭和五年一月十五日

解 決 昭和五年二月二十八日

關係人員 地主 國有 小作人 四十二人

關係土地 田 二十七町步 原野 十七町步

(一) 爭議ノ概況

擊爭土地ハ元陸軍々馬補充部ノ軍馬育成放牧地ノ一部ニシテ大正六年度中本件關係小作人等ハ陸軍々馬補充部ト契約シ賃借料反當一ヶ年金一圓三十錢ニテ借受ケ原野ヲ開墾シテ水田ト爲シ以來小作シ來レリ然ルニ陸軍ハ大正十三年軍備縮少ノ結果軍馬補充部モ縮少スル事トナリ該土地ニテ軍馬ノ育成ハ廢止スル事トナリ次デ大藏省ニ移管スル事ト決シ其ノ管理ハ野邊地稅務署長ノ司ル所トナリ今日ニ及ベリ、然ル處大藏省ハ昭和四年十一月ニ至リ該土地ヲ民間ニ拂下グル事ト決シ管理者タル野邊地稅務署長ハ一般關係小作人ニ通告スルト共ニ小作人ニ於テ之ヲ買取様態憑セリ其ノ際ニ稅務署長ノ發表セル拂下條件ハ左ノ如シ

- 一 拂下ゲ價格ハ水田一反步甲地金四十二圓、乙地金三十七圓、丙地金三十二圓、丁地金二十七圓



原野一反歩金十二圓トス

二 代金ハ昭和五年三月二十日迄ニ支拂フベシ

右ニ對シ小作人等ハ貧困者多ク買取資金ニ乏シク今俄ニ之ヲ買取ル資力ナキ事ト一面ニハ其ノ小作契約ハ特別ノ縁故關係ヲ有スルヲ以テ價格モ原野同様ノモノトセラレ度シト主張シ數回交渉ヲ重ネタルモ協調成立セズ十二月中ニハ村長、助役等其ノ間ニ介在シ折衝ヲ爲シタレドモ妥協スルニ至ラズ其ノ後小作人等ハ益々團結ヲ固メ一月上旬ニハ次ノ如キ陳情書ヲ作成調印ヲ終リ大藏省ニ陳情セントスルニ至レリ

陳情書

今般拙者共借用ニ係ル雜種地(元軍馬用地)御拂下ノ趣御内示相成候處元來當地方ハ耕地尠ナク爲メニ食糧ノ需給相伴ハズ我々ノ生活窮乏ノ折柄當局ニ於テハ國家食糧ノ政策ノ見地上ヨリ前記土地ヲ只ニ牧場地トシテ放置スルハ無爲ナリトシ之レガ開墾ヲ大イニ獎勵セラレタルニ依リ軍馬補充部ニ於テ必要アルトキハ何時タリトモ人夫ヲ供給スル約束ノ元ニ之ヲ借用シ大正六年ヨリ徐々ニ開墾ヲ爲シタルモノニ有之候當時該箇所ハ牛馬ハ勿論人間モ步行相成難キ小柴草生濕地ニシテ之レガ開拓ニハ全力ヲ注ギ或ハ麥ヲ食ヒ或ハ馬鈴薯ヲ食ヒ心身共ニ他ニ比類ナキ九折苦闘ヲ重ネ今日ニ至リ漸ク田ノ形ヲ爲シ得タル實情ニ有之今將ニ幾部分ノ成功ノ域ニ達セントスル秋ニ當リ相當時價ヲ以

テ御拂下相成候段誠ニ喜バシキ事ニ存候然ルニ今ヤ米價ノ低落ハ其ノ極ニ達シ目下我々農民ハ生活ノ窮境ニ陥リ殆ンド其ノ維持ニモ行詰リヲ生ジタル場合此ノ拂下代金ヲ納付スルコトノ難易ハ衆人ノ異口同音ナルトコロ蓋シ借地料納入ニモ差支フル今日如何トモ致難ク去レバトテ今日迄ノ苦心ノ結晶ヲ捨テ去ランカ失業生活難ハ目前ニ迫リ其ノ將來タルヤ實ニ暗愴タルモノニ有之候何卒右事情御賢察ノ上開墾地ヲ原野ノ價格ヲ以テ御拂下相成ト共ニ代金ハ年賦納入ノコトニ特別ノ御詮議相仰度此段關係者一同連署謹ンデ陳情候也

昭和 年 月 日

小作人連名

斯クテ一月十八日ハ最後ノ交渉日ト爲リタレドモ村長ハ妥協ノ見込ナキ爲メ交渉不調ノ際ニ於ケル小作人ノ態度ニ不安ノ念ヲ抱キ其ノ圓滿解決ニハ縣ノ調停係官ノ調停ヲ仰グニ如カズトシ一月十四日縣ニ出頭シ事情ヲ陳ベテ調停ヲ依頼セリ

(二) 調停ノ經過

小作官補ハ昭和五年一月十五日野邊地稅務署長ヲ訪問シ其ノ意嚮ヲ質シタル處署長モ調停ヲ希望スルト共ニ最後ノ讓歩點トシテ左ノ如ク拂下ゲ條件ヲ提示セリ

- 一 水田一反歩ノ拂下價格ハ平均金三十一圓 原野ハ金十二圓



二 代金支拂方法ハ年賦償還トシテモ差支ナシ

次デ小作官補ハ同村ニ至リ村長、助役ニ會見シ更ニ關係小作人ヲ集メ協議ヲ重ネタル處其ノ主張ハ

一 拂下價格ハ水田一反歩平均金二十圓トセラレタシ

二 代金支拂方法ハ三ケ年ノ年賦償還トセラレタシ

三 該資金ニハ縣ノ自作農創設資金ノ借リ受ケニ據リタシ

ト言フニアリタルモ徹宵協議ノ結果小作人ハ讓歩シ引續キ十六日小作官補、同村收入役ハ野邊地警察署長立會ノ上、稅務署長及主任屬並ニ小作人代表者五名ノ間ニ立チ双方折衝ノ結果左ノ調停條項案ニ賛成シ同日午後三時散會セリ

調停條項案

一 關係土地ノ賣買價格ハ左ノ通決定ス

水田 平均一反歩 金三十一圓

原野 同 金十二圓

二 右買受代金ノ支拂方法ハ左ノ通リトス

(一) 各小作人ヨリ自作農創設資金借受ケ申請ヲ爲シ該資金ニ依リ支拂ヲナス其ノ年限ハ三ケ年以内トス

(二) 右ノ方法ヲ大藏省ニテ不許可ノ場合又ハ該資金借受不能ノ場合ハ地方銀行ヨリ共同借受ケヲ

ナシ三ケ年以内年賦償還ノ方法ニヨリ買受クルモノトス

(三) 自己ノ餘力アル小作人ハ其ノ資金ニヨリテ買受クルモノトス

三 第一項ノ賣買價格ニ基キ小作人ハ該土地拂下ゲ願書ヲ稅務署長ニ提出スルコト

(三) 結 末

稅務署長ハ前記調停條項ニ基キ上司ニ伺書ヲ提出セル處二月五日ニ仙臺稅務監督局ヨリ

一 年賦ハ許サズ

二 若シ年賦ニ依ル時ハ擔保品トシテ國庫債券ヲ提出スベシ而シテ利息ヲ年五分支拂フベシ

三 拂下ゲ許可ト同時ニ其ノ代金ノ二分ノ一ヲ納付スベシ殘ハ六年二月末日ニ支拂フコト

四 即納ノ場合ハ第三項ニ依ル金利ヲ總額ノ内ヨリ減ズベシ

ノ通知アリテ稅務署長ハ大イニ驚キ小作官補ノ再度調停ヲ依頼シ來レリ

二月八日小作官補ハ稅務署長ト會見シ種々協議ノ結果稅務署長ハ更ニ上司ニ伺ヒヲ立テ越テ二月二十八日ニ至リ小作官補ハ双方ヲ集メ交渉ヲ重ネタル結果左記調停條項ニテ圓滿解決スル事トナリタリ

調停條項

一 關係土地ノ拂下ゲ價格ハ左ノ通リトス



水田 平均一反步 金二十七圓  
原野 一反步 金十二圓

二 小作人ガ右拂下ゲ代金ヲ支拂フ方法ハ左ノ通リトス

(一) 總額ノ二分ノ一ハ昭和五年四月末日限り現金ヲ以テ支拂フコト

(二) 殘二分ノ一ニ對シテハ各小作人ヨリ自作農創設資金借受ケ申請ヲ爲シ該資金ニ依リ支拂ヲナス資金交付迄ハ無利息据置トス

(三) 昭和六年三月末日迄ニ前記自作農創設資金借受ケ不能ニ終リシモノハ其ノ際現金ヲ以テ支拂フコト

三 秋田縣仙北郡金澤町字中野

(小作料一時的減額  
小作契約繼續)

爭議發生 昭和四年一月

調停着手 昭和四年八月二十八日

解決 昭和四年十一月廿五日

關係人員 地主 一人 小作人 一人

關係土地 田 四反六畝三步 畑 一畝九步

(一) 爭議ノ概況

係争地ハ金澤町中野部落有地ニシテ同部落ハ耕地十五町八反六畝二十四步ヲ所有シ部落民三十三名ニ對シ之ヲ賃貸小作セシメ居リタル所右係争小作人ハ農民組合ニ加入シ昭和三年度小作料四斗五合入十俵九升九合ノ内早魃被害ヲ理由トシテ七俵ヲ納付シ爾餘ノ毛引ヲ懇願セリ然ルニ公有地爭議ノ特色トシテ部落決議ヲ理由トシテ小作人ノ要求ヲ峻拒スルト共ニ農民組合ノ潰滅ヲ目的トシ係争地ノ小作權ヲ土地會社ニ轉ジ會社ヲシテ小作人ニ對シ未納小作料ノ請求土地返還ノ交渉ニ當ラシメ爭議ハ會社對組合ノ問題トナリ爭議範圍ノ限小ナルニ拘ラズ双方執拗ニ對抗中、昭和四年五月中、會社ハ小作人ノ苗代ニ土砂ヲ投棄シ小作人ガ尙土地返還ニ應ゼザル中、同年七月中小作人耕作中ノ約三畝歩ノ青田立稻ノ刈取ヲナシ續テ八月六、七兩日將ニ出穂期ニアル係争地全部ノ立毛ヲ刈取リタル結果小作人ハ會社員、同傭人二名ヲ告發シ農民組合ハ部落會社ノ暴舉ヲ社會ニ訴ヘ一時輿論ノ中心トナリタルガ八月十九日農民組合長ハ小作官ニ對シ法外調停ヲ申出デタリ、當時事件ハ刑事問題トシテ檢事局ニ繫屬シ又公有財産管理上縣地方課ハ同事件ニ關與セルヲ以テ小作官ハ暫ク機會ヲ待チタル後八月二十八日調停ニ着手シタリ

(二) 調停ノ經過

農民組合ハ一方縣會議長某氏ニモ調停ヲ依頼シタルヲ以テ小作官ハ之ト協議ヲ重ネ八月廿八日ヨリ三十日マデ引續キ調停ニ當リタルモ部落ノ意嚮ハ依然強硬ニシテ會社ハ未納小作料ノ即納、事件經費



二百圓ヲ要求シ旁ラ小作人ガ農民組合ヲ脱退シ會社ノ轉貸小作人トナルニ於テハ穩便ノ處置ニ出ヅベキ旨ヲ以テ小作人ニ臨ミタルモ事件ハ前述ノ如ク會社對組合ノ抗爭ナルヲ以テ本件ノ解決ハ當事者ノ背後ニアル會社及ビ組合ヲ表面上關與セシメザルヲ必要トセリ、數次交渉ノ結果漸ク妥協成リ九月十日左記條件ヲ以テ協定成立セリ

(三) 結

末

金澤町中野區有地小作問題ニ關スル協定書

本件ハ小作人高橋某ガ東北農民組合ニ加入シ地主中野區ニ對シ支拂フベキ昭和三年度小作料ヲ完納セザルニヨリ中野區ハ本件田地ヲ秋田勸農會社ニ賃貸シ事態今日ニ至リタルガ東北農民組合長澤田某及秋田勸農合資會社村上某外一名ハ本件ノ圓滿ナル解決ヲ希望シ中野區ト某氏トノ小作關係ヲ復歸スルタメ左記各項ヲ協定シ本件解決ヲ調停者片野某小作官兩氏ニ一任ス

記

- 一 農民組合長ハ小作人高橋某ガ東北農民組合ヲ脱退シ本件ニ付キ同人ガ大曲檢事局ニ提起セル告訴取下ヲ同意且勸告スルコト
- 二 秋田勸農合資會社ハ中野區ト締結セル賃貸借契約ヲ遲滯ナク解除スルコト
- 三 本件ノ調停經過竝ニ結果ハ調停者ニ於テ發表スル外農民組合及勸農合資會社ハ各個ニ新聞等ニ發

表セズ

昭和四年九月十日

東北農民組合長	澤田某
秋田勸農合資會社代表社員	伊藤某
同	村上某
	秋田縣小作官
	片野某

然ルニ其後會社ハ小作人ニ對シ爭議費用ヲ強制シ事件ハ再ビ紛糾ノ兆アリタルガ同年十一月二十五日地元河村某ノ斡旋ニヨリ小作人ヨリ會社宛百十圓十錢、部落財産管理者タル金澤町長宛百五十五圓四十四錢ノ借用證ヲ差入小作人ガ該債權ノ請求ヲ受ケタルトキハ調停者河村某ニ於テ支拂フベキ旨ノ覺書ヲ調停者ヨリ小作人ニ交付シ之ニ依テ會社及部落ノ名目ヲ立テ前記協定書ノ趣旨ニヨリ會社ハ小作權ヲ放棄シ該田地ヲ小作人ノ直小作トシ未納米三俵ハ年賦辨濟ノ形式ヲ取リタルニ事實部落ハ該債權ヲ放棄シ事件ノ落着ヲ見タリ

四 山形縣山形市上町

(所有權移轉ニ因ル小作人名義變更、一部小作契約繼續)

爭議發生 昭和四年一月十日

調停着手 昭和四年一月廿二日



解 決 昭和四年三月三十一日

關係人員 地主 一人 小作人 二人

關係土地 田 三反三畝廿四步

(一) 爭議ノ概況

右土地ハ加藤某ノ所有ナリシ處財産整理ノ爲賣却スルノ餘儀ナキニ至レリ然ルニ從來ノ小作人ハ之ヲ買取り得ザルヲ以テ大地主福島某(縣會議員)ノ支配人某ハ右ノ田ハ其ノ住宅ノ隣接地ニシテ平素購入ヲ望ミ居リシ處ナリシモ是亦俄ニ購入スル資力ナキヲ以テ福島某ニ依頼シ當分購入シ置カレタキ様願入レ其ノ承諾ヲ得買取り貰ヒタルモノナリ

從テ支配人某ハ昭和四年ヨリ小作ノ目的ニテ耕作ニ着手セリ、然ルニ從來ノ小作人逸見某モ十數年來小作シ來リシモノニシテ住宅ヨリ遠カラズ之ヲ手離シ難キタメ新小作人ノ耕作ヲ妨ゲ自ラ一部ノ耕作ヲ爲セリ、右ノ如クニシテ結局新舊小作人ノ小作地爭奪トナリ其ノ間市會議員選舉期日前トテ種々ノ策動者ノ介入ヲ見益紛糾ヲ來シ地主ハ止ムナシト稱シテ法廷戰ニ出デントスルニ至リタルモノナリ

(二) 調停ノ經過

右ノ如クニシテ紛糾ヲ重スルニ於テハ新舊小作人双方ノ不利益ナルヲ以テ山形市農會ニ於テハ其ノ調停ヲ小作官ニ申込ミ來レリ之ニヨリ小作官ハ市農會副會長ト共ニ法外調停ヲ爲スコト、シ一月二十

二日第一回ノ會合ヲ市役所ニ於テ行ヘリ

然ルニ舊小作人ハ飽迄小作ノ繼續ヲ望ミ其ノ後援者(當時市議候補者現市議)等亦絶對ニ返還ヲ認メズ、新小作人亦名義ハ福島某ノ所有ナルモ事實ハ自己ノ所有ナルヲ以テ斷ジテ他ニ小作セシムル能ハズト唱ヘ數回ノ會合ヲ重ネタルモ解決ヲ見ルニ至ラズ

茲ニ於テ調停者ハ地主福島某ト懇談ヲ遂ゲ緩和ニ努メタルモ小作側ニ於テハ地主及新小作人ノ惡評ヲ新聞紙上ニ發表スル等挑戰的ノ態度ニ出デタルヲ以テ小事件ナガラ意外ニ紛糾シ來リ數回ノ調停ヲ重ネ三月三十一日ニ至リ漸ク解決ヲ見タリ

(三) 結 末

調停ノ結果約半分ヅ、小作スルコト、シテ解決シタルモ舊小作人ハ其ノ際何等ノ申立テナカリシ肥料溜ノ處分ニテ再度ノ要求ヲ持出シ之ガ爲田ノ分配折合ヒツカズ双方耕作ニ着手サレザリシガ結局右肥溜ハ新小作人ニ於テ金二十五圓ニテ買受クルコト、シ舊小作人モ始メテ釋然タルニ至リ縣廳ニ於テ双方立會ヒ水口ノ關係ヲ考慮シテ田ノ分配ヲ定メ之ニ依リテ双方ノ小作料ヲ決定シ最後ノ解決ヲ見ルニ至レリ其ノ調停條項左ノ如シ

調 停 條 項

南村山郡南沼原村坪沼某ヲ甲トシ山形市上町逸見某ヲ乙トシ左ノ申合セヲ爲ス



- 一 從來乙ニ於テ小作セル加藤某所有ノ左記ノ田地此度福島某ノ所有トナリタルニ伴ヒ之ヲ甲ニ於テ小作スベキ所甲ハ乙ノ事情ヲ諒シ其ノ一部ヲ福島某ヨリ乙ニ小作セシムル様取計フコトヲ約諾ス
  - 二 乙ニ於テ小作スベキ田地ハ小作地中約半トシ其ノ小作料ハ反別ニ應ジ按分シテ定ムルコト
  - 三 小作期限ハ昭和四年度ヨリ同九年度迄六ケ年間トシ期限滿了ノ節ハ乙ハ何等異議ナク之ヲ土地所有者ニ返還スルコト
  - 四 甲ハ小作地ニ對スル乙ノ土地改良其ノ他ノ費用トシテ金二十圓ヲ昭和四年四月末日迄ニ乙ニ交付スルコト
  - 五 甲ハ今後福島某所有地ノ小作人ニ異動ヲ生ジタル際ハ出來得ル限リ右小作地ノ換地ヲ乙ニ提供スル様取計フコト
- 乙ノ承諾スル換地ヲ生ジタルトキハ乙ハ右小作期間内ト雖右小作地ヲ異議ナク返還スルコト(土地表示略)

五 福島縣東白川郡石井村大字戸塚 (小作料増額中止)

爭議發生 昭和四年十月十五日  
 調停着手 昭和四年十二月二日  
 解 決 昭和四年十二月九日

關係人員 地主 四人 小作人 五十六人  
 關係土地 田 二十八町步 畑 十一町步

(一) 爭議ノ概況

地主側ハ小作契約更新ヲ機會ニ耕地整理ノ結果土地ノ區劃完成シ且交通ノ便備リタルヲ理由ニ土地ノ等級ヲ任意ニ改訂シ且一等地ノ小作料ヲ五割、二等地ノ小作料ヲ六割六分、三等地ノ小作料十割ノ値上ヲ要求シ之ニ應ゼザル者ニ對シテハ返地ヲ要求シタリ、然ルニ小作人ハ小作料高率生活困難ヲ理由ニ之ニ反對シ十二月一日小作人組合ヲ設立シ委員ヲ舉ゲテ團體交渉ヲ爲シタレドモ妥協成立セズ元來本紛争地ハ地主ノ勢力強大ニシテ返地要求ヲ恐レ且競争小作ノ結果小作料比較的高率ニシテ小作人ノ生活困難ナルモノアリ反動的ニ地主ニ對抗スルニ至レルモノナリ

(二) 調停ノ經過

小作料ノ値上ハ寧ロ地方一般ノ小作料ニ惡影響ヲ及ボスヲ以テ主トシテ地主ノ覺醒ヲ促スニ努メタルモ地主ハ工費負擔並納稅ノ増加ヲ理由ニ之ニ應ゼズ其ノ後小作人ノ結束益々強固ヲ加ヘ十二月四日小作人等ハ左記要求ヲ地主ニ提出シ交渉ヲ重ヌルニ至レリ

(イ) 小作人組合ヲ作り公平ナル小作料ノ決定ヲ爲シ小作米ノ品質ヲ改良シ小作米未納者ニ對スル處置ハ組合ニ於テ之ヲ行ヒ地主ニ損害ヲ及ボサザルコト



- (ロ) 畑ノ小作料ハ一等地大豆二俵、二等地一俵半、三等地一俵トスルコト
- (ハ) 田ノ小作料ニ對シ從來徴收シツ、アリシ反當糶一斗ノ工事費補助ハ之ヲ撤廢スルコト但シ小作料二割五分ノ永久減額ヲセラレタキコト
- (ニ) 大豆、粳等金納ノ際ハ時價ニ換算シ目方ハ大豆一俵十五貫二百匁、粳正味四斗八十一貫匁以上トスルコト

而シテ右要求ニ對シテハ地主側ハ徒ニ回答ヲ延引シテ紛糾ヲ來シツ、アリ村內有志大森某其ノ他種々調停斡旋スル所アリ遂ニ地主ノ讓歩ヲ促シ十二月九日妥協成立スルニ至レリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 第三耕地整理施行地區内ノ小作料ハ値上セズ小作料ハ地主小作人立會ノ上公平ニ定ムルコト
- 二 電氣揚水機設置費補助反當糶一斗ハ本年度ヨリ之ヲ支給セザルコト
- 三 水田小作料二割五分ノ永久減額ハ本年度ヨリ標準田ヲ設置シ其ノ收穫高ノ半額ヲ以テ小作料ト定ムルコト

六 茨城縣稻敷郡本新島村大字八筋川 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年十一月十五日

調停着手 昭和四年十二月五日

解 決 昭和四年十二月七日

關係人員 地主 四人 小作人 二十八人

關係土地 田 二十町步

(一) 爭議ノ概況

(イ) 本地方ハ小作人純朴ニシテ從來殆ンド地主ノ意ノ儘ニ左右サルル状態ニアリシモ偶々隣大字西代ニ農民組合設立セラレ地主ノ從來ノ態度ニ對シ對抗スルヲ見受ケ本字小作人モ之ニ共鳴シ組合ヲ設立シ昭和三年度初メテ小作料ノ減免要求ヲ爲シ地主側ハ直ニ其ノ要求ニ應ジ解決セリ

(ロ) 而シテ昭和四年度モ稻作一部被害ヲ蒙リタル箇所アリタル理由ヲ以テ十一月初旬組合總會ニ於テ水田小作料減免ニ關シ協議會ヲ開キ平均二割減ノ要求ヲ爲スコト、ナリ小作人側ハ十一月十七日二名乃至三名宛一組トナリ手分けシテ各地主ヲ訪問シ小作料ノ相當減免方ヲ懇願セシモ地主側ハ昨年度減免ヲ行ヒ亦本年度被害少キニ拘ラズ減免要求ヲ爲スヲ快トセズ考慮スベキコトヲ述べタルノミナリキ

其ノ後小作人ハ更ニ十一月廿七日ニ至リ隣村鹿島村地主内田某(關係面積三町步)ヲ訪ヒ折衝ノ結果收穫ノ狀況ニヨリ一割乃至二割平均一割五分ニテ解決セリ其ノ後其ノ他ノ地主モ右地主ニ倣ヒ何



レモ解決セリ

五二〇

(ハ) 然ルニ銚子町在住地主田邊某(關係面積十町歩小作人十五名)ハ最初小作人代表二名ノ減免要求ニ對シ凶作ト認メザル故絶對ニ減免ニハ應ズル能ハズト拒絕セリ、而シテ小作人側ハ再ビ十一月廿四日右地主田邊ニ對シ再度交渉セルモ小作人組合ノ代表ヲ認ムル能ハズト交渉ニ應ゼズ右小作人代表歸村後十一月廿八日地主田邊ハ内容證明郵便ヲ以テ小作料額ヲ十二月五日迄ニ八筋川出張事務所ニ納付スベキコトヲ小作人等ニ通告シ來レリ

依テ小作人側ハ右地主田邊ハ到底他ノ地主ノ如ク小作人ノミノ交渉ニテハ減免要求ニ應ゼザルベキヲ慮リ縣小作官ニ調停方申込タリ

### (二) 調停ノ經過

小作人側ヨリ書面ヲ以テ調停方申請アタルヲ以テ縣小作官ハ十二月五日、六日、七日ノ三日間當字ニ出張シ折柄銚子町ヨリ來合セ居ル地主田邊某ト會合シタリシモ地主ハ小作人ガ組合ニヨリ減免要求ヲ爲スコトヲ不當ナリトシ飽迄減免ニ應ズル意志ナカリシモ一般ニ本年度ハ被害アリ他ノ關係地主ガ一割乃至二割方減免セルヲ説キタル結果二日目ニ至リ漸ク小作米一俵ニ付一升ヲ減免スルコトニ讓歩シ小作人側ハ最初一俵ニ付四升減ヲ主張シタリシモ到底地主側ノ應ゼザルヲ見一俵ニ付二升五合迄讓歩セリ

越テ十二月七日調停第三日目ニ至リ地主側ハ小作料小作米一俵ニ付一升五合小作人側ハ小作米一俵ニ付二升迄讓歩スルニ至リタルモ地主側ニ於テハ小作米二升ヲ減免スルニ於テハ恰モ組合設立ニヨリ平均五分減免ノ要求ヲ容レタルコト、ナリ組合設立ニヨリ一割トカ五分トカ明瞭ナル割合ヲ以テ減免スルコトヲ欲セザリシヲ以テ更ニ小作官ハ地主及小作人ノ主張ノ差ハ一俵ニ付僅カ五合ノ差ニシテ小作納入米總數ヲ百俵ト見做シ一俵ニ付五合トセバ僅カ五斗ノ差即チ金額トセバ僅カ十圓ノ差ニ相當スベキヲ以テ右十圓ニ相當スル穀物ヲ穀物検査ノ五等米ト六等米トノ差額ハ一俵ニ付一圓ノ格差(賣却シテ五等米一圓高)アルヲ以テ小作納入米ヲ普通検査五等米ヲ納入スルヲ常トスル故右小作納入米中ニ六等米十俵(格差計十圓ニ當ル)ヲ混入スルコトニヨリ兩者ノ主張ヲ傷ケザルコトヲ示シ兩者ノ妥協成立シ小作人ハ翌十二月八日全部組合ニ於テ小作料取立ヲ爲シ十二月十五日船積トシテ納入ヲ了セリ

### (三) 結 末

#### 調 停 條 項

- 一 小作料一俵ニ付一升五合宛ノ減免ヲ爲スコト
- 二 小作米ハ米穀検査五等米トスルコト但シ小作組合ヨリ納付スル小作米約百餘俵中十俵ニ限リ六等米ヲ混入スルモ差支ナキコト

五二一



三 小作米ハ全部早納スルコト

七 栃木縣足利郡葉鹿町 (小作料改定)

爭議發生 昭和三年十二月二十五日

調停着手 昭和三年十二月二十七日

解決 昭和四年一月十三日

關係人員 地主 十五人 小作人 五十人

關係土地 田 二十五町步

(一) 爭議ノ概況

本町ニ於ケル契約小作料ハ割合高額ナルタメ小作人組合ハ毎年小作料減額運動ヲ繼續シ昭和元年度ハ一時的二割乃至五割、昭和二年度ハ永久一割減額ヲ受ケ昭和三年度モ小作料ノ高率及灌漑水不足ニ依ル植付遅延ヲ理由トシ一時的の小作料三割乃至四割減額ヲ昭和三年十二月二十五日地主側ニ要求拒絶セラレタルタメ爭議ノ發生ヲ見ルニ至リタリ

(二) 調停ノ經過

縣小作官補ハ昭和三年十二月二十六日及同二十七日爭議地へ出張町長阿部某ト調停ノ方法ヲ打合せ本町ノ爭議ハ單ニ小作料ノ高率ニ依リ發生スルモノデナク各地主ニ依リ小作料ガ統一セラレザルニア

リトシ小作料ノ改定ヲ計畫シ地主小作人双方ニ了解ヲ得テ本町ノ小作料ヲ大體收穫高ノ二毛田ニアリテハ五割三分、一毛田ハ五割トシ關係地ノ等級ヲ左ノ通決定シ

種別	等級	數量	等級	數量
上田	一	一、四 <sup>石</sup>	二	一、三 <sup>石</sup>
中田	四	一、一	五	一、〇
下田	七	〇、八	八	〇、七
			九	〇、六

關係地ヲ一筆毎ニ從前ノ地價及賃貸價格其他水利耕作ノ便否等ヲ役場員ニ調査セシメ次回迄ニ右等級ニ編入シ調停案ヲ作成スルコト、シタリ

縣小作官補ハ更ニ昭和四年一月十一日ヨリ三日間同町役場へ出張右調停案ヲ双方ニ示シ異議アル者ニ對シテハ地主小作人ヲ個人々々ニ調停シ尙ホ不調ノ者ニ對シテハ等級へノ編入ヲ再調シ調停ノ處圓滿ニ解決セリ

(三) 結 末

右調停ノ結果ハ永久減額率最高ノモノハ二割七分ニ及ビタルモ小作料ヲ引上ゲタルモノハナク平均一割程度ノ減額ニ終リタリ

八 群馬縣新田郡世良田村大字

平塚 徳川

(國有地ニ於ケル小作料永久的減額)



爭議發生 昭和四年十二月十七日

調停着手 昭和五年二月四日

解 決 昭和五年五月一日

關係人員 地主 國有 轉貸人 世良田村

轉借人 二百三十人

關係土地 畑 二十九町九反歩

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ利根川河川敷地ニシテ國有地ニ屬シ本縣知事ノ管理スル所ナルガ嘗テ利根川河川ノ改修ニ際シ大字平塚及徳川ノ耕地ハ河川用地トシテ買收セラレタル結果耕地ニ不足ヲ來セシ爲大正元年世良田村ニ於テ前記河川敷地ヲ縣ヨリ借受ケ之ヲ平塚、徳川兩大字民ニ轉貸シ五ヶ年ヲ以テ一期限トナシ其料金ハ反當平塚八圓、徳川及平塚新田七圓ナリシモノナリ

然ルニ本件關係兩大字民ハ昭和四年度旱魃ニ依ル畑作一般ノ不作ヲ理由トシテ料金ノ一時的減額ヲ要求シ村當局ハ村會議員協議會ヲ開キテ同年度下半年期分ノ料金ニ付五割五分ノ減額ヲ爲ス事トシ昭和四年十一月二十三日解決ヲ見タルモノナルガ更ニ同年十二月十六日徳川及平塚區長ハ村長ニ對シ料金永久引下ノ陳情書ヲ提出シ前記兩大字ノ料金ハ隣接尾島町、澤野村ノ料金ニ比シ高率ナルヲ以テ之ヲ反當五圓六十錢即チ縣ノ占用料金三圓六十錢ニ村費收入二圓ヲ加算シタル額迄引下グベキモノナリ

ト主張セリ

而シテ翌十七日開會セラレタル村會ニ於テ河川敷地轉貸ノ契約ニ付村長ハ現状維持案ヲ提案シタルニ兩大字民ノ傍聽ニ參集スルモノ百餘名ニ達シ村當局ハ之ヲ五十名ニ制限シテ傍聽セシメタルガ如キ状態ニシテ問題ハ遂ニ議決ニ至ラズ延期トナリ議員ヲ三班ニ分チテ隣接地ノ實況ヲ調査スルコト、ナレリ

斯クシテ同月二十一日議員ハ新田郡尾島町、澤野村、邑樂郡大川村、佐波郡島村、埼玉縣中瀬村、男沼村、新會村ニ出張契約條件一切ヲ調査シ同月二十三日村役場ニ村會議員ノ協議會ヲ開キタルモ村會多數議員ハ現在ノ料金ハ甚ダ低率ナリ而シテ縣ノ料金ニ於テ六十錢ヲ増額セラレタルニ拘ラズ從前通ノ料金トナシ置クハ既ニ同大字民ノ爲メニ考慮セルモノナリ、尙隣接地トシテ兩大字側ノ上グル事例ハ特ニ低率ナルモノ、ミヲ上グルモノニシテ現ニ同大字隣地タル埼玉縣中瀬村ノ如キハ最高二十圓ヨリ三圓五十錢迄ニシテ普通ハ十圓位ナリ故ニ引下要求ハ其ノ實情ヲ知ル一般大字民ノ聲ニアラズ單ニ兩大字ヨリ出タル村會議員及區長ノ主張ニ過ギズトテ村當局ヲ懲慝シテ要求不承認ヲ主張セシメタルヲ以テ議論沸騰シテ決定ニ至ラズ、其後昭和五年一月十一日重ネテ村會議員協議會ヲ開キ村長ヨリ協議案ヲ提出シタルモ平塚、徳川ノ村會議員之ニ反對シテ議論トナリ村長ハ協議案ヲ撤回セリ斯クシテ解決ノ見込ナキニ至リ平塚、徳川兩大字民代表者八名ハ一月二十一日、二十二日ノ兩度縣廳ニ出頭



シテ小作官ニ實情ヲ陳述シテ調停方ヲ依頼シ知事宛ニ陳情書ヲ提出セリ依リテ小作官ハ地方課長ト協議ノ上一月二十九日同村長ヲ招致シテ意見ヲ求メタルニ村長ハ切ニ縣ノ調停ヲ懇請シタルヲ以テ小作官ハ二月四日調停ニ着手シタリ

(二) 調停ノ經過

小作官ハ縣地方課屬一名ト共ニ二月四日同村役場ニ出張シ村會議員全員ヲ招キ調停ヲ開始シタルニ關係大字代表者數名モ出席シ居リテ兩大字側議員ト多數側議員トノ間ニ激論起リ囂々タリシモ小作官ノ勸告ニ依リ無條件ヲ以テ其ノ解決ヲ小作官ニ一任スルコト、ナレリ

依リテ小作官ハ隣接町村ノ實情ヲ詳細ニ調査シ左記調停條項ヲ提示シタルニ多數側議員ハ之ニ同意シテ直ニ調停書ニ調印ヲ爲セルモ平塚、徳川側ノ議員及區長ハ調停條項ニ對シテハ一應之ニ同意シタルモ調停書ノ調印ニ付テハ一度兩大字一般部民ノ諒解ヲ求ムルノ要アリトテ明五日迄延期方ヲ主張セリ、而シテ二月六日兩大字區長ハ村役場ニ出頭シ村長ニ對シ調停條項ニハ異議ナキモ該土地ヲ世良田村ニ於テ借受期間中ハ永久ニ兩大字民ニ貸付スベキ契約書ヲ出サレ度シト申述タルニ村長ハ其要ナシトテ之ヲ拒絕シタリ、依リテ兩大字區長ハ更ニ有利ナル解決ヲ得ムトテ同村前村長タリシ者ニ調停ヲ依頼セルニ却テ不利ナル條件ノ提示ニ依リ不調トナリ、而シテ村會ハ反動的ニ大字徳川及平塚新田ハ七圓六十錢大字平塚ハ八圓六十錢ニ値上ノ正式決議ヲ爲セリ、斯クシテ兩大字側代表者ハ更ニ同地方

選出縣會議員二名ノ者ニ調停ヲ依頼セムトシタルニ該兩名ハ何レモ小作官ノ提示條項ヲ以テ適當案ナリトシテ之ニ依リ解決スベキ旨ヲ說カレタルヲ以テ三月十四日平塚、徳川民代表者ハ縣ニ出頭シテ小作官ノ提示セル調停書ニ調印スベキ旨申出タリ

依ッテ小作官ハ三月二十日同村ニ至リ全議員ノ會合ヲ求メタルモ多數ノ缺席者アリテ調停ヲ進捗スルヲ得ズ尙一般議員ノ意嚮ハ感情上平塚、徳川側ノ態度ヲ非難シテ絶對ニ之ニ應ゼザルノ意嚮ナリシヲ以テ小作官ハ村長ヲ通ジテ徐々ニ多數側議員ノ讓歩ヲ促シタルニ漸次小作官ノ提示案ニ應諾ノ意志ヲ生ズルニ至リタルヲ以テ小作官ハ五月一日更ニ同村ニ出張シテ調停ニ努メタル結果遂ニ兩者調停書ニ調印ヲ了シ圓滿ナル解決ヲ遂ゲタリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 占用地ハ大字平塚及徳川住民ニシテ其所有地一町步未滿ノ者ニ於テ耕作スルコト
- 二 轉貸料(占用料ヲ含ム)一反步當年額ハ左記ニ依ル事
  - (一) 大字徳川地先及平塚新田地先 金六圓
  - (二) 大字平塚地先 金七圓
- 三 轉貸料ハ毎年六月末日限り其年分ヲ世良田村ニ納入スルコト



四 世良田村内利根川堤防ノ雜草ノ刈拂ハ年二回大字德川並平塚住民ニ於テ擔當スルコト

九 埼玉縣大里郡長井村大字善ヶ島 (河川敷占用料改定)

爭議發生 昭和四年四月十三日

調停着手 昭和四年十月十日

解 決 昭和五年一月七日

關係人員 地主 國有 轉貸人 長井村 轉借人(小作人) 百三十七人

關係土地 利根川敷(畑) 十六町八反歩

(一) 爭議ノ概況

大里郡長井村ニ於テハ明治四十五年利根川改修當時内務省ニ買收セラレタル同村大字善ヶ島地内利根川右岸ノ内河川敷タル十六町八反歩餘ヲ管理廳タル埼玉縣ヨリ或ル條件ノ下ニ一ヶ年百六十七圓餘(反當九十九錢ノ割)ニテ借受ケ該土地ヲ同村大字善ヶ島ニ一ヶ年三百三十七圓餘(反當二圓ノ割)ヲ以テ轉貸シ縣ヘノ占用料百七十圓ヲ差引殘額百七十圓ハ村收入トシテ小學校増築基金ニ積立テ更ニ大字善ヶ島ニ於テハ住民ニ對シ總計五百九十四圓餘(反當三圓七十錢弱)ヲ以テ割附再轉貸シ村ヘノ占用料三百三十七圓餘ヲ差引タル殘額ハ大字收入トシテ徵收費、杭代、大字地内道路修繕費、消防、衛生、兵事費等ニ充當シタリ

然ルニ村ニ於テハ四月十一日村會ニテ財政ノ窮乏ニ伴フ財源枯渴ニ對スル一助トシテ右占用料ヲ三倍タル六圓ニ増額スベキコトヲ議決シ同字區長ヲ招致シテ新ナル賃貸契約書ニ調印スベキコトヲ要求シタルモ區長ハ一應區民一同ニ諮ルベキ要アリトシテ之ヲ拒ミ區民ヲ召集シテ之ヲ諮リタルニ何レモ小作料(占用料)増額ハ絶對反對ナリトシ從前ノ小作料ニテ繼續貸與アリタキ旨ヲ議決シ之ガ代表者トシテ同字選出村議尾澤某外二名ヲ選定シ專ラ目的貫徹ニ努ムルコト、シ茲ニ村會ノ議決ハ執行困難ニ陥リ村當局(他字選出村議ノ大部分ヲ含ム)ト大字善ヶ島住民トノ間ニ著シキ疎隔ヲ生ズルニ至レリ

爾來兩者數回ノ折衝ヲ重ネタルモ兩者ノ主張一致セザリシヲ以テ村當局ハ村會ノ決議ヲ經テ之ヲ強要セントシ八月六日村會議員協議會ヲ開催シ更ニ八月八日村會ヲ開會シテ増額施行期日並河川敷地貸付及使用料處分規程ヲ提出シ善ヶ島派ノ反對アリシニモ拘ハラズ多數決ヲ以テ通過セシメタリ斯クテ小作人側タル善ヶ島區民ハ之ニ憤慨シ八月十四日小作料増額反對並村長排斥ノ區民大會ヲ開催シ其ノ決議ヲ稟ラレ村長ニ交渉シタルモ拒否スル處ナリシ爲九月一日ヨリ六日間ニ亘リ小學校兒童ノ盟休ヲ斷行シ且ツ同字選出ノ農業調査委員及消防組役員ハ連袂辭表ヲ提出スルニ至レリ村當局擁護派ニ於テモ之レニ對抗シテ九月七日村民大會ヲ開キ村會決議ノ實行及村長信賴ノ決議ヲ行ヒ以テ小作派ヲ屈服セシメントスル等自治ノ圓滿ヲ欠クニ至レルヲ慮リ隣接町村長ノ斡旋アリタルモ其ノ效ヲ奏セズ遂ニ



本問題ハ據テ黨争化シタル嫌ヲ生ゼシムルニ至リタリ

(一) 調停ノ經過

兩當事者ヨリ數回ノ陳情ヲ受ケタル小作官ハ隣接各町村ニ於ケル占用料其他ニ付詳細ナル調査ヲ遂ゲタル上十月十日ヨリ數回ニ亘リ村治ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニハ此際一切ノ感情ヲ抛擲シテ速ニ解決ノ方途ヲ講ズベキコトヲ論說スル處アリシモ各其ノ主張ヲ枉グズ殊ニ小作人側代表ハ十一月五日唐澤堀問題實地視察ノ爲來縣シタル齋藤内務政務次官ニ陳情書ヲ提出シ且ツ村長ハ八月十一日ノ村會々議録ヲ調製スルニ當リ虚偽ノ文書ヲ作成セリトテ浦和地方裁判所ニ村長ヲ告發セント企ツル等益々紛糾ヲ續ケツ、アリシガ同村善ケ島出身綾川某モ之レヲ憂ヒ小作官ト協力シテ善ケ島區民ノ態度緩和ニ努ムル處アリ爾來各種ノ手段方法ヲ講ジテ感情融和ヲ圖リ數回ノ折衝ヲ重ネタル後漸ク左記條件ニヨリ解決ヲ見ルニ至レリ

(三) 結 末

覺 書

長井村大字善ケ島地先利根川敷占用ニ關シ昨年來村當局對善ケ島區間ニ發生シタル紛議ニ對シ兩者相互ニ遺憾ノ意ヲ表シ將來村治ノ圓滿ヲ期スル爲メ茲ニ左記ノ條項ヲ協定ス

一 占用料ハ耕作地一反歩當リ平均一ケ年金四圓トシ村當局ハ改メテ村會ニ提案シ承認ヲ求ムルコト

二 占用料ハ爾今村役場ニ於テ徵收スルコト但シ徵收期ハ毎年七月十五日迄トス

三 善ケ島區ハ占用地委員三名ヲ選出シ占用料徵收其ノ他占用地ニ關スル問題ニ付村當局ト協力スルコト

四 前三項ハ昭和五年度ヨリ實行スルコト、シ占用地ニ關スル帳簿其ノ他一切ノ事務ヲ昭和五年一月三十日迄ニ善ケ島區ヨリ村當局ヘ之レガ引繼ギヲ行フコト

五 占用地處分規程ハ今占用期間之ガ施行ヲ延期シ次期ニ於テ左ノ趣旨ニ依ル條項ヲ追加修正スルコト

イ 占用地耕作ニ關シテハ善ケ島區民ノ優先權ヲ認ムルコト

ロ 占用地借受者ハ他町村民ニ轉貸セザルコト

ハ 占用料滯納其他ノ理由ニ依リ借受者ニ對シ占用地ノ返還ヲ求ムル場合ハ村當局善ケ島區民及占用地委員ト協議ノ上適當ノ措置ヲ講ズルコト

但シ右規程修正ノ場合ハ本縣小作官及綾川某ニ豫メ協議スルコト

本覺書正文二通ヲ作成シ一通ヲ村役場ニ一通ヲ善ケ島區ニ各自保管ス

昭和五年一月七日

長 井 村 長 江 森 某  
善ケ島代表區長 新 井 某



區長代理	綾川某
調停者	地方小作官 田山某
立會人	綾川某
	内田某
	外二十一名

一〇 千葉縣千葉郡蘇我町宮崎 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年十一月二十三日

調停着手 昭和五年一月十三日

解決 昭和五年一月廿七日

關係人員 地主 八人 小作人 二十六人

關係土地 田 十町八反一畝歩

(一) 爭議ノ概況

昭和四年度農作物ハ旱害、虫害ヲ蒙リ相當ノ減收アル見込ナリシモ刈取前ニ於テハ何等ノ要求ヲナスコトナクシテ經過セリ然ルニ實際刈取ヲ實行シタル所意外ノ減收ナリシヲ以テ五割減要求ヲナシタル所地主側ニ於テハ刈取後ノ減免要求ハ將來ニ惡例ヲ殘スモノトシテ之ヲ拒絕シタリ然ルニ區長其ノ

他有志ハ事ノ重大ナルニ鑑ミ圓滿解決ヲ希望シ種々兩者間ニ斡旋スル所アリシ所ニ割乃至三割ニテ解決セントセシモ調停者間ニ意見ノ相違ヲ來シ遂ニ解決ヲ見ルニ至ラズ

(二) 調停ノ經過

地主側及小作側ノ出縣ヲ求メ種々事情調査ヲナシ尙從來ノ調停者ノ意見ヲ徵セシ所解決ノ見込アリシヲ以テ現狀ノ調査其ノ他參考トナルベキ事項ノ調査ヲナシ當事者双方ノ集合ヲ求メ折衝七時間ニシテ漸ク小作料輕減率ヲ決定セリ然レ共協議中込米(四斗二升ヲ一俵附ト稱ス)ニ付問題起リシモノノ解決ハ他日ニ譲リ一俵ハ從來通り四斗二升トナシソレヨリ一斗ヲ減額スルコトニテ事件ノ終局ヲ見ルニ至レリ

(三) 結 末

調停條項

第一條 昭和四年ニ限り小作料ハ一俵ニ一斗ヲ切引スルコト但昭和五年二月十日迄ニ小作料(五等米)ヲ完納シタル者ニ限ル

第二條 天災地變其ノ他不可抗力ニ因ル凶作ノ場合ノ外小作料ノ減免ヲ爲サルコト

前項ノ原因ニヨリ小作料ノ減免ヲ望ム場合ハ立毛刈取前二十日地主ニ對シ見分ヲ申出デ地主及小作人双方ニ於テ收量ヲ査定シ小作料額ヲ協定スルコト但シ收量査定前刈取ヲナシタル時ハ收量ノ如何



ニ拘ハラズ小作料ノ減免ヲナサルコト  
前項ノ小作料協定整ハザル時ハ千葉縣地方小作官若シクハ小作官ノ選定スル者ノ決定ニ從フコト  
第三條 前條ニ定ナキ事項ニ付テハ從來ノ契約及慣習ニ從フコト  
本覺書ハ千葉縣地方小作官ニ於テ是ヲ保管スルコト

昭和五年一月廿七日

一 東京府南足立郡舍人村舍人 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年十一月二十日

調停着手 昭和四年十二月十三日

解 決 昭和四年十二月二十五日

關係人員 地主 四人 小作人 九十人

關係土地 田 三十五町步

(一) 爭議ノ概況

從來小作人ハ舍人部落ニ於ケル小作料殊ニ吉岡某所有地ノ小作料ガ他部落ノソレニ比シ高率ナリト考ヘ來リタルモ其ノ減額要求ノ機會ヲ得ズ其ノ儘今日ニ及ベリ然ルニ昭和四年秋ニ入り水稻ハ意外ノ減收ヲ見タルヲ以テ之ヲ好機會ナリトシ小作側ハ十一月來寄々協議シ其ノ結果大體ノ意見五割減額ト

ナリタルヲ以テ小作側代表齋藤某外數名ハ地主側ニ對シ右ノ減額方ヲ懇願セリ

地主側ハ之ニ對シ本年水稻ハ不作ナリシヲ以テ多少ノ減額ハ認ムルトスルモ五割要求ハ不當ナルノミナラズ他部落ニ於テ本年既ニ二、三割減額ニテ決定シタル事例アリト稱シ小作側ノ要求ヲ拒絕セリ

(二) 調停ノ經過

小作側ハ其ノ要求拒絕セラル、ヤ之ガ對策方法ニ關シ府小作官補ノ來村方ヲ求メ來リタルヲ以テ十月十三日同村役場ニ出張村理事者及地方有力者ヨリ小作事情並爭議ノ實情等ニ就キ聴取スルト共ニ土地ノ調査ヲ行ヘリ

府小作官補ハ更ニ十二月十七日同村へ出張小作人五十餘名ヲ氷川神社ニ會合セシメ小作人ノ意嚮及小作ノ實情ニ付精細ニ亘リ聴取シ尙意見ノ交換ヲ行ヒ調停案ノ要綱ヲ示シ小作側代表者ヲシテ地主側ニ直接折衝セシムルコト、セリ而シテ小作側代表齋藤某外數名ハ地主吉岡某宅ヲ訪ヒ右ノ案ニ基キ小作側ノ要求ヲ述ベ懇談シ後地主側之ニ應ジ協議シタルニ十二月二十五日左記ニ依リ解決スルニ至レリ

(三) 結 末

解 決 條 件

- 一 昭和四年度小作料ハ三割減額スルコト
- 一 吉岡某所有水田昭和四年度小作料ハ四割六步減額スルコト



一 昭和五年度ニ於テ地主小作双方協議ノ上水田小作料ノ改正ヲ行フコト

一二 神奈川縣中郡西秦野村堀山下 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和三年十一月二十七日

調停着手 昭和四年二月二十日

解 決 昭和四年二月二十日

關係人員 地主 七人 小作人 八十八人

關係土地 畑 四十町歩

(一) 爭議ノ概況

本爭議ハ昭和三年夏期ニ於ケル天候不順特ニ七月末日ヨリ三日間ニ亘ル暴風雨ノ爲メ地方主要作物タル葉煙草作ニ稀有ノ損害ヲ招キタルヲ理由トシ小作人側ヨリ畑小作料五割減額ヲ地主ニ要求セルニ因リ發生セルモノニシテ小作人ハ十一月下旬總代十三名ヲ以テ關係各地主ニ交渉セシメタルモ全地主ヨリ一齊ニ拒絶セラレタルノミナラズ十二月中旬同村第三回葉煙草收納ト同時ニ小作料ヲ完納スベク而シテ其ノ際完納者ニ對シテハ葉煙草作地分ニ限り一割ヲ完納不能者ニ對シテハ五分ヲ救濟金トシテ交付スベキ條件付催告ヲ受ケタリ

小作人ハ右條件ニ應ズルコト能ハズトテ小作料不納ヲ續ケ居タル爲メ同大字區長外一名調停ニ起チ

種々斡旋盡力スル所アリタルモ遂ニ不調ニ陥リ手ヲ引クニ至レルモノトス

(二) 調停ノ經過

縣小作官ハ小作人側總代ノ申出ニ依リ爭議地ニ出張シ實情竝經過ヲ聽取スルト共ニ同村小學校ニ地主及小作人總代ヲ參會セシメ互讓妥協セシムベク努メタリ

(三) 結 末

小作官ノ勸告及調停案ニ基ヅキ遂ニ左ノ條項ニ依リ圓滿解決ヲ遂ゲタリ

調 停 條 項

一 昭和三年分畑小作料ハ其ノ契約額ニ對シ二割七分ヲ減額スルコト

二 右小作料ハ昭和四年二月末日限り各相違無ク之ヲ完納スルコト萬一當該小作人ニ於テ右期限迄ニ

小作料ヲ納入セザル場合ハ小作人總代ニ於テ立替納入スルコト

一三 新潟縣西蒲原郡坂井輪村大字小新 (軒前卸地ノ小作料減免協定)

爭議發生 昭和四年十一月十日

調停着手 昭和四年十二月二日

解 決 昭和五年四月三日

關係人員 地主 三十六人 小作人 九十一人



關係土地 田 九十九町步 畑 十町三反步 宅地 十五町九反步 原野 十四町三反步

五三八

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ縣内有數ノ湛水地方ニ位シ舊慣ニ依ル割地制度今尙存續セリ

大正五年排水機ノ設置ノ効果大ニ舉リ地主小作人協議ノ上小作料ノ増額ヲナシ爾來極端ナル不作年次以外ニハ減免ヲナサズシテ納米ヲナシ來リシガ大正十一年以來縣内各所ニ澎湃トシテ起レル小作料減免問題ニ刺戟セラレ小作組合ヲ設置シ地主ニ對シ年々不作減免ノ要求ヲナシ地主亦舊來ノ狀況(排水機設置前)ト四圍ノ情勢ニ省ミ小作人ノ要求ヲ容レタリ

次デ小作人側ハ大正十四年末日本農民組合關東同盟ニ加入シ其ノ指導下ニ在リテ敢然小作料三割永久引下ノ運動ヲ起シ要求貫徹ノ爲小作料ノ不納同盟ヲ結ビ地主ニ對シ挑戰シタルガ郡長等ノ調停ニ依リテ同年以降三ヶ年間定免一割五分ヲ減額シ外ニ小作料ノ一割五分ニ相當スル金額ヲ肥料代トシテ小作料中ヨリ控除シ之ヲ小作人ニ於テ肥料資金トシテ積立ツルコト、シ一切ノ解決ヲ見タリ、斯クテ翌大正十五年、昭和二年、二ヶ年ハ何等紛爭ヲ見ズシテ毎年協調ヲ保チタリシガ超エテ昭和三年ニ入り前契約ノ定免廢止ヲ待チ居タル地主ハ同年以降斷然舊入附高ニ復活方ニ付結束ヲ堅クシテ讓ラズ小作人亦當該年度ノ惡作ヲ理由トシテ六割引ノ要求ヲ固執シタリシモ小作官ニ於テ作柄調査ノ結果ハ近年稀ナル惡作ナリシヲ以テ結局新潟地方裁判所ノ小作調停ニ於テ小作料四割一分強ノ減免ヲ行ヒ同年以降

三ヶ年間ハ舊入附米ニ復舊スルコト、シ全耕地ヲ通ジテ平均反收一石六斗未滿ノ不作年次ハ更ニ減免ヲ行フコト及檢見ノ場合兩當事者間ニ於テ收量ニ付意見ノ一致ヲ見ザルトキハ公務員タル技術者ノ作柄鑑定ノ結果ニ依ルコト、シ調停成立セリ

而シテ昭和四年ニ至リ檢見ノ場合作柄ニ付兩者ノ意見一致セザリシ爲ニ小作人等ハ新潟地方裁判所ヘ對シ同年度不作減免ノ調停申立ヲナスニ至レリ、是ヨリ先小作官ハ地主ノ申出ニ依リ作柄ノ踏査ヲ行ヒタルニ前年ノ惡作ニ比シ當年ハ頗ル良作ナリシヲ以テ減免取扱ヲナスベキ年次ニアラザル旨ヲ發表シタルニ小作人等ハ前調停ニヨリ相當以上ノ減免ヲ受ケタルノ事實ニ鑑ミ故意ニ調停條項ノ減免取扱方法ハ反當平均一石六斗ノ場合ト限定シアルモ各小字ニ於テ一石六斗未滿ノ字アルトキハ該字ハ當然減免ヲ受クベキ見解ノ下ニ條項ヲ作成シタルモノナリト稱シ小作官ノ實查ノ成績ニ依ルモ明カニ右引免ヲ受クベキ字アリシハ事實ナリト陳述シテ降ラズ斯クテ納米期ニ至ルモ一粒モ納米セザルヲ以テ小作官ハ現地收量調査ニ立會シタルノミナラズ調停成立後ノ事件ニシテ再度ノ紛糾ヲ見ルニ至レリ

(二) 調停ノ經過

昭和四年十二月以降兩當事者ヲ新潟市ニ又ハ大字小新ニ數次招致シ示談解決ニ奔走スル所アリシモ小作側ハ前調停ト比較シ曩ニ成立シタル現調停ハ著シク小作人ニ不利ナリトシテ調停ヲ認メズ止ムヲ得ズ小作官ハ小作人ニ於テ調停條項ノ通り昭和四年度ノ小作料支拂ヲナス場合ハ別ニ金壹千圓ヲ農事

五三九



獎勵資金トシテ地主ヨリ交付セシムルコトニ談合シタルモ小作人ハ之ニ應ズル色ナク地主モ亦小作人ノ態度ニ憤慨シ調停條項ノ執行ヲナスノ準備ヲナセリ

何分本執行ハ相手方九十餘名ニ對シ百十數町歩ニ亘ル土地目錄ヲ正本ニ添付シ送達ヲナスニアラザレバ執行出來難キヲ以テ相當ノ時日ヲ要スルコトナルヲ以テ此ノ間小作官ハ重ネテ和解ニ奔走スル所アリ結局調停條項ノ變更ヲ地主ニ認メシムルコト、シ和解ハ此ノ點ヲ重トシ昭和四年度ハ調停條項通リ小作人ニ認メシメ金貳千圓ヲ肥料費トシテ給與シ和解成立セリ

而シテ本調停ハ調停條項ノ通り正式申立ヲナシ其ノ調書作成スル迄ハ前調停ヲ有効トスルコト、ナリ居レルモ裁判所ハ既ニ調停成立シタル事件ニシテ而モ曩ニ取下セシメタル關係モアリ本調停ノ受付ヲナサズ現在ニ及ビ目下小作官ヨリ裁判所ニ對シ受付交渉中ナリ

(三) 結 末

調 停 條 項

第一條 本件關係各地主ハ別紙目錄記載ノ土地ヲ夫々同目錄表中下欄ニ記入スル小作人ニ同表小作料欄ニ表示セル小作料ヲ以テ昭和五年、同六年、同七年、同八年、同九年ノ五ヶ年間小作セシムルコト

第二條 前表中一地主ニ對スル小作契約當事者トシテ土地目錄表中ニ一字又ハ數字ニ亘リ數人ノ小作

人名義ヲ列記シタルモノニ在リテハ小作料ノ支拂義務ハ連帶債務ヲ負フモノトス

第三條 本件土地ノ小作料ノ不作減免ハ左ノ通り全小新耕地ヲ同一減免率ヲ適用スル立見地區トシテ

三區ニ區別シ其ノ地區毎ニ記入スル反當平均收穫量未滿ノ場合ニ在ラザレバ不作減免ヲナサバルモノトス

區 別	區 域 内 ノ 字 名	各區平均反收量
第 一 區	居村、二重辻、梅田、杉名田、島田	二 石
第 二 區	長田、向島	一 石 七 斗
第 三 區	大通、五百田、樋ノ口、西的場、東的場、尾立	一 石 五 斗

第四條 舊來軒前小作契約ニテ小作料ノ支拂ヒヲ特約シアルモノニシテ本件添付土地別小作料計算ニテ軒前當リ小作料ニ不足スルト雖軒前計算ニヨリテ小作料ノ支拂ヲナスモノトス

此ノ場合ニ於ケル不作減免率ノ計算ハ第九條ニヨリテ決定セラレタル立見地區毎ノ減免率ヲ一軒前反別ヲ各區ニ割リ當テ其ノ區内ノ軒前反別及小作料ニ適用シ一軒前入附高ヲ通ジテノ減免率ヲ算出スルモノトス

第五條 小作人ニ於テ不作減免ヲ受ケントスル年次ニアリテハ關係小作人協議ノ上代表者ヲ選定シ早中稻晚稻各刈取十日前ニ立見地區毎ニ反當見込收量ヲ記入シタル書面ヲ以テ各關係地主ニ立見減免



ノ申出ヲナスコトヲ要ス

第六條 地主ニ於テ小作人ヨリ前條ノ立見申出アリタルニ拘ラズ故意ニ立見ノ立會ヲナサバルトキハ小作人ノ申出タル當該年次ノ收量ヲ是認シタルモノト看做ス

第七條 小作人第五條ノ立見減免申出ヲナサズシテ稻刈取ヲナシ又ハ故意ニ立見ノ場合ニ舟ノ提供ヲ拒ミ或ハ立見ノ實行ヲ不可能ナラシメタルトキハ第三條ノ定メアリト雖減免ヲナサバルトコトヲ得

第八條 立見減免ノ申出小作人ヨリアリタルトキハ各地主又ハ其ノ代表者ハ小作人代表者ト現地ヲ踏査シ立見地區毎ニ早中稻晚稻ノ各收量ヲ協定スルコト

前項ノ場合當事者間ニ於テ立見土地ノ收穫協定シ難キトキハ公務員タル農業技術者ト地主小作人各同數ノ代表ト全耕地ヲ踏査シタル上協議ノ結果各立見ニ地區分毎ニ早中稻晚稻別ニ代表的收量ト認ムル箇所一箇所乃至數箇所ヲ選定シ坪刈法ニヨリ標準收量ヲ定ム其ノ査定シタル收量ニ對シテハ各當事者共異議ヲ述べザルコト

第九條 立見土地區分毎ノ平均實收量査定並其ノ査定シタル收量ニ對スル當該年度ノ立見減免取扱率ハ左ノ方法ニ依リテ算定スルモノトス

一 立見地區毎ニ早中稻晚稻ノ植付反別ヲ左ノ通り協定シ稻種毎ニ協定又ハ坪刈ニヨリテ決定セラレタル平均收量ヲ各其ノ植付反別ニ乗ジ得タル總和ヲ合計反別ニテ除シ以テ各地區内ノ反當り平

均實收量ト定ム

區別	早中稻	晚稻	合計反別
第一區	三〇、九 <sup>町反</sup>	五二、六 <sup>町反</sup>	八三、五 <sup>町反</sup>
第二區	一九、〇	二五、七	三八、四
第三區	四八、二	二五、七	七三、九
合計	九八、一	九七、七	一九五、八

但シ年ニヨリ前記協定シタル早中稻晚稻ノ各區内ノ植付反別ニ著シキ増減アリタル場合ハ兩當事者間ニ於テ合意ニヨリ變更スルコトヲ得ルモノトス

二 立見地區毎ニ推定平均小作料ヲ左ノ通り協定シ前項ニヨリテ算出シタル各區ノ平均實收量ヲ第三條記載ノ立見適用限度收量ヨリ夫々減ジ其ノ殘額ニ七割ヲ乗ジ得タル數量ヲ左記立見地區毎ノ平均推定小作料ニテ除シタル割合ヲ以テ各立見區分ノ土地目録記入ノ土地ニ對スル小作料ノ減免率トス

區別	推定平均小作料
第一區	七斗
第二區	六斗



第十條 畑原野ノ減免取扱ハ立見地區毎ニ田ノ小作料ノ減免アル場合ハ其ノ地區ニアル畑原野ニ限り當該地區ノ田地減免率ヲ適用シ減免スルコト

第十一條 不作ノ年次ニ於テ假令立見地區ニ付減免ナキ地區内ト雖一部分ノ土地ニ免租地ノ取扱ヲナシタルトキハ其ノ土地ノ小作料ヲ全免ス

第十二條 本件土地ノ小作料ハ毎年十一月二十日限り本縣生産検査合格並米單俵ヲ以テ地主ノ指定スル本字地内ノ倉庫ニ納入スルコト

第十三條 小作料ノ減免ヲ要スル年次ニアリテモ其ノ減免率ノ決定遅延シ前條ノ小作料納期ヲ經過シタル場合ハ小作人ハ當該年度ノ兩當事者間ニ争ヒナキ部分ノ小作料ハ速カニ各地主ニ支拂ヲナスコト

第十四條 小作人ニ於テ各年度ノ小作料納期ヲ經過シ翌年一月末迄尙小作料ノ納入ヲナササル場合ニアリテハ地主ハ當該年度ノ十一月十一日ヨリ同月二十日ニ至ル十日間ノ新潟正米市場並上米ノ平均價格ヨリ一石ニ付格下七拾錢(年ニヨリ正米市場公定格下ニ變更アルトキハ其ノ變更格下額ニヨル)ト運賃貳拾五錢ヲ差引タル價格ヲ以テ小作料ヲ金錢債務トシテ請求スルコトヲ得ルモノトス

第十五條 本協約締結後第十八條ニヨリ效力ヲ生ジタル後稅務署ヨリ本件添付土地目錄中地目ノ異動

通知アリタルトキハ隣地ノ小作料ヲ比較シ其ノ異動土地ノ小作料ニ付變更方ヲ關係當事者間ニ於テ協定スルコト

第十六條 本協約條項ニ定メナキ事項ニシテ小作契約ニ附隨スル小作條件ハ舊來ノ慣行ニヨルモノトス

第十七條 本小作契約期間滿了一箇年前ニ於テ當事者ノ何レカ一方ヨリ契約條件ノ變更ノ申出ヲ相手方ニナササルトキハ更ニ昭和十年ヨリ向フ五ケ年間本契約ハ其ノ儘更新セラレタルモノトナス

第十八條 第一條乃至第十七條ニ契約セル條項ハ來ル五月末迄ニ地主ヨリ新潟地方裁判所ニ小作調停申立ヲナシ調停調書ノ作成ヲナスコト

前項ニヨル手續ヲ了スル迄ハ前記各條ニ亘ル協約ヲ締結スルト雖昭和四年二月十四日成立新潟地方裁判所ニ於ケル調停條項ハ當事者間ニ其ノ效力ヲ有スルモノトス

第十九條 昭和四年度小作料ハ同年二月十四日新潟地方裁判所ニ於テ本件當事者間ニテ成立シタル調停調書面ニ記載シタル小作料ノ通りトシテ來ル四月十五日限り各小作人ハ各地主ニ夫々支拂ヲナスコト

前項小作料ノ支拂ヲナシタル場合ハ本件關係地主ハ連名ニテ相手方小作人ニ對シ總額金貳千圓ヲ肥料費ノ補助トシテ支給スルコト



(別表) 各區別稻種別協定反別

區別	字名	早中稻	晚稻
第一區	居村	一五、〇	一五、〇
	二重辻	六、〇	一三、〇
	梅田	五、〇	二〇、〇
	島田	二、五	二、五
	杉名田	二、〇	二、一
計	三〇、五	五二、六	
第二區	長田	五、〇	六、〇
	向島	一一、〇	一一、二
	長田郷	二、〇	二、二
計	一九、〇	一九、四	
第三區	大通	二五、〇	五、四
	五反田	一八、〇	四、四
	樋ノ口	二、二	五、〇
	計	四八、二	二五、七

西の場	一	二、〇
東の場	十	五、九
尾立	三、〇	三、〇

一四 富山縣中新川郡滑川町字田中 (土地返還、作離料支給)

爭議發生 昭和四年四月三十日

調停着手 昭和四年五月六日

解決 昭和四年五月六日

關係人員 地主 一人 小作人 二人

關係土地 田 一反八畝八歩

(一) 爭議ノ概況

本件地主ハ今ヨリ十數年前迄本件土地ヲ自作シツ、アリシガ十二年前ノ財界好況ノ際農耕ヲ廢メ他ノ業務(大工、籐表製造等)ニ從事シ該土地ヲ本件小作人タル二名ニ夫々小作セシメ居リタル處最近財界不況ノタメ再ビ農業ヲモ兼營セントテ昭和四年二月中該土地ノ返地ヲ需メタルニ小作人等ハ生計困難トナルヲ理由ニ従前通り小作繼續ヲ要求シ双方意見一致セズ四月末遂ニ物別レトナリタルモノナ



(一) 調停ノ經過

右爭議ヲ聞知セル滑川農事改良組合(小作人組合)長ハ縣小作官ニ事情ヲ告ゲ調停方ヲ依頼シ來リタルニ依リ五月六日縣小作官ハ前記農事改良組合長ト共ニ中新川郡農會事務所ニ到リ本件地主及兩小作人ヲ集合セシメ種々實情ヲ聽取シタル上調停ニ努メタリ

(二) 結 末

斯クテ同日左記條項ノ下ニ調停成立セリ

協 調 條 項

一 滑川町字田中ニ於ケル地主ノ所有ニ係ル土地中昨年小作人甲ニ於テ小作セル耕地ハ今後之ヲ全部地主ニ於テ自作スルコト

一 前項ノ土地ニ對シ地主ハ小作人甲ニ對シ本年五月八日迄ニ一步ニ付金拾錢ノ割合ノ金額ヲ支拂フコト

一 滑川町字田中ニ於ケル地主ノ所有ニ係ル土地中昨年小作人乙ニ於テ小作セル耕地ハ其ノ面積ヲ南北(縦)ニ二等分シ南方ノ半分ハ之ヲ今後地主ニ於テ自作シ北方ノ半分ハ本年ニ限り小作人乙ニ於テ小作シ明年ヨリ以後ハ地主之ヲ自作スルコト

一 地主ハ前項ノ土地中南方ノ半分ニ對シテハ一步ニ付金拾錢ノ割合ノ金額ヲ本年五月八日迄ニ北方ノ半分ニ對シテハ一步ニ付金五錢ノ割合ノ金額ヲ本年十一月三十日迄ニ小作人乙ニ對シ支拂フコト

一五 石川縣鹿島郡越路村字武部 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年十一月二日

調停着手 昭和四年十一月十三日

解 決 昭和五年三月三日

關係人員 地主 十人 小作人 七十二人

關係土地 田 三十五町

(一) 爭議ノ概況

本年夏季ノ猛烈ナル旱魃ニ因リ稻作ハ大打撃ヲ蒙リ憂慮シ居タル處果然收穫期ニ際シ鎌入不足ヲ告ゲ剩ヘ米調製ノ結果收穫皆無地ヲ除キ一般ヲ通ジ例年ニ比シ舊高一石ニ付二割五分ノ減收明確トナレリ仍テ小作人ハ之ガ善後策ニ付協議ノ結果地主ニ對シ小作米ニ割輕減方ヲ要求セリ

カクテ小作人ハ要求ヲ貫徹センガタメ十一月二日同區ノ說教場ニ於テ會合決議シ交渉委員四名ヲ選定シ區長ヲ經テ地主ニ交渉ヲ開始シタルニ對シ地主ハ早害不作ニ依ル減收ノ程度範圍ニ付小作人ト所見ヲ異ニシ且小作人ノ要求額タル輕減ト團體交渉ニ對シテ絶對ニ應諾シ能ハザル旨主張シテ双方ハ妥



(一) 調停ノ經過

小作官ハ十二月九日爭議地ニ至リ爭議地區長等ヨリ爭議ノ内容經過ヲ聽取シ旁々調停策ヲ協議シタル上同宅ニ於テ主ナル地主四名竝小作代表委員四名ヲ招致シ隔意ナキ意見ヲ交換セシメタル處双方ハ小作料輕減ノ基準トモナルベキ被害減收ノ程度ニ付意見一致セザリシガ調停中偶々地主ハ本件ハ藉スニ時日ヲ以テスレバ自治的圓滿ニ解決スベキ旨希望シタルニヨリ小作官ハ小作人ノ諒解ヲ求メ一先ツ双方ニ考慮ヲ促ガシ置キタリ然ルニ其後双方ハ何等交渉シタル形跡ナク小作人ハ當事者ノ交渉ノミニテハ到底見込ナシト認メ納米期ニ切迫シタルヲ幸ヒ要求額ヲ控除シタル小作料ヲ内納シ持久戰ニ依ラント肚ヲ極メ一方地主ハ形勢不利ナルヲ看取シ十二月末頃ヨリ平素地主宅ニ出入シ居ル小作人及經濟的ニ窮乏セル小作人二十名許リ個人的ニ或種ノ條件ヲ與ヘ表面小作料ヲ三升(既定小作料額ノ三分七厘減)減額シタルトノ理由ノモトニ私カニ軟化セシメ之ト通謀シテ他ノ小作人(五十名)ノ結束ヲ切崩サムト策謀シタリ之ガ爲小作人ノ幹部及強硬小作人ハ大ニ狼狽憤慨シ之ガ對策上更ニ代表委員數名ヲ增加シ昭和五年一月上旬數回集會協議ヲ凝ラシ作戰ヲ練リタル等形勢漸次惡化紛糾セムトセリ

仍テ小作官ハ一月十日再ビ同地ニ至リ改メテ區長ヨリ事件ノ經過ヲ聽取シ同夜主ナル地主三名竝小作代表委員十名ヲ同宅ニ參加ヲ求メ双方會見ノ上懇談シ協調方ヲ斡旋シタルガ地主ハ既ニ二十人許リノ小作人ニ對シ三升減ヲ以テ解決シタリシニ付三升以上ノ減額ニハ到底讓歩シ難シト頑張り一方小作人ハ地主ガ三升ニテ解決シタル例ハ表面ノ口實ニシテ其ノ裏面ニ幾多ノ忌ムベキ事情伏在シ居ルコトハ一部軟化小作人ノ自白ニヨリ明瞭タルベシトテ地主ノ不純ナル動機ト陋策陰險ナル態度ヲ責メ且憤慨シ徹底的ニ抗爭シテ其ノ主張ヲ貫徹セムトシ其ノ間双方猛烈ニ論難ヲ戰ハセリ然ルニ小作官ハ區長ト共ニ努メテ双方ノ感情ヲ柔ギ互讓主義ヲ以テ兩者ニ對シ極力妥協方ヲ斡旋シタル結果小作人ハ小作料ノ二割減ヲ一割五分減迄ニ讓歩シタルモ地主ハ軟化小作人ニ減額シタル三升減ノ例ヲ楯ニ取ツテ讓ラズ双方ノ主張ニ未ダ間隔アリシタメ調停徹宵ニ及バントシタルガ小作人ハ小作官ノ熱意ニ同情シ熟考ノ上結局問題ノ解決方ヲ小作官及區長ニ無條件一任シタルモ地主ハ考慮ノ餘地アリトテ之ニ應ゼズ仍テ小作官ハ地主ニ對シ今一應考慮セシメ當日ノ調停ヲ保留セリ然ルニ其後地主ハ之ガ内々解決方ヲ自己ノ昵近者タル前村長及同村醫士ニ依頼シタル處小作人ハ前村長及醫士ハ何等農業方面ニ智識經驗ナク加フルニ地主ト別懇ノ間柄ナレバ到底公正ナル解決ヲ期シ難シトナシ彼等兩名ノ介在ニ反對セリ斯クテ問題ハ依然停頓シ紛糾ヲ續ケタリ小作官ハ三月二日更ニ同地へ出張シ區長宅ニ於テ地主及小作人惣代ノ參加ヲ求メ問題ノ解決ニ付懇談熟議中突然地主ハ前村長及醫士二名ヲ調停席上ニ參加セシメ小作官及區長前村長醫士ノ四名ニ對シ事件ノ解決ヲ無條件一任スベシト稱ヘタル結果小作人ハ對抗上小作人側ヨリモ委員二名ヲ推薦シ協議ニ參加セシムベシト主張シタルモ結局小作官及區長ニ信賴シ



遂ニ前記四名ニ對シ無條件一任方ヲ承諾シタリ茲ニ於テ一任ヲ受ケタル四名ハ別室ニ於テ減額程度ニ付意見ヲ交換シ折衝シタルガ委員中ニハ一方ニ偏シタル見解ヲ把持シ居ルモノアリシタメ減額ノ程度ニ一致ヲ缺キ之ガ統一ニ頗ル困難ヲ感ジタルガ結局小作官ハ委員三名ノ意見ヲ斟酌考慮シ減額率ヲ定メタルニ他ノ委員モ之ニ同意ヲ表シタルニヨリ左記調停條項ヲ地主小作同席上ニ於テ之ヲ發表シ諒解ヲ求メ問題ノ落着ヲ告ゲタリ

(三) 結 末

調 停 條 項

一 越路村字武部區ニ於ケル小作料減免問題ノ解決ニ關シ地主小作人双方ハ小作官、區長(卜部某)前村長(酒井某)醫士(眞館某)ノ四名ニ對シ無條件一任セラレタルニ付慎重考慮ノ結果左記ノ通り之ヲ定ム

一 昭和四年度ノ小作料ハ舊高一石ノ既定小作料七斗九升ニ對シ五升五合減額スベキコト

一六 福井縣丹生郡天津村清水山 (穀物検査ニ因ル小作料補償金協定)

爭議發生 昭和四年十一月廿六日  
調停着手 昭和五年一月十一日  
解 決 昭和五年一月十一日

關係人員 地主 二十人 小作人 八十人

關係土地 田 八十一町一反一畝八步 畑 三十八町五畝步

(一) 爭議ノ概況

近來穀物検査ノ結果産米ノ容量、俵裝ニ少ナカラヌ苦心ト勞力ヲ要スルニ至リタルト四年度ノ稻作ハ麴稻熱病ノ被害アリ收穫減少ノ爲小作農ノ農業經營收支償ザルトヲ理由トシテ小作料減額ヲ地主ニ要求スベク小作側委員十名ハ各地主ヲ訪問シ昭和四年度ヨリ永久小作料ノ一割五分減額方懇請シタル處地主ハ小作料ヲ改訂スルハ從來ノ慣行ヲ破リ小作契約ヲ無視スルモノトシ小作料ノ多少ハ減額スルモ永久ニ亘ル減額ハ小作側ノ要求ニ應ジ難トシ之ヲ拒絕シタリ小作側ハ地主ノ誠意ナキヲ憤慨シ當初ノ要求ヲ貫徹スベク手段トシテ先ヅ小作料ノ不納同盟ヲナシ鞏固ナル態度ヲ執ルニ至レリ

カクテ双方ノ主張相反シ解決ノ端緒ナキニ依リ地主側ハ中立者四名ニ對シ調停ヲ依頼シ直ニ調停者ハ双方ト折衝シ調停案トシテ永久小作料ノ減額ハ之ヲ廢シ小作人ガ丙格米以上ヲ小作米トシテ地主ニ納付シタルトキ一俵ニ付獎勵米一升五合ヲ給與スルコトニ定メ地主側ノ了解ヲ得テ小作側ニ交渉シタル處獎勵米ノ額ニ就テハ承諾スルコト能ハザルモ地主ニ相當ノ誠意アルヲ認ムルヲ以テ未納小作米ハ不敢取納付スルコトヲ約シ一月七日小作米ノ過半數ハ之ヲ地主ニ納付シタルモ尙爭議ハ解決スルニ至ラズ益々紛糾シ日時ヲ經過シタリ



(一) 調停ノ經過

爭議ハ愈々深刻化セントスル狀況ナリシヲ以テ小作官ハ實情調査ヲ爲シ爭議ノ情勢ニ鑑ミ調停ヲ開始シタリ先ヅ地主小作人双方ノ委員ヲ招集シ協議シタル處双方ノ主張頑強ニシテ容易ニ妥協スルニ至ラザリシモ徹宵協議ノ結果遂ニ別記調停條項ノ通圓滿ニ解決シタリ

(二) 結 末

調停條項

- 一 地主ハ小作人ガ穀物検査ヲ受ケタル丙格米以上ヲ小作米トシテ納付シタルトキハ丙格米一俵ニ付改良米二升乙格米一俵ニ付改良米二升五合甲格米一俵ニ付改良米三升ヲ給與スルコト
- 一 地主ハ小作人ガ穀物検査ヲ受タル格外米ヲ小作米トシテ納付シタルトキハ格外ノ米ト丙格米トノ賣買時價ノ差金ヲ徴スルコト但シ昭和四年度ニ限り賣買時價ノ差金徴收ハ之ヲ免除スルコト
- 一 前一二項ノ實施期間ハ昭和四年度ヨリ丹生郡天津村清水山耕地整理工事完了期日迄トス

一七 山梨縣西山梨郡山城村字下鍛冶屋 (小作料一時的減額 小作契約繼續)

爭議發生 昭和四年一月

調停着手 昭和四年九月五日

解 決 昭和四年十月十日

關係人員 地主 二人 小作人 二十人

關係土地 田 十二町四反歩

(一) 爭議ノ概況

小作人等ハ昭和三年度稻作不作及ビ小作料高率ノ故ヲ以テ組合ノ決議ニ基キ地主ニ對シ契約小作料ノ五割引ヲ要求セリ之ニ對シ地主ハ本件土地ハ大正九年頃小作料ヲ相當減額シ常免ノ契約ナレバ減額ノ要ナシト主張セリ

於茲ニ小作人等ハ小作米二百六十八俵ヲ要求額控除シテ共同賣却シ(一俵七圓五十錢)銀行預金ト爲シ持久戰ニ備ヒタリ地主ハ小作人ノ此ノ舉ニ益々憤慨シテ飽迄小作人ノ要求ヲ却ケントシ土地返還請求訴訟ヲ提起スルニ至レリ

(二) 調停ノ經過

小作官ハ豫テ地主ノ人物及ビ縣下ニ於ケル社會的地位等ヲ知悉セルヲ以テ調停ニ依ツテ解決スルヲ兩者ノ爲得策ナリト思惟シ先ヅ小作人ヲ訪問シテ爭議ノ實情ヲ調査シ且小作組合長ヲ縣廳ニ招致シ大ニ互讓ヲ勸メ大體ノ結着點ニ關スル目途ツキタルヲ以テ直ニ調停ノ申立ヲ爲シ委員會ニ一任シテ解決スル様説示シタルニ小作人モ其ノ得策ナルヲ了解シ調停申立ヲ爲スニ至レリ

(三) 結 末



調停委員會ハ昭和四年十月三日甲府地方裁判所ニ開カレ左記條件ニテ直ニ調停成立セリ

調停條項

- 一 昭和三年分田小作料ハ二割ヲ減額シ畑小作料ハ減額セズ
- 二 昭和三年分田小作料ノ減額ハ割中ノ七割ハ一俵(粃一斗一升ヲ一桶トシ六桶ヲ一俵トス)代金八圓ニ換算シタル金額及畑小作料金額ヲ昭和四年十月十二日迄地主宅ニ持參シ支拂フコト
- 三 昭和三年分田小作料ノ減額一割ハ昭和四年産粃ヲ以テ昭和四年十二月十日限り地主宅ニ持參シ支拂フコト

三 本件當事者間ニ從來小作契約ヲ爲シタル別表(別表略)ノ土地ハ引續キ貸借シ昭和四年以後昭和七年迄四ヶ年間ハ田ノ小作料ハ一割二分五厘ヲ減シ畑ノ小作料ハ現在ノ儘トシ其ノ數額別表(別表略)ノ通りトス

四 前項ノ期間内ハ作物ノ豊凶アルモ小作料ノ減免ヲ行ハズ但シ田地ニシテ不可抗力ニヨリ稻ノ收量ガ前項別表ノ小作料額ニ充タザルトキハ刈取期十五日前迄ニ地主ニ申出デ實地檢分ノ上其年分ノ小作料ニ付當事者間ニ於テ協定スルモノトス此場合ニ於テ收量ニ付爭アルトキハ山城村外二ヶ村組合村農業技術員立會ヲ求メ收量ヲ決定ス小作料ノ減免ニ付爭アルトキハ山梨縣小作官ノ裁定ヲ受ケ双方異議ナキコト

五 第三項ノ期間内小作料ハ毎年十二月十日限支拂フコト

六 小作人前各項ノ條項ニ違背シタルトキハ地主ヨリ土地返還ヲ要求セラレタルトキハ其當時作付ノ主作物收穫期後直ニ之ヲ明渡スコト

一八 山梨縣中巨摩郡大鎌田村字二日市場 (小作料一時的  
並永久的減額)

爭議發生 昭和五年三月十一日

調停着手 昭和五年七月三日

解 決 昭和五年十一月八日

關係人員 地主 四人 小作人 六十六人

關係土地 田 三十一町七反五畝五步

(一) 爭議ノ概況

小作人ハ凶作ヲ理由トシテ昭和四年度小作料ノ三割三分減(六斗六升入一俵ニ付二斗二升引)ヲ要求セルニ對シ地主ハ凶作ヲ認メズ且入附モ大正十五年調停ニ於テ改正セルモノナルヲ以テ減免ニ應ズル能ハズト拒絶セル爲メニ爭議ノ發生ス

地主ハ先ヅ小作調停ニ於テ解決セントシ二月十二日調停ノ申立ヲ爲シタルモ調停委員會ヲ開催スルコト五回ニ及ビシモ双方ノ妥協點ヲ發見スル能ハズ五月二十九日遂ニ調停不成立ノ故ヲ以テ地主側ハ



調停ヲ取下ゲタリ

此ノ間小作人ハ一反ニ付一圓二十錢ノ爭議費用ヲ出金シ爭議ニ備ヘ地主ハ調停終了後小作人組合幹部五名ニ對スル小作料取立債權ヲ山梨土地株式會社ニ讓渡シ双方對峙セシガコノ状態ヲ憂ヘタル同村長長田氏ハ双方間ニ仲介シ仲裁案ヲ以テ双方ノ同意ヲ求メタル所地主側ハ同意セリト雖モ小作人之ニ應ゼズ同氏ヨリ小作官ノ調停ヲ求メタルヲ以テ調停ニ着手ス

(一) 調停ノ經過

七月三日同村ニ於テ地主小作人ノ意見ヲ各別ニ求メタルニ地主側ハ昭和四年度小作料一俵ニ付一桶(一割七分)引將來一割減ヲ主張スルニ對シ小作側ハ昭和四年度小作料二桶(三割三分)引將來一割引ヲ主張シ双方ノ主張ハ昭和四年度ノ一桶ノ差ナリ仍テ小作人ヲシテ其差一桶ヲ小作官ノ裁量ニ一任スルコトヲ協議セシムルコト、シ八月廿三日第二回ノ調停ヲ試ミ九月十一日地主ト懇談、九月十五日地主ヨリ調停打切アリタキ旨ノ申出アリタルニヨリ九月二十三日地主ヲ訪ヒ種々懇談ノ後略々地主ノ同意ヲ得タルヲ以テ九月廿五日小作人ヲ縣廳ニ招致シ右ノ趣ヲ傳ヘ且小作官ノ法外調停成立ノ結果ハ之ヲ小作調停法ニ依リ合意申立ニ同意スルコトヲ勸說スルト共ニ十一月八日地主全部ニ對シテモ小作官案ニ同意ヲ求メタル所異議ナク承認シ左記條件ヲ以テ調停成立スルニ至レリ

(二) 結 末

仲 裁 條 件

- 一 昭和四年度小作料ハ契約小作料ノ一俵ニ付一桶引トシ他ニ半桶ヲ合意調停成立後地主ヨリ給與スルコトヲ村長ニ一任シ村長ハ右責任ヲ持ツコト
- 一 昭和五年以降三ヶ年間ハ契約小作料ノ一割ヲ減ジタルモノヲ以テ小作料トスルコト
- 一 右小作料ハ豊凶ニ拘ラズ減免ナキモノトス
- 但シ著シキ凶作ノ場合ハ双方誠意ヲ以テ其額ヲ協定スルコト
- 一 賃借地ヲ他ニ轉貸セザルコト
- 一 右條項ノ一ニ違反セルトキハ直ニ契約ヲ解除シ無條件土地ヲ明渡スコト

一九 長野縣長野市西長野町 (土地一部返還、作離料支給)

爭議發生 昭和四年十一月三日

調停着手 昭和四年十二月七日

解 決 昭和四年十二月九日

關係人員 地主 一人 小作人 一人

關係土地 桑園 二反六畝歩

(一) 爭議ノ概況



本件土地ハ大正十五年地主ガ小作人ニ對シ五ヶ年更新二十ヶ年契約ニテ小作セシメタルモノナル所小作料滞納アリトテ地主ハ昭和五年突如其ルノ整理ノ爲小作地ノ返還ヲ迫リタルモ小作人之ニ應ゼズシテ全國農民組合ヘ應援ヲ依頼シ對抗シタリ

地主ハ動産ノ假差押ヲ申請シ十一月六日小作人ノ家具類等ヲ差押ヘタルヲ以テ同日全國農民組合長野支部ニテハ西長野新湯温泉ニ批判大演說會ヲ開キ大ニ氣勢ヲ擧ゲタルモ小作人ハ却ツテ不安ヲ感ズルコト甚シク小作官ニ陳情シ地主モ亦事態急ナルヲ見テ調停ヲ依頼シ來レリ

(一) 調停ノ經過

小作人ヨリ陳情地主ヨリノ調停ノ依頼アリタルヲ以テ小作官ハ全國農民組合長野支部ノ原山某及西長野區長ト共ニ調停ニ着手シ七、八、九、三日間ニ亘リ双方ニ折衝シタル結果漸ク妥協成リ圓滿解決シタリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 畑地二反六畝中三畝ヲ即時返還スルコト
- 一 二反二畝二十四歩ハ從來ノ契約小作料ヲ百圓ニ尙納期ヲ變更ス
- 一 地主ヨリ作離料及涙金トシテ反當二百六十七圓ヲ(内五分ノ二ハ現金殘金ハ滞納小作料ノ免除ニ

充ツ)小作人ニ支給スルコト

一 地主ハ小作人ニ對スル有體動産ノ假差押執行ノ解除手續ヲ即時行フコト

二〇 岐阜縣揖斐郡本郷村 (小作料一時的減額)

爭議發生 昭和四年十月二十日

調停着手 昭和四年十月三十日

解 決 昭和五年三月二十八日

關係人員 地主 二十三人 小作人 百十七人

關係土地 田 五十四町三反三畝二十八歩

(一) 爭議ノ概況

昭和四年十月二十日小作人總代ハ地主總代ヲ訪レ早生ヲ收穫シタル結果豫想外ノ減收ヲ見タルニ付檢見セラレタキ旨申出タリ依テ前年ノ如ク双方共正式ニ二名宛ノ委員ヲ選任シ右委員ト小作官ト立會ノ上檢見ヲ行フコトニ決シ十月二十八日小作官ヲ訪レ前記ノ經過ヲ陳述シテ出張方ヲ要請セリ

依テ十月三十日小作官補及農林主事補ハ双方ノ委員ト共ニ三日間ニ亘リ各字ヲ巡廻シ嚴密ニ立毛ノ檢見ヲ行ヒタル結果草丈分蘖結實共ニ比較的良好ニシテ全般ヲ通ジ昨年程度ノ作柄ナルモ萩原ノ内鴨ノ巢及青柳ノ内六反掛ハ旱害ヲ認メタリ



十二月二十八日小作人ハ正式ニ地主ニ對シ掬米ノ一時的減免ヲ要求セリ

(一) 調停ノ經過

二月四日小作官補同地ニ出張シ昭和三年度ノ掬米ニ付テハ小作人ハ前調停條項ヲ履行セズ更ニ地主ニ對シ調停ニ依ル減免歩合ノ外ニ尙從來完納獎勵トシテ給付セル六分ヲ追加セラレタシト要求シ當事者間ニテ屢々折衝シタルモ地主ハ斷固トシテ拒絕シ停頓ノ狀況ニアリシヲ以テ小作官補ハ先ヅ之ガ解決ヲ見ル迄ハ本年度掬米問題ニ言及スルコト能ハズト双方ニ考慮ヲ促シタルニ小作人ハ四分迄讓歩シ地主ハ昭和四年度以降ハ小作官ノ自由裁量ニ絶對服従スル留保付條件ヲ前提トシテ三分減免スベク發表セシヲ以テ其ノ差額ハ後日交渉スルコト、セリ

次ニ昭和四年度掬米ニ付双方ノ主張ヲ聽取シタルニ小作人ハ最少限度ノ要求ナリトテ大字本郷、萩原、青柳ハ各一割六分、草深、山洞ハ二割二分ヲ主張シ地主ハ稀ニ見ル豊作ニ付完納獎勵米ノ外ハ絶對ニ減免要求ニ應ジ難シトテ強硬ナル態度ニ出デタリ

三月二十七日小作官ハ同村ニ出張シテ事實上ノ調停ニ努メタルニ前記ノ主張ヲ繰返シ殊ニ地主ハ草深ノ一部ハ協調組合ヲ組織シ一割ニテ解決セリトテ全村ヲ同額程度ニテ解決セムトシ容易ニ妥協點ヲ見出シ難キヲ以テ再考ヲ促シ散會セリ翌二十八日小作人ハ比較的互讓的態度ニ出デ一割六歩ヲ一割三歩迄讓歩シタルヲ以テ地主側ニ交渉シタルニ全村ヲ通ジ八分以上ハ減免ニ應ジ難シト主張シ尙逕庭ア

ルヲ以テ更ニ小作人ニ協議的ニ調停ヲ進行シ旱害地ヲ除外シ一般ノ作柄ハ大體前年通ニ付前年度未解決ノ減免歩合ヲ四分ニ地主ニ於テ承服セバ本年ハ前年通ニテ承諾スル様縷々勸告シタルニ隣接町村ニ於ケル農民組合ノ情勢及縣下ニ於ケル農民組合運動ノ歸趨ヲ察知シテ之ニ同意セリ

依テ地主側ニ諮リタルニ草深、山洞ハ他字ニ比シ餘リ高率ニシテ到底承服シ難シト主張シ此間地主組合ハ裏面ヨリ委員ヲ牽制シテ有利ニ解決スベク策動シタルモノアリシモ地主側ヲ説キテ結局之ニ同意セシム

旱害地ニ付キテハ萩原ハ三年來懸案ナリシ大規模ノ灌溉用拔井ヲ掘鑿スルコトニ妥協成リ既ニ工事進行中ニ付之ト關聯シテ當事者間ニ於テ別ニ協定スルコト、シ青柳ノ一部ハ一割二歩ヲ減免シテ調停成立セリ

(三) 結 末

調 停 條 項

- 一 大正十五年十一月八日岐阜地方裁判所同年(ワ)第自一九四至一九六號第二四四號各事件和解條項第五項ニ依ル獎勵歩合ハ昭和四年度掬米ニ限り地主ヨリ支出セザルコト
- 二 地主ハ別紙(省略)土地目録記載ノ土地ニ對スル昭和四年度ノ掬米ハ從來ノ契約掬米額ヨリ左ノ割合ヲ以テ減額スルコト



但宅地竝畑地ニ就テハ減額セザルコト

大字本郷萩原（但鴨ノ巢ヲ除ク）青柳（但通稱六反掛ヲ除ク）ノ各地内ノ田ハ百分ノ十

大字青柳ノ内通稱六反掛ノ旱害田ハ百分ノ十二

大字萩原ノ内鴨ノ巢ノ旱害田ハ當事者間ニ於テ別ニ協定スルコト

大字草深、山洞ノ各地内ノ田ハ百分ノ十六

三 小作人ハ前項ノ掟米ヲ本縣生産検査合格米又ハ一俵（四斗入）ニ付金拾圓貳拾五錢ノ割合ヲ以テ換金シ來ル四月十日限リ各地主宅ニ持參ノ上支拂フコト

四 昭和三年度及昭和四年度ノ掟米ヲ調停條項通り來ル四月十日迄ニ各小作人が履行シタルトキハ肥料代トシテ地主ハ昭和三年度契約掟米額ノ百分ノ四ヲ小作人ニ給與スルコト

二一 静岡縣庵原郡飯田村大字山原字北澤（小作人土地買受）

爭議發生 昭和三年五月

調停着手 昭和三年十一月十五日

解 決 昭和四年四月十九日

關係人員 地主 二人 小作人 二人

關係土地 畑（蜜柑園） 五反五畝歩

（一） 爭議ノ概況

安倍郡有度村所在地主前畑某ガ二十年前現小作人二人ニ開墾セシメタル畑地山林約五反五畝ガ蜜柑園トシテ相當價値アル土地トナリタル際丁度家政上ノ理由ヨリシテ之ヲ賣却シテ家ノ附近ニ新ニ小作セシムベキ田ヲ買取ルコト、ナリ當該地所ガ昨年又ハ一昨年新ニ十五年ノ小作期間更新ノ契約ヲナシタルマ、ニテ之ヲ現小作人ト同字ニ居住セル長澤某ニ自作シ居ル土地トシテ賣却ノ契約ヲナシ手金ヲ千六百圓ヲ收受シタリ然ルニ小作人ハ附近ノ者ヨリ偶然該地所ガ賣買サレタルコトヲ聞キノ買受人ニ事實ヲ質シソノ然ルヲ知り地主ノ親戚ニシテ土地賣買ノ周旋ヲナス川端某ニ問合セタルニ買手ガアツタカラ賣ツタガ承知シテ貰ヒタイト云ヒソノ事實ヲ肯定シ小作ノ關係ニ付小作側ハ從前通小作ヲ繼續セシムレバ差支ナキ旨ヲ以テ双方ニ問合セタルモ買手ハ直チニ自作ヲナス筈ト云ヒ賣主側ハ小作ノ抗議ニ遇ヒ涙金ヲ以テ圓滿ニ解決方交渉シソノ涙金ノ額ニ付テモ數回増額シ遂ニ從前地主ガ收受シタル小作料累計ノ金額三百圓ヲ返還スルノ外別ニ三百圓程度ノ涙金ヲ差出スヲ以テ右地所明渡ヲ要求シ小作人が全然拒絕スルヤ漸次双方ノ争ハ激成セラレ買手ナル長澤某モノノ賣買契約ニ不安ヲ感ジ小作人側ト賣主側ト買主トノ間ニ夫々ソノ利害ヲ中心トシテ關係アル向ニ他ヲ陷レントスル如キ宣傳ヲナシ交渉モ惡化シ來リタリ元來本件地所ノ如ク小作人が開墾當時ヨリ栽培ヲ繼續シテ十五年乃至二十年ヲ經過シタル蜜柑園ハ今後ニ於テ開墾以來ノ投資ヲ回收シテ年々利益ヲ擧ゲ得ベキモノニシテ從前



ノ小作料が如何ニ低額ナリトシテモ蜜柑樹ノ育成ノ爲ニスル栽培費用ハ小作人ノ負擔ニ於テナスモノナレバソノ投資額ハ相當巨額トナリ地主ガ主張スルガ如ク地主ハ小作人ニ對シ開墾以來何等ノ迷惑ヲカケズ多年耕作セシメタルノミナラズソノ小作料ハ低額ニシテ年々ノ收益ハ小作料ヲ償ヒテ餘リアルノミナラズ丹精料トシテ數百圓ヲ提供セムトスルニ拘ラズ飽迄モ地主ノ土地賣却ニ異議ヲ云フガ如キハ亂暴極レリト云フモ事實ニ於テ小作人ノ苦痛ハ小作料負擔ニ非ズシテ栽培管理ノ費用ニシテソノ投資ガ現在ノ蜜柑園ノ價值ヲ造成セルモノナルヲ以テ地主ガ之レヲ賣却セントスルモ亦ソノ開墾前ノ素地ノ價格ト造園ノ價格ノ相違ハ即チ小作人ノ負擔ガ之ヲ實現セルモノト云ハザルベカラズ

斯クノ如クニシテ小作人ハ遂ニソノ一人ハ當時山東ニ出征中ノ弟モ事件ヲ兄ノ書信ニテ知り憂慮シテ兄ノ苦境ヲ救済スル爲ニ小作官ノ盡力ヲ懇請シ來ルニ至リ地主側ガ頻リニ裁判ニ依リ一氣ニ小作人ノ要求ノ不法ヲ明ニセント誇示スルニ對シ小作人ハ小作官ノ調停ヲ求メ來リ地主側ハ代理者川端某モ亦數次小作官ニ小作人ノ不當ナル要求ニ付陳情シ來リ調停ヲ希望シタルヲ以テ調停ニ着手シタリソノ後買受人長澤某モ亦買受ニ付調停ヲ希望シ來レリ

### (一) 調停ノ經過

本件ノ圓滿ナル解決ハ小作人ガ其ノ土地ヲ購入スルコトニアルヲ以テ小作官ハ調停ニ着手スルヤ事件ヲカ、ル結果ニ導ク様調停方針ヲ定メ夫々關係者ト數次會見シテ小作人ニハ隱忍シテ買取ノ機ノ來

ル迄耕作ヲ丹精スル様勸告シ地主代理人ニ對シテハ契約ノ性質ヨリ又地主トシテノ情誼ヨリ小作人ニ買取メシムルコトニ付勸告シタルモ地主ハ其ノ經濟狀態ヨリ相當ノ買値ニ非レバ應ジガタシトテ不相當ニ高價ナル賣價七千圓乃至八千圓ト稱シ且ツ現在賣買契約ニ對スル手金ニ對シ契約ノ賣主ガ破談スルコトハ不利ナルヨリ買主ニ對シ契約ノ履行ヲ迫リ小作人ノ苦情ノ如キハ介意スルヲ要セズト主張シ居リタルモ買主モ危惧シ居ル爲小作官ニ於テハ調停中該地所ノ名義ヲ變更シテ小作人ノ契約ヲ無効ナラシムルガ如キ徒ニ事件ヲ混亂セシムル手段ヲ取ラザルコトヲ承諾セシメ居リタルニ拘ラズ地主ハ該地所ヲ擔保トシテ静岡市某銀行ヨリ借金シ其ノ證書ニ買受人ガ連帶保證人ノ印ヲナシテ債務不履行ヲ理由トシテ銀行ニ競賣ヲナシメ買受人ニ於テ之ヲ競落スレバ小作人ハ當然何等ノ權利ノ主張ヲナシ得ザルベシトノ畫策ノ下ニ抵當權ヲ設定シタルモ買受人ガ漸ク斯ル手段ノ下ニ該地所買取ノ容易ニ行ハル、ヤ否ヤニ危惧ヲ抱キ證印ヲ抜クコトヲ希望スルニ至リ昭和三年十二月ニハ該地所ヲ地主ノ親戚ナル高部村ノ某ニ五千圓ヲ以テ賣却セル登記ヲナシテ其ノ名義ヲ變更シタリ、一方前買受人ハ小作人ノ小作別レ金ハ自分負擔ヲナスヲ以テ名義變更ヲナシクレト清水市興信所主某ナル買受人ノ兄ノ名ヲ以テ前所有者名義人ニ申込ム等ノ外小作人側ニ對シテハ役場助役等ニテ小作人ノ權利ヲ主張スル如キハ他ニ影響スル所アルヲ以テ相當遠慮スベシ等ノ勸告ヲナス者アリ事件ハ漸ク當事者以外ノ關係者介在シテ紛糾スルノ虞アルニ至リタルヲ以テ昭和四年四月小作官ハ小作人ガ採算シ得ル可能ノ範圍ニ於



テ出來得ル限り高價ヲ支拂ヒ急速ニ事件ヲ解決スルヲ得策ナルベシトテ現所有名義人及地主代理人、小作人及前買主ヲ縣廳ニ招致シテ買取ノ協議ヲ進メ遂ニ前買受人ヲ除外シテ現所有名義人ト實際ノ地主ト小作人トノ間ニ於テ當該地所ヲ四千圓ヲ以テ賣買スルコトヲ契約シ事件ハ解決シタリ

(三) 結 末

上記ノ如キ徑路ニテ小作人ハ小作地ヲ買取ルコト、ナリ關係當事者ハ契約ノ履行ヲ確實ニスル爲靜岡地方裁判所ニ小作調停ノ合意申立ヲ爲シ調停委員會開催ノ結果成立セル調停條項左ノ如シ

調 停 條 項

- 一 本件土地（土地表示略）ヲ見城某（前記土地ハ同人ガ前畑某ヨリ買受ケタル土地ナリ）ハ代金四千圓ニテ申立人小笠原某ト吉川某トニ賣渡スコト
- 二 右土地ニ付テハ右小笠原、吉川ニ於テ分割登記スルコト
- 三 前記賣買代金ハ本月十五日迄ニ清水市江尻登記所ニ於テ賣買ノ登記ト同時ニ買主ヨリ前畑某、見城某兩名ニ於テ受取ルモノトス

二二 愛知縣知多郡大高町（小作料改定）

爭議發生 昭和四年十月頃

調停着手 昭和四年十一月十三日

解 決 昭和四年十一月十四日

關係人員 地主 九十五人 小作人 百三十人

關係土地 田 百十五町五反 畑 九十四町

(一) 爭議ノ概況

大高町ハ熱田灣ニ近ク十數年前迄ハ年々農閑期ニ濱土（貝藻類ヲ含有スル泥土）ヲ搬入シ特ニ施肥ノ要ナク克ク豊穰ヲ得小作料率高カリシガ近年地先漁業ノ關係ヨリ濱土ノ採取ヲ爲シ得ザルニ至リシ爲金肥ノ必要ヲ感ズルニ至リタルト隣接地ニハ旋料ノ改定ヲ見タル鳴海町ヲ控ヘ又名古屋市ノ發達ニヨリ通勤勞働ノ需要増加ニヨリ怠農ノ傾ヲ生ジタルト依リ旋額高率ノ聲次第ニ高唱セラル、ニ至リ大正十年時ノ郡長ノ手ニ依リ小作料改定ノコト計畫サレシコトアリシモ遂ニ成ラズ次イデ約半數ノ耕地ハ地主ノ手ニ移リ共同的大農經營セラレタルモ之亦再ビ小作者ノ手ニ歸シ年々不作ノ名ニ依リ割引ノ形式ニ於テ小作料ノ決濟ヲ爲シ來レリ

小作調停法ノ實施後ハ大正十四年ヲ除キ他ノ年度ハ法ノ調停ニ依リ解決セル有様ニシテ町農會ニ於テハ小作官ノ勸說ニ基キ小作料ノ改定ヲ理論的ニ行ハントシ調査ヲ進ムル處アリシガ偶々紡績工場ノ設置セラル、ニ當リ耕地ニ狭少ヲ來シ合理的改定ノ容易ニ行ハレザル事態ヲ誘致シ止ムナク收穫高ノ



高下ニヨリ小作料ヲ移動スル方法（一地主ハ數年前ヨリ此ノ方法ヲ應用セリ此ノ事例ノ概要ヲ摘記セバ一、坪刈ノ方法ニヨリ字毎ニ收穫量ヲ査定シ一、反當收量二石以上ハ三斗五升、一石五斗以上ハ三斗三升、一石五斗以内ハ三斗ヲ肥料代ト稱シテ控除シ殘額ヲ折半シタル量額ヲ掬米トス）ニ依リ兩者ノ協調ヲ爲サシムトシ町役場當局者盡力中ナリシガ分配率容易ニ協定ニ至ラズ茲ニ於テ町役場當局者ハ小作官ニ事情ヲ具シテ之ガ調停方ヲ申出デタリ

（二）調停ノ經過

小作官ハ現地ニ臨ミ町役場ニ於テ兩者ノ主張ヲ詳細聽取シタルニ

地主ノ主張ハ

- 一 掬米ハ毎年坪刈リノ方法ニ據リ之ヲ定ムルコト
- 一 坪刈リハ地主惣代ト小作ノ惣代ト双方立會ノ上町農會ニ委囑シテ之ヲ實行スルコト
- 一 坪刈リ期日ハ毎年十一月月上旬土用明ヲ以テ之ヲ行フコト
- 但シ天候ノ模様ヲ斟酌スルコト
- 一 摺糶ハ目方榊目ヲ計リ脱穀調製ノ上目方榊目ニ按分シテ收量ヲ算出ス
- 一 掬米ハ全收穫量ノ半分トス
- 一 坪刈箇所ハ一字一ヶ所以上トシ其ノ坪米ノ收量ニヨリ其ノ字ノ分ヲ定ムルコト

ナルニ對シ小作人ノ主張ハ

- 一 坪刈ハ地主惣代ト小作ノ惣代ト立會ニテ行フコト
- 一 期日ハ毎年十一月一日ト定ムルコト
- 一 糶摺歩合ハ五分摺トス
- 一 全收穫一反歩二石ヲ基準トシ掬米ヲ四分出トス
- 一 二石ヨリ以上ハ一斗増毎ニ掬米一厘ヅ、増スコト
- 一 二石以内ハ一斗減ズル毎ニ掬米一厘ヅ、ヲ減ズルコト
- 一 本年ヨリ向フ五ヶ年實行シ其ノ平均ヲ以テ將來ノ掬米ヲ定ムルコト
- 一 今年ハ十一月五日迄ニ坪刈ヲ初メザレバ取入レヲ爲スコト
- 一 掬米ハ字毎坪切米ニテ其字ノ分ヲ定ムルコト

等ニシテ本係争地ハ前述セル如ク幾多ノ曲折ヲ經テ結局掬米改定ノ舉ニ出ヅベキ筈ナルニ尙且ツ意見ノ一致ヲ見ズ一時中止スルノ止ムナキヲ想像セシメタリ然ルニ從前ノ掬率ハ一反當リ一石六斗ヲ普通トシ到底實行性ナク此ノ儘紛争ヲ持續スルコトハ單ニ爭議常習地タルニ止マラズ好マシカラザル結果ヲ來スベキヲ慮リ今後五ヶ年間ハ既往五ヶ年間ノ實績平均ニ據ルベキコトヲ提唱シタル處双方共萬策盡キタル折柄心機一轉同意スルノ意嚮ヲ觀取セラル、ニ至リ取定方ハ全然小作官ニ一任スルコト、ナリ



次ノ如ク裁定シタルニ兩者共暫定的ノ方法トシテ年々ノ紛争ヨリ逃レ得ル満足ヲ表シ妥協成リタリ  
因ニ既往五ヶ年ノ實收小作料ハ掟額一石六斗ノ所ニ於テ一石三升二合ニナリ居レリ

(三) 結 末

裁 定 書

知多郡大高町地内ノ小作地ノ小作料一件ニ付キ本書署名地主及小作者ヲ代表スル小作惣代ハ其ノ取  
極方ヲ一任シタルニ依リ左ノ如ク裁定ス

一 昭和四年度以降五ヶ年間ノ耕地小作料ハ大正十三年度ヨリ昭和三年度ニ至ル五ヶ年間ノ平均實納  
小作料ニ依ルモノトス但シ不可抗力ニ依リ田地一反歩ノ玄米收穫量一石七斗五升ニ滿タザルトキノ  
小作料ハ地主小作者協議ノ上定ムルモノトス

一 小作者ニ於テ田地ノ玄米收穫量ガ一反歩ニ付キ一石七斗五升ニ滿タズト思料シタルトキハ其ノ收  
穫量査定ヲ收穫期十五日前ニ地主ニ申出デ双方立會シ坪刈ノ方法ニ依リ收穫量ヲ定ムルモノトス  
但シ双方ノ協議ニ依リ坪刈法ニ依ラズ收穫量ヲ定ムルコトヲ得

小作者前記ノ申出ヲ爲サズ刈取リタルトキハ小作料ハ減額セラレザルモノトス

一 畑地作物ニ不作アリタルトキハ地主ニ於テ實情ヲ考查シ小作料減額ノ適否及其ノ分量ヲ定ムルモ  
ノトス

一 第一項ノ五ヶ年平均實納小作料計算ノ方法ハ一般ニ適用セラレタル率ニ依リ算出スルモノニシテ  
特種ノ事由ニ依リ減額セラレタルモノハ除外スベキモノトス

二三 愛知縣西春日井郡新川町土器野新田 (土地返還、作離料支給)

爭議發生 昭和四年十月三十一日

調停着手 昭和四年十二月二十日

解 決 昭和五年一月十九日

關係人員 地主 二十一人 小作人 四十四人

關係土地 田 三町六反歩 畑 五町七反五畝歩

(一) 爭議ノ概況

本件土地ハ名古屋市ノ西北部工場地帯ニ近隣セル郊外地ニシテ陸ニ名古屋鐵道經營ニ係ル電車ノ便  
アリ水運トシテ庄内川ヲ控ヘ郊外工場地トシテ將來ヲ期待セラレツ、アルノ土地ナリ一面農業上ヨリ  
見ルトキハ近ク枇杷島市場ヲ有シ蔬菜園藝ヲ主トスルノ土地ナルモ農家ノ耕作反別狹少ニシテ一戸當  
平均五反歩内外ナリ又總戸數ニ對スル農家戸數モ僅少ナルヲ以テ純農村トハ大イニ其ノ趣ヲ異ニスル  
モノナリ

地主ハ數年來人口ノ増加ニ伴フ宅地ノ需要多キ情勢ニ鑑ミ將來ニ都市的發展ヲ期セントシ耕地整理



事業ヲ起シ以テ事實上ノ宅地造成ヲナサント計畫スルトコロアリ昭和四年一月耕地整理組合ノ設立認可ヲ受ケ工事ノ遂行ニ先立チ關係地ニ作止メノ通知ヲナシ茲ニ本件ノ發端ヲ爲シタリ

地主ノ耕地整理施行ニ當リ當初小作者ハ純然タル整理ナリト思考シ地域中ニ散在スル不毛地等モ活用セラルベキヲ豫想シ寧ロ歡迎ノ態度ナリシガ其ノ後小作側ニテ耕地整理組合員タル者アリ此ノ整理ノ目的ガ宅地造成ニアルヲ聞知シ俄ニ其ノ事業遂行ニヨル潰地即チ道路敷ニ對シ賠償ノ要求ヲ爲スニ至レリ而シテ双方ハ新川町長ヲ介シテ折衝シ妥協成立ノ曙光ヲ認ムルニ至リタルモ此ノ時突如耕地整理ノ設計變更アリ即チ道路新設ノミナラズ全般ニ亘リ理立ヲ爲スコト、ナリタル爲メ再ビ紛糾ヲ見ントシタルガ町長ガ更ニ此ノ實情ニ應ジ引續キ双方ニ話ヲ進メタル結果地主小作者共其ノ取扱方ヲ町長ニ一任スルノ舉ニ出デタリ町長ハ自身地主ニシテ耕地整理副組合長タル立場ニアリ其ノ任ノ重大ナルト小作者ノ一任ト稱スル裡ニハ將來ノ生活ヲ保障セシメントスルガ如キ態度アルヲ察シ町政上ニ及ボス影響ヲ顧慮シ其ノ取扱方ヲ小作官ニ申込ミタルニ小作者地主トモ其ノ意ヲ諒トスルノ舉ニ出デタリ

### (二) 調停ノ經過

小作官ハ實情ノ調査ヲ爲スト共ニ双方ノ意嚮ヲ聽取シタルニ現場ハ前記ノ如ク收益多キ農耕地ナルモ地主ニ於テ用途變更ヲ計畫スル以上早晚小作離ノ期ニ至ルベク小作者ハ口ニ職業轉換ノ容易ナラザルヲ稱スルモ大部分ノ者ハ賠償金ノ多額ヲ期待スルノ状態ニアリタリ而シテ双方ノ主張スルトコロハ

#### 小作者ノ主張

土地ノ情勢ヨリシテ地主ノ計劃ニハ異議ナキモ小作者トシテ全ク失業ノ憂目ヲ見ル結果トナルヲ以テ相當作離料ヲ要求ス即チ畑ニ付テハ反當三百圓普通田ニ付テハ反當百八十圓蓮根田ニ付テハ反當三百圓ヲ要求ス

#### 地主ノ主張

五ヶ年以上繼續耕作スル者ニハ畑ハ掬米ノ二ヶ年分、田ハ掬米一ヶ年分、五年以下ノ耕作者ニハ右ノ半分ヲ作離補償金トシテ支給スト云フニアリ

斯ノ如キ情勢ナリシヲ以テ小作官ハ表面町長ヲモ調停者ノ一人トナシ調停ニ着手シタリ此ノ期ニ望ンデ尙小作者側ハ潜ニ他地方各爭議地ヲ視察シ又ハ農民組合指導者ヲ訪ヒ意見ヲ聽ク等對策講究ニ腐心シツ、アリタリ

小作官ハ兩者ノ關係ガ本件ノ解決ニヨリ斷絶スベキ環境ニアラザルコトヲ力説シ心カラノ協調ニヨリ將來ノ發展ヲ期シ兩者ノ協力ニヨツテ共存同榮ノ實ヲ舉ゲルコトニ努力スルコソ双方ノ得策ナルベキコトヲ懇説シ此ノ際兩者ノ互讓解決ヲ德通シタル結果遂ニ無條件一任ヲ得テ茲ニ別項ノ裁定書ノ通り發表シタルニ兩者共之レヲ破棄スルガ如キ態度ナク圓滿解決ヲ見タリ

因ニ賠償額査定ニ當リテハ左ノ事項ヲ調査考察セリ



一 小作人別地區内外小作地及自作地反別

一 累年小作料實納額

一 小作人家族生計狀態

一 田、蓮根田、畑各別ニ生産收支並ニ資本投下狀況

之ガ査定金額ヲ概説セバ實納小作料三ヶ年平均概算ガ田ハ反當七斗七升、蓮根田ハ一石一斗、畑ハ六斗六升五合トナリ之ヲ裁定書ノ通り計算スルトキハ一反步當田ハ百十九圓六十八錢、蓮根田ハ百六十二圓四十錢、畑ハ百四十圓八十六錢トナル  
尙蓮根田ニ於ケル種蓮、畑ニ於ケル多年生作物等ハ投下資本ノ計算ニツキテハ之ヲ考慮ノ外ニ置キ別ニ耕地整理組合ヨリ賠償セシムルコト、セリ

(三) 結 末

裁 定 書

西春日井郡新川耕地整理組合地區内土器野新田一圓ノ耕地作離レノ件ニ付キ下記署名者ハ各自其ノ地主小作者ヲ代表シ裁定者ノ裁定ニ基キ次ノ通り協定シタリ  
一 小作者ハ昭和五年二月十五日ヨリ昭和五年六月三十日迄ノ間ニ於テ地主ノ指定スル期日限現ニ耕作スル土地ヲ返地證書ト共ニ地主ニ引渡スコト

一 地主ハ前項引渡シヲ受ケ返地證書ヲ受領シタルトキハ現ニ耕作シツ、アル小作地返還ニ對スル一切ノ補償金トシテ次ノ區別ニ從フ金額ヲ遲滯ナク小作者ニ交付スルコト  
但シ大正十四年一月一日以後小作關係ヲ生ジタル土地ノ補償金額ハ定マレル金額ニ十分ノ八ヲ乘ジタル金額トス

イ 普通田地ニ付キテハ昭和二年、同三年、同四年度分トシテ受領シタル小作料ニ一石當リ金貳拾八圓ヲ乘ジタル金額及一反步當リ金五拾五圓トノ合計額

ロ 蓮根ヲ作付シツ、アル田地ニ付キテハ昭和二年、同三年、同四年度分トシテ受領シタル小作料ニ一石當リ金貳拾八圓ヲ乘ジタル金額及一反部當リ金八拾五圓トノ合計額  
ハ 畑地ニ付キテハ昭和二年、同三年、同四年度分トシテ受領シタル小作料ニ一石當リ金貳拾八圓ヲ乘ジタル金額及一反部當リ金八拾五圓トノ合計額

一 小作者前項ノ金額ヲ受領シタルトキハ何等ノ名義ヲ以テスルモ金品ノ要求ヲナサザルハ勿論地主若クハ耕地整理組合ニ於テ施行スル事業ノ妨害ヲナサザルコト

一 地主小作者双方ニ於テ耕地整理後引續キ耕作スルコトニ關シ協定成立スル場合ニ於テハ返地證書並ニ補償金ノ受授ハ現實ニ返地セラル、トキニ於テ受授セラルベキモノトス

二四 三重縣桑名郡木曾岬村大字和泉

(小作料一時的減額排水機經常費負擔)



爭議發生 昭和三年一月五日  
 調停着手 昭和三年二月十日  
 解 決 昭和五年二月二十四日  
 關係人員 地主 一人 小作人 七十人  
 關係土地 田 五十六町九反步 畑 三町二反步 其他 三町二反步

(一) 爭議ノ概況

從來本件土地ニ對スル排水機費ノ負擔ハ地主七分小作人三分ノ割合ニテ釀出シ居タルニ拘ラズ地主ハ小作人ノ同意ナク小作人ノ負擔率ヲ五分ニ加増シソレヲ玄米ニ換算シテ小作料ト共ニ請求セシニ小作人ハ之レヲ不當ナリト拒否シタルニ地主ハ他町村ノ排水機費用ノ負擔ハ現ニ五分ナルノミナラズ排水機新設ノ當時從來ノ三分ヲ五分ニ増額方已ニ内示シアリトテ強硬ナル態度ニ出デシタメ小作人ハ大ニ憤慨シ昭和二年度以降ノ排水機費用竝ニ小作料ヲ納付セズ別途ニ積立シテ飽マデ地主ト抗爭スベク中部農民組合ニ加入シソノ應援ヲ求ムルト共ニ代表者ハ縣ニ昇廳之ガ調停方ヲ小作官ニ陳情セリ

(二) 調停ノ經過

右ニツキ小作官ハ本件地主(地主ハ殖産會社ヲ組織セルモ一個人ニシテ縣下一ノ大地主)ヲ縣ニ招致シ前後ノ事情ヲ聽取スルト共ニ地主ニソノ要求ノ撤回方ヲ勸告セリ然ルニ地主ハ小作人ノ歎願竝小

作官ノ勸告ヲ退ケ小作人代表七名ヲ相手取り昭和三年土地返還ノ請求訴訟ヲ四日市區裁判所竝安濃津地方裁判所ニ提起シ數回口頭辯論ヲ開キタリ

右ニツキ被告タル小作人ハ昭和三年五月調停ノ申立ヲナシ爾來調停委員會ヲ開催スルコト四回ニ及ビシモ遂ニ成立ヲ見ズ四年七月不調トナリ訴訟續行中ノ處四年九月以降數回ニ亘リ小作官同村ニ出張ノ上代表者ヲ役場ニ招致シ和解ヲ勸告スルト共ニ地主ニ對シテモ訴訟ノ不利益ヲ說示シテ考慮ヲ求メタリ而シテ五年一月二十日、二月八日ノ兩日双方ノ關係者竝ニ村長等ヲ縣ニ招致シ和解條件ニツキ懇談シタリ

(三) 結 末

二月二十四日小作官ハ更ニ同村ニ出張寺院ニ於テ徹宵折衝ノ結果別記ノ覺書ノ通り和解成立セリ

覺 書

桑名郡木曾岬村大字和泉小作問題解決ニ對シ諸戶殖産合名會社ヲ甲トシ大字和泉區小作人竹内某外五十三名ヲ乙トシ左ノ條項ヲ遵守履行スルコトヲ誓約ス

- 一 乙ハ昭和二年度小作米ハ同區其ノ年ノ産米検査ノ等級ニ比例シ全部甲ニ米納スルコト
  - 二 乙ハ昭和三年度小作米ハ全部一石代金貳拾八圓ノ割ニテ甲ニ對シ金納ノコト
- 但田ノミニ對シテハ掟米ヨリ特ニ上和泉平均二割五分、下和泉同二割ヲ減額ス



- 三 乙ハ昭和四年度小作米ハ甲ノ通知書通り異議ナク米納スルコト
- 四 和泉排水機費負擔ノ割合ハ昭和二年度第三期分ヨリ甲ハ六分五厘、乙ハ三分五厘ニ改訂シ其割合ヲ以テ乙ハ甲ニ納付スルコト
- 五 昭和二年第三期ヨリ排水機費甲ノ立替金ニ對スル分ハ前項ノ歩合ニ依リ計算スルコト尙乙ノ預入シタル木曾岬信用組合ノ預金ヨリ生ジタル利子ハ全部ヲ甲ニ引渡スコト
- 六 右受授ノ年月日場所ハ金納ノ分ハ昭和五年二月二十八日米納ノ分ト同二月二十五日限り木曾岬村諸戸殖産株式會社倉庫ニ於テ乙ヨリ甲ニ受渡スルコト
- 七 前各項ニ定ムル受授全部完了シタルトキハ甲ノ提起シタル訴ハ之ヲ取下ゲ訴訟ニ要シタル費用ハ各自辦ノコト

昭和五年二月十四日

調停官三重縣小作官 鎌 田 某  
 同 木曾岬村長 森 某  
 甲ノ代表者 坂倉某外一名  
 乙ノ代表者 竹内某外十名

附帶條件 (特ニ覺書ニ記入セザル事項)

- 一 小作側ノ希望條件タル「天災地變其他特別ノ事由ナキ限り今後排水機費用ヲ増額セザルコト」ハ内心地主側ニソノ意志ナキモ之レヲ明文トシテ覺書ニ記入スルコトヲ拒ミタルヲ以テ之レガ前後措置トシテ今後小作官及ビ村長ニ一任スルコト、シタリ
- 二 昭和二年度、同四年度納入掟米ニ對シテハソノ等級ニ應ジ獎勵金ヲ交付スルコト
- 三 地主ハ別ニ獎勵金百圓ヲ小作側ニ交付スルコト (條項第四項ノ代償トシテ)
- 二五 三重縣一志郡米ノ村庄大字上ノ庄 (競賣地ニ於ケル作離料支給)
- 爭議發生 昭和四年二月十五日
- 調停着手 昭和四年三月十五日
- 解 決 昭和四年四月十六日
- 關係人員 地主 上ノ庄產業組合 小作人 組合員十五人
- 關係土地 田 一町三反步 畑 二反步
- (一) 爭議ノ概況
- 地主タル產業組合ハ前記土地ヲ組合員某ヨリ擔保ニ提供セシメテ貸金ヲナシタルモ貸金回收不能トナリタルタメ右擔保土地ヲ賣却シ以テ貸金ヲ補填セントシ之レガ賣却方法ニツキ組合總會ヲ開キ投票ニヨリ之ヲ決シタル處大多數ヲ以テ競賣ノ方法ニヨリ之ヲ賣却シ且ツ現小作人ニ對シテハ耕作權賠償



トシテ競賣價格ノ三割ヲ交付スルコトニ決定セリ然ルニ後日ニ至リ組合員中ヨリ右耕作權賠償率ハ過大ナリト主張スルモノ續出シ遂ニ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ更ニ賠償額變更ニ關スル總會ノ召集ヲ組合ニ申請セリ仍テ組合ハ臨時總會ヲ召集ノ上更ニ賠償額ヲ議シタル處一割ヲ至當トスルモノ大ニ多數ナリシ爲此旨組合員ニ公表シタルニ曩ニ三割說ヲ主張セシ者之ニ同意セズ組合幹部ノミニテハ到底收拾シ得ザルニ至レルタメ組合長ヨリ之ガ調停方小作官ニ陳情セリ

(一) 調停ノ經過

右ニツキ小作官補同村ニ出張シ實情調査ヲ爲シタル上四月十五日小作官同村役場ニ出張シ關係者一同ヲ招致シ種々調停ニ努力セシモ双方ノ主張強硬ニシテ容易ニ讓步セズ已ニ夜半ニ及ベルタメ一ト先ヅ調停ヲ打切り翌十六日早朝ヨリ更ニ調停ヲ續行極力調停ニ努メタル結果同日夕刻ニ至リ耕作權賠償額ハ他日小作官ノ決定ニ一任スルコト、シ別記和解成立書ノ通り妥協ヲ見タリ

(二) 結

末

右ノ和解成立書ニ基キ組合ハ六月一日土地ヲ一般ノ競賣ニ附シタル處現小作人ノ手ニ競落シタルモノ田八反九畝三步此競賣價格金五千二百二十五圓七十九錢ニシテ耕作權賠償トシテ賣上代金ノ一割一分即チ金五百六十三圓八十四錢ヲ交付ス  
現小作人以外ノ者ノ手ニ競落シタルモノ

田二反二畝四步此競賣價格金一千七百七十圓六十錢、畑七畝二十五步此競賣價格金六百三十六圓五十四錢ニシテ耕作權賠償トシテ賣上代金ノ一割八分即チ金二百九十四圓八十錢ヲ土地返還ト同時ニ小作人ニ交付ス

尙畑ニ植付ケアル桑樹六百九本ニ對シテハ一本ニ付金五錢ノ割ヲ以テ計算シ金三十圓四十五錢ヲ交付ス

和解成立書

一志郡米ノ庄村信用購買販賣組合對小作人田中某外七名間ニ於ケル組合土地處分問題ニ付左ノ條件ニ依リ和解成立セリ仍テ本書三通ヲ作製シ組合側小作人側三重縣小作官ニ於テ各々保管スルモノトス

昭和四年四月十六日

調停者	鎌田某
立會人	潤田某
組合役員	小林某外七名
小作人	中井某外七名
區長	中井某

和解條件



一 本件土地（田畑）ハ昭和四年六月十日限り小作人ヨリ米ノ庄村上ノ庄信用購買販賣組合ニ引渡スコト

但組合ハ右引渡前ト雖モ之レヲ一般ノ競賣ニ附シ處分スルコトヲ得

二 右競賣處分後組合ハ小作人ニ對シ耕作反別競賣價格等ヲ參酌シテ涙金ヲ交付スルコト

但交付額ニ付テハ組合ハ小作人ト直接示談ニヨリ協定スルコト若シ其協定不調ノ場合ハ三重縣小作官ノ裁定ヲ求メ双方異議ヲ述ベザルコト

三 競賣ノ結果現小作人以外ノ者ニ競落シタル場合ハ涙金ノ額ニ付テハ別ニ考慮ヲ加フルコト

四 現小作人ガ小作地ノ競落ニヨリ一時代金支拂不納ノ場合ハ土地ヲ擔保トシ其ノ償還方法ハ組合役員ト小作人間ニ於テ直接協定スルコト

若シ其ノ協定不調ノ場合ハ三重縣小作官ノ裁定ヲ求メ双方異議ヲ述ベザルコト

五 昭和三年度掟米ハ檢見田ハ實收ノ折半トシ檢見セザルモノハ掟米ノ二割五分引トスルコト

右納期ハ四月三十日限リトシ現物ヲ以テ納入シ得ザル時ハ最近ニ於ケル本組合ノ共同販賣價格ニヨリ換算スルコト

附帶條件

一 桑ノ株代要求ニ付テハ小作官ノ裁量ニ一任スルコト

二 藤田某ノ現小作地七畝二十二歩ニ對シ本年十二月末日限り耕作要求ニ付テハ組合役員ニ於テ考慮スルコト

二六 滋賀縣野洲郡速野村大字西洲本（小作料一時的減額）

爭議發生 昭和三年十二月十八日

調停着手 昭和四年四月十八日

解 決 昭和四年四月十九日

關係人員 地主 十六人 小作人 四十人

關係土地 田 四十六町歩

(一) 爭議ノ概況

昭和三年十二月十八日小作人側ハ小作總代三名ヲ選ビ同年度ノ稻作ハ天候不順ニシテ稻熟病ノ發生多ク著シキ減收ナリトシ契約小作料ノ三割減額ヲ區長ヲ經テ地主側ニ要求セリ、區長ハ地主ヲ集メ協議ヲ重ネシガ本年ハ平年作ニシテ小作料ヲ減額スベキ作柄ニアラザルモ特ニ六分ヲ減額スベク回答セリ、小作人側ハ地主側ノ斯ル回答ハ全ク誠意ヲ缺クモノトシ再ビ折衝方ヲ區長ニ依頼シ、區長ハ八分減額ヲ地主ニ承認セシムベキヲ以テ調停一切ヲ一任スベク慫慂セシガ小作人側ハ熟議ヲ重ネ更ニ四割ノ貸米ヲ條件トシテ區長ニ調停方ヲ一任スベク申出デシヲ以テ區長ハ調停成立ノ見込ナシトテ調停一